第１節　鍛冶田遺跡の地形環境

青　木　哲　哉（立命館大学非常勤講師）

1. はじめに

人間は、自然環境に影響され、またそれを利用しながら活動してきた。中でも地形は、人間の生活舞台であり、活動の場となってきただけに、地形環境と人間生活との間には密接な関係が存在する。地形環境は、第四紀に変化を続け、現在に至っている。そのため、過去の人間生活を浮き彫りにするには、各時期の地形環境とその変化を明らかにすることが必要と考えられる。

人間生活の解明につながる地形環境は、数万年や数千年オーダーでの考察だけでなく、それより細かいオーダーで捉えなければならない。これには、考古遺跡の発掘調査区における地形・地質調査が有効な方法となる。調査区では、微地形とそれを構成する堆積物が直接観察され、堆積物については詳細な区分が行える。このため、堆積物ごとの細かいオーダーで地形環境を復原し、その変化を辿ることができる。しかも、堆積物には編年された考古遺物がしばしば含まれる。復原された地形環境の時期はそれを通して明確にすることが可能となる。また調査区では、人間活動の痕跡である遺構が検出されるため、過去の人間生活が知られる。そこでは、地形環境と人間生活の係わりをも分析できるのである。

本稿では、鍛冶田遺跡の調査区における地形環境を明らかにし、それと人間活動との関係について考察したい。調査では、調査区付近における地形の分類と堆積物の把握を試みた。地形分類では、まず20,000分の１と5,000分の１空中写真の判読から調査区周辺の地形を区分し、ついで5,000分の１空中写真の判読と現地踏査によって調査区付近における微地形の分類を行った。堆積物に関しては、調査区での地質断面を詳細に観察した。地質断面の観察は、遺構検出面より上位だけでなく、調査区の北部と南部で掘削したトレンチの断面によって遺構検出面以深についても行った。こうして得られた地形と堆積物の調査結果に、遺構の分布や時期などの発掘調査成果を加えて、調査区付近の地形環境ならびにそれと人間活動との係わりを考察した。

2. 調査区付近の地形

（１） 調査区周辺の地形面

本遺跡の調査区は瀬戸内海に面する播磨平野の西部に位置する。調査区の西には揖保川の最下流部に合流する林田川、東には小規模な大津茂川が概ね南流し、調査区の周辺には両河川によって形成された沖積低地が広がる。その周囲には、標高150～250mの山地が分布し、丘陵や更新世段丘は認められない。林田川と大津茂川の間にみられる沖積低地は、完新世段丘、現氾濫原、及び支流性扇状地に区分される（第４図）。各地形の特徴は次のとおりである。

〔完新世段丘〕　この段丘は調査区周辺において最も広範囲で認められる。段丘面は、多少の起伏がみられるもののほぼ平坦で、緩やかに南へ傾斜する。そこには、多くの範囲で条里地割が認められる。段丘崖は数十cmの比高をもち、とくに林田川の流域で明瞭である。大津茂川流域の段丘崖は多くの場合、流路の両岸に沿って延びる。調査区はこうした完新世段丘に位置する。

第４図　調査区周辺の地形分類図

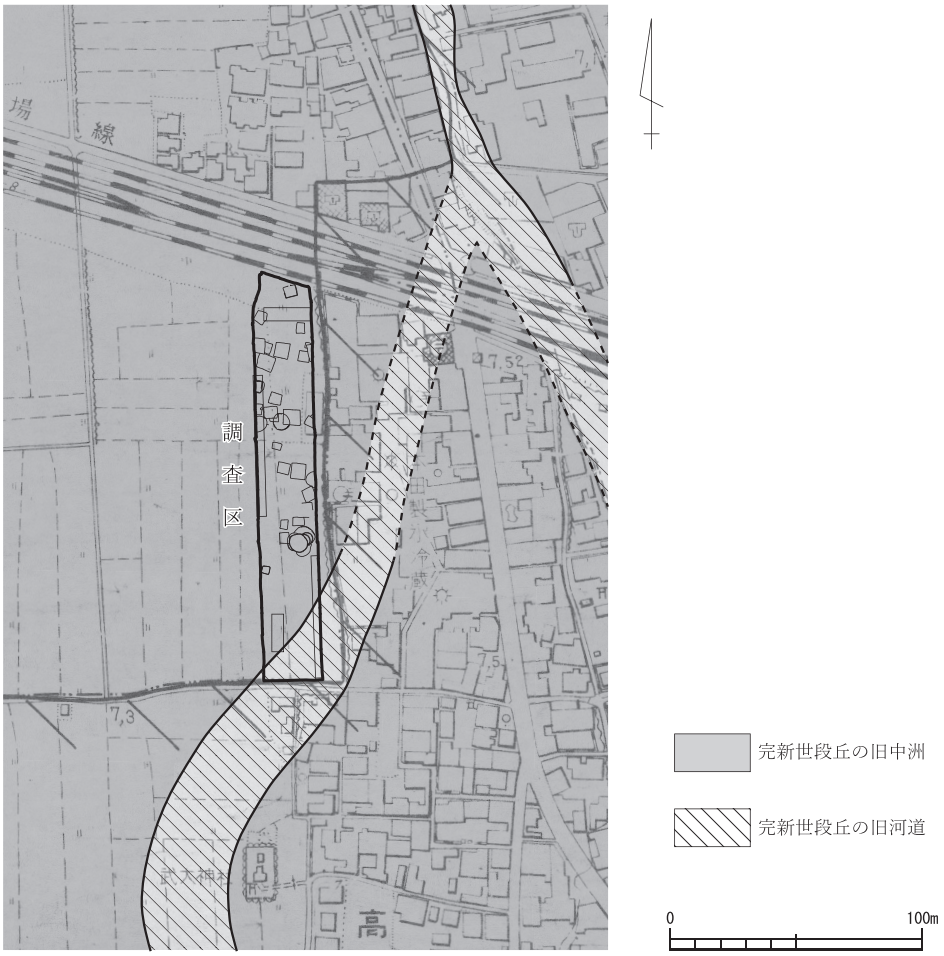
〔現氾濫原〕　これは最も低い地形面で、そこでは河川の氾濫によって冠水する危険性が高い。地表は完新世段丘面より起伏に富み、条里地割がほとんどみられない。現氾濫原は、林田川に沿って比較的よく発達しており、小規模な大津茂川沿いでは小さい面積で断続的に分布する。

〔支流性扇状地〕　この地形は、背後の山地から堆積物が供給されてできた扇状地である。背後の山地には谷が刻まれ、この扇状地はそこから山麓にかけて発達する。調査区周辺では、支流性扇状地が北方の山麓に点在し、小規模なものが多い。複合扇状地をなすものもみられ、急な地表傾斜で完新世段丘と傾斜変換線で接している。

（２）　調査区付近の微地形と遺構の分布

調査区は段丘化した埋没扇状地上に位置し、付近には埋没した旧中州と旧河道が分布する（第５図）。調査区の南東部には埋没旧河道が北東から南西へ延び、それ以外の範囲には埋没旧中州が認められる。埋没旧中州は調査区の北西から発達するもので、調査区はその南東部末端に位置する。埋没旧河道は林田川の流路跡と考えられ、50m前後の幅をもつ。この旧河道は、調査区の北西を南北に延びるものが南西に向きを変えて調査区南東部を横切り、その後ほぼ南へやや蛇行しながら延びる。

調査区では、このような微地形上で異なる遺構が認められる。埋没旧中州上では、弥生時代中期と古



第５図　調査区付近の微地形分布

墳時代中期から後期の竪穴住居跡がそれぞれ約10棟ならびに26棟前後みられ、平安時代後期から鎌倉時代（12世紀から13世紀）の掘立柱建物跡が約30棟検出されている。他にそこでは、弥生時代中期と古墳時代中期から後期の柱穴が数多く分布し、弥生時代中期の流路跡がほぼ南北に延びる。流路跡は幅1.5～６m、深さ約55cmの小規模なものである。他方、埋没旧河道では縄文時代晩期から弥生時代前期の水田跡と複数の流路跡などが検出されている。

3. 調査区における堆積物の特徴

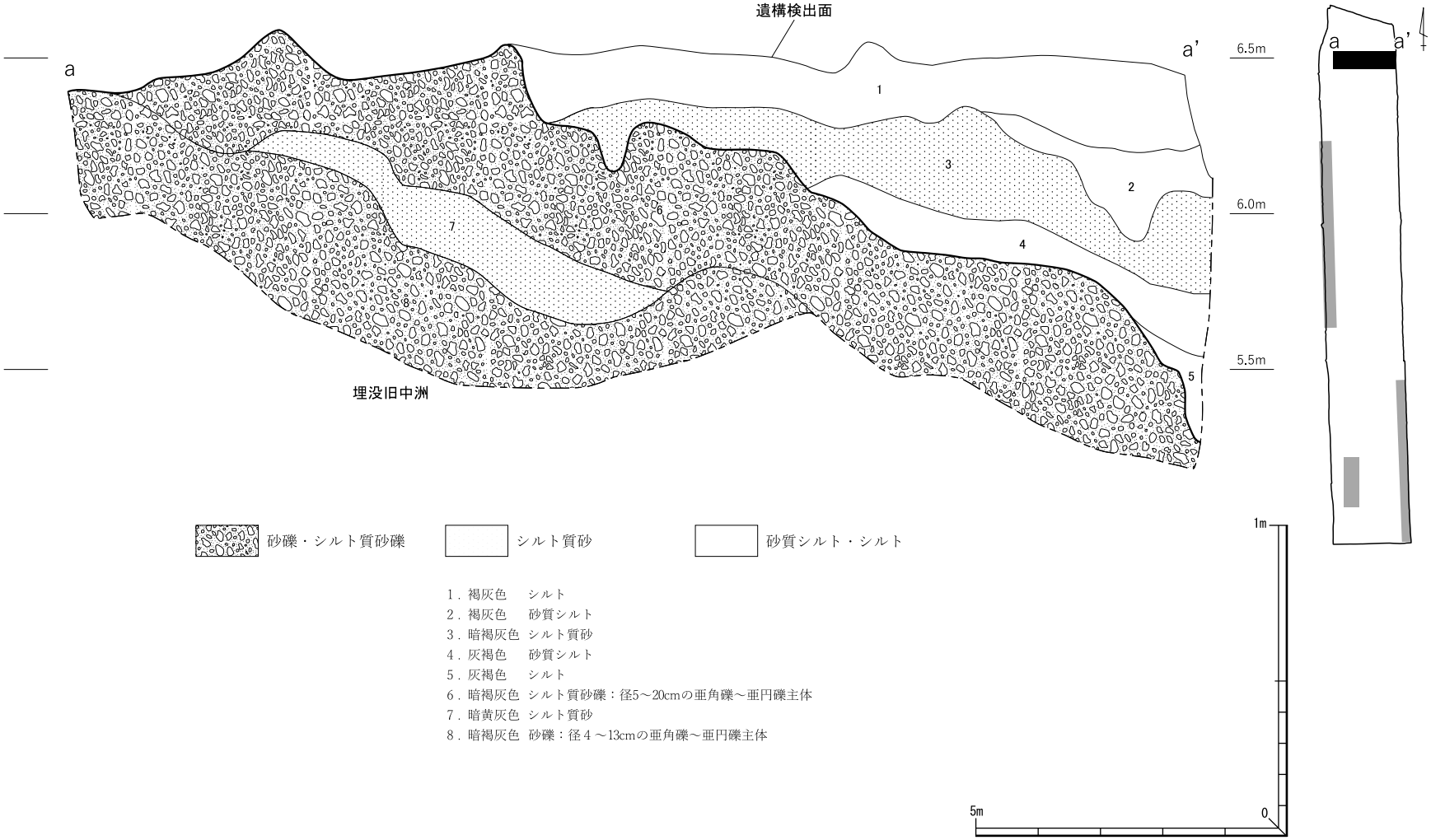
調査区では、下位から砂礫、細粒堆積物、旧河道堆積物、シルトを中心とする細粒堆積物、及び表土（近年の耕土と盛土）が観察される（第６図～第９図）。表土を除く堆積物は、主に林田川の洪水に伴うものである。砂礫（第６図の堆積物６・８、第７図の堆積物６、第８図の堆積物13）は、暗褐灰色や灰色を呈し、扇状地堆積物に相当する。これは、径４～20cmの亜角礫・亜円礫を主体とし、調査区の全域にみられる。調査区北部では、砂礫の間にシルト質砂（第４図の堆積物７）がレンズ状にはさまれ、これを境に砂礫が２層に分けられる。この砂礫は、南東部を除く調査区の範囲で旧中州を構成し、上面は北西から南東に向かって緩やかに傾斜する。調査区南東部では、砂礫の上面が２m以上低くなり、そこには扇状地形成期の旧河道が認められる。

その上位に位置する細粒堆積物は８層前後に細分され、それらは灰褐色や褐灰色などを呈する砂（第８図の堆積物11・12）やシルト質砂（第６図の堆積物３）、砂質シルト（第６図の堆積物２・４）、シルト（第６図の堆積物１、第８図の堆積物５～10）である。下部には主に砂やシルト質砂がみられ、中部から上部にはシルトが観察される。これらの堆積物は、南東部（埋没旧河道）を除く調査区の南半部や東部のように、下位の砂礫上面が低い箇所に約1.2mの厚さで分布する。

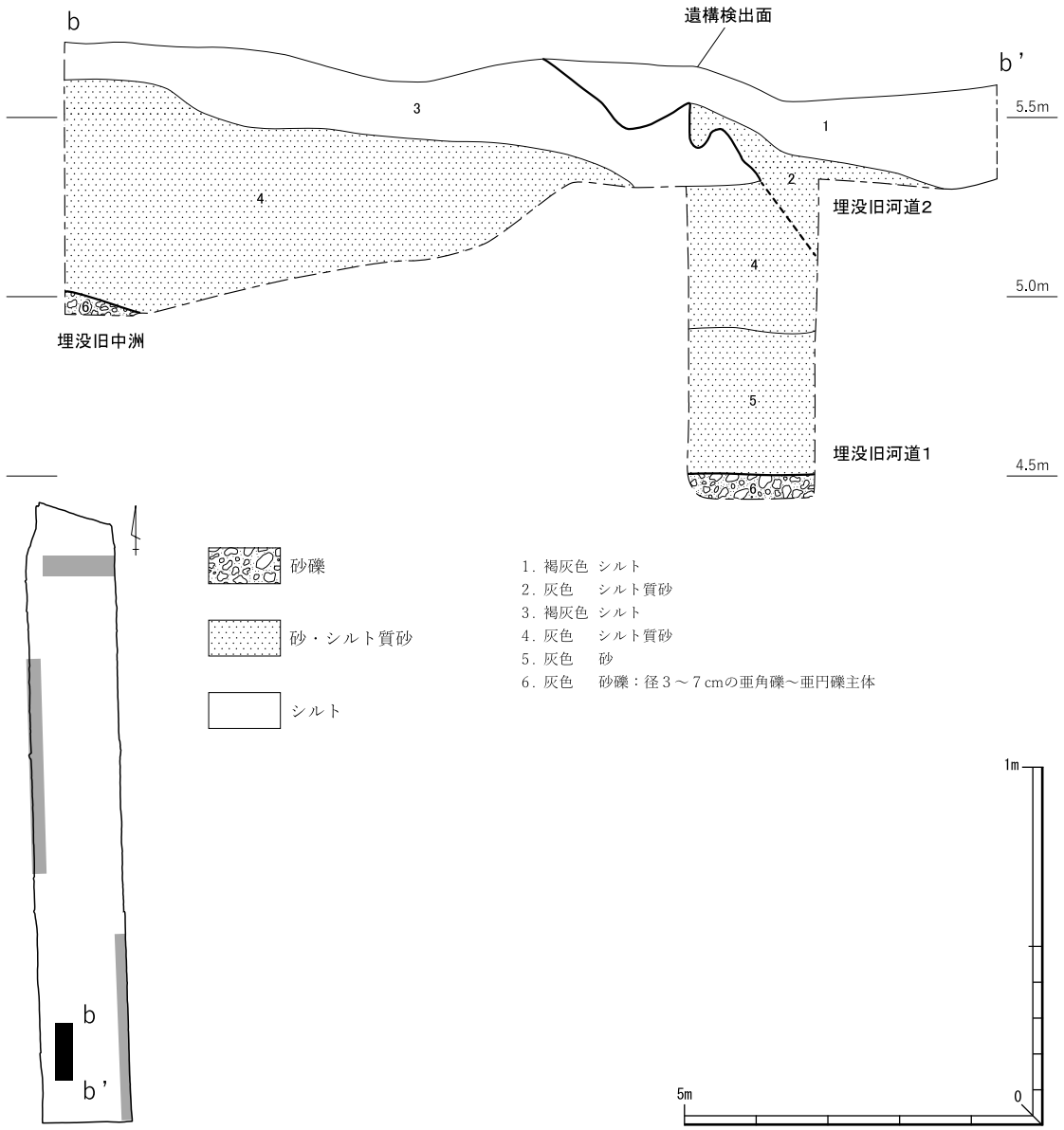
旧河道堆積物はこうした細粒堆積物を切って認められる。これは埋没旧中州上の小規模な流路跡と調査区南東部の埋没旧河道に分布する。埋没旧中州上の流路跡は灰黄褐色の砂や黄褐色のシルトなどに埋積されている。このシルトには、弥生時代中期の遺物が混入する。他方、調査区南東部では少なくともれる。埋没旧中州上では、弥生時代中期と古
５本の旧河道が確認される。ここでは、これらを古い時期に形成されたものから順に埋没旧河道１～５（旧河道１～５）と呼ぶ。埋没旧河道１は扇状地形成期の流路跡である。これは林田川の本流跡または大規模な支流跡と考えられる。旧河道堆積物のほとんどは侵食されており、褐灰色の砂（第７図の堆積物５）のみが確認される。

他の旧河道４本は、いずれも埋没旧河道１内に認められ、それより幅が狭い。これらのうち最も古い埋没旧河道２は比較的大規模な支流跡と考えられ、30m以上の幅と1.5m以上の深さをもつ。この旧河道は少なくとも14層の堆積物によって埋積されている。これらは灰黄褐色や黄褐色、黒褐色などを呈するシルト（第９図の堆積物６～８・17～19・27～33・35）が主で、オリーブ褐色の砂（第９図の堆積物28）が１層だけみられる。

埋没旧河道２を埋積する堆積物のうち下半部で観察される灰黄褐色と黒褐色のシルト（第９図の堆積物27・30～33）には、縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物が含まれる。中でも、最下位に位置する灰黄褐色のシルト（第９図の堆積物33）は水田土壌にあたる。また、この堆積物とほぼ同じ層位には黒褐色のシルトが３層（第９図の堆積物30～32）認められ、これは流路内が部分的に低湿化していたことを



第６図　調査区北部のトレンチ断面図

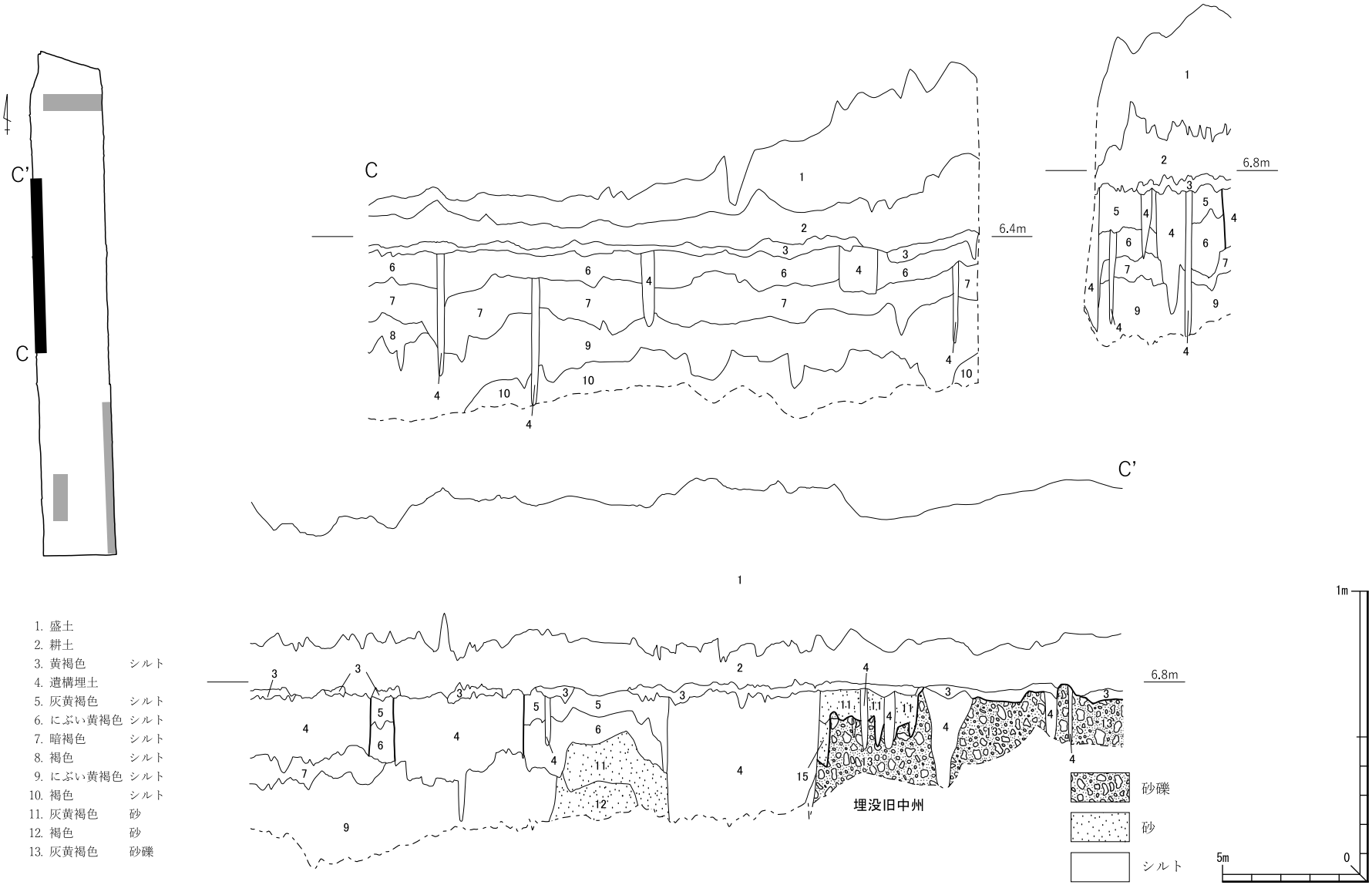


第７図　調査区南部のトレンチ断面図

物語る。３層のうち、最下位と最上位の黒褐色シルトはそれぞれ2,480±20yBPと2,540±20yBPの放射性炭素年代測定値[1)]を示し、その上位にみられる灰黄褐色のシルト（第９図の堆積物29）からは2,440±20yBPの年代値[2)]が得られている。一方、旧河道堆積物の上部にみられる褐色と黄褐色のシルト（第９図の堆積物18・19）には弥生時代中期の遺物が含まれ、下面の層位からは同時期の遺構が検出される。

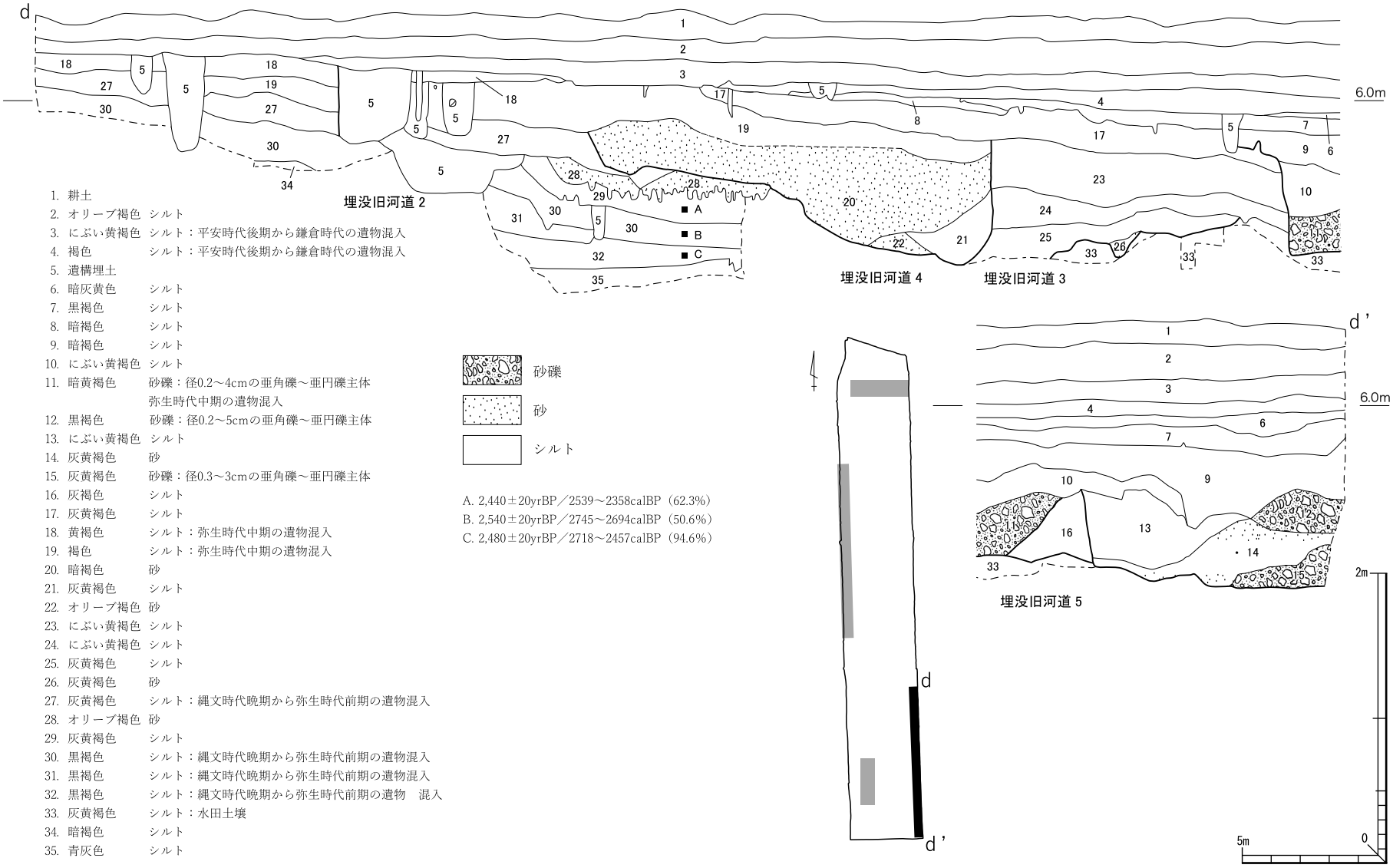
埋没旧河道３～５は埋没旧河道２内に存在する小規模なものである。埋没旧河道３は埋没旧河道２の下部に位置する灰黄褐色のシルト（第９図の堆積物33）を切る。この旧河道は幅が約５m、深さが25cm以上で、灰黄褐色の砂（第９図の堆積物26）とシルト（第９図の堆積物25）に埋積されている。

埋没旧河道４と５は埋没旧河道２の上部にみられる２層の灰黄褐色シルト（第９図の堆積物17・27）をそれぞれ切る。下位の灰黄褐色シルトを切る埋没旧河道４は、幅８m前後、深さ約90cmで、旧河道堆積物はオリーブ褐色と暗褐色の砂（第９図の堆積物20・22）及び灰黄褐色のシルト（第９図の堆積物



1. 盛土
2. 耕土
3. 黄褐色　シルト
4. 遺構埋土
5. 灰黄褐色　シルト
6. にぶい黄褐色　シルト
7. 暗褐色　シルト
8. 褐色　シルト
9. にぶい黄褐色　シルト
10. 褐色　シルト
11. 灰黄褐色　砂
12. 褐色　砂
13. 灰黄褐色　砂礫

第８図　調査区中央部における遺構検出面付近の堆積物



1. 耕土
2. オリーブ褐色　シルト
3. にぶい黄褐色　シルト：平安時代後期から鎌倉時代の遺物混入
4. 褐色　シルト：平安時代後期から鎌倉時代の遺物混入
5. 遺構埋土
6. 暗灰黄色　シルト
7. 黒褐色　シルト
8. 暗褐色　シルト
9. 暗褐色　シルト
10. にぶい黄褐色　シルト
11. 暗黄褐色　砂礫：径0.2～4cmの亜角礫～亜円礫主体
弥生時代中期の遺物混入
12. 黒褐色　砂礫：径0.2～5cmの亜角礫～亜円礫主体
13. にぶい黄褐色　シルト
14. 灰黄褐色　砂
15. 灰黄褐色　砂礫：径0.3～3cmの亜角礫～亜円礫主体
16. 灰褐色　シルト
17. 灰黄褐色　シルト
18. 黄褐色　シルト：弥生時代中期の遺物混入
19. 褐色　シルト：弥生時代中期の遺物混入
20. 暗褐色　砂
21. 灰黄褐色　シルト
22. オリーブ褐色　砂
23. にぶい黄褐色　シルト
24. にぶい黄褐色　シルト
25. 灰黄褐色　シルト
26. 灰黄褐色　砂
27. 灰黄褐色　シルト：縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物混入
28. オリーブ褐色　砂
29. 灰黄褐色　シルト
30. 黒褐色　シルト：縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物混入
31. 黒褐色　シルト：縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物混入
32. 黒褐色　シルト：縄文時代晩期から弥生時代前期の遺物　混入
33. 灰黄褐色　シルト：水田土壌
34. 暗褐色　シルト
35. 青灰色　シルト

第９図　調査区南部における遺構検出面以浅の堆積物

21）である。これより上位に観察される埋没旧河道５は10m以上の幅と約１mの深さをもち、旧河道内にはさらに２本の小規模な流路跡がみられる。これらは砂礫や砂、シルト（第９図の堆積物９～16）に埋積されており、砂礫を構成する礫は径５cm以下と小さい。流路跡２本のうち北の流路跡を埋積する砂礫(第９図の堆積物11）には、弥生時代中期の遺物が多く混入する。

このような旧河道堆積物の上位にみられる細粒堆積物は、約75cmの厚さで観察され、褐色、にぶい黄褐色、及びオリーブ褐色を呈するシルト（第９図の堆積物２～４、６～８）などに分けられる。これらは調査区南東部を中心に分布する。とくに、褐色とにぶい黄褐色のシルト（第９図の堆積物３・４）には平安時代後期から鎌倉時代の遺物が含まれ、下面の層位では同時期の遺構が検出される。

なお、弥生時代中期の遺物を含む褐色と黄褐色のシルト（第９図の堆積物18・19）ならびに平安時代後期から鎌倉時代の遺物が混入する褐色とにぶい黄褐色のシルト（第９図の堆積物３・４）は、調査区南東部以外に広がる埋没旧中州上に認められない。これは各堆積物が人為的に削り取られたことによると考えられる。埋没旧中州上では、扇状地堆積物である砂礫やそれを覆う細粒堆積物が耕土の下位にみられ、それらの上面から弥生時代中期、古墳時代中期から後期、ならびに平安時代後期から鎌倉時代の遺構が検出される。

4. 地形環境の変遷

調査区付近の地形環境は、これまで述べた事柄からみて次のように変遷したと考えられる。

〔ステージ１〕 調査区付近では、縄文時代晩期以前（約2,500年前以前）主に林田川によって砂礫がもたらされ、扇状地が発達した。その際、調査区南東部には林田川の本流または比較的大規模な支流が北東から南西方向へ流れ、南東部以外の範囲には砂礫の堆積によって比高２m以上の中州が形成された。

〔ステージ２〕 扇状地の形成後、調査区南東部の旧河道１が砂を中心とする堆積物に埋積され、さらに旧河道と旧中州が洪水堆積物に覆われた。その際、これらの微地形上にはまず砂が堆積し、次にシルトが数回の洪水に伴ってそれらを覆った。このため、旧中州と旧河道は１m前後の深さに埋没した。

〔ステージ３〕 微地形の埋没後、扇状地形成期の旧河道（埋没旧河道１）に沿って林田川の支流が流れた。その結果、調査区南東部に北東から南西へ延びる比較的大規模な流路が形成された。

〔ステージ４〕 縄文時代晩期以前、流路の下部にシルトが数回にわたって堆積し、縄文時代晩期から弥生時代前期にはこの流路跡（旧河道２）でシルトを土壌とする水田稲作が営まれた。水田上にはその後弥生時代前期までにシルトが堆積するとともに、低湿な流路内では黒褐色のシルト（土壌）が生成された。このようにして旧河道２の下半部がほぼ埋積されるに至った。

〔ステージ５〕 旧河道２では、弥生時代前期から中期にかけて小規模な流路が形成され、その埋積後、流路跡（旧河道３）の上に砂とシルトが堆積した。そのため、旧河道２の埋積がさらに進んだ。

〔ステージ６〕 弥生時代中期になると、旧河道２内に小規模な流路が形成され、続いてそれは主に砂によって埋積された。この流路跡（旧河道４）をシルトが被覆した後、南側にほぼ同じ規模の流路がつくられた。このころ埋没旧中州上では、人間が居住し、竪穴住居が約10棟建てられるとともに、北から南へ流れる小規模な流路が形成された。これは、調査区周辺の旧河道が概ね埋積され、地表がかなり平坦化したため、小規模な支流が埋没旧中州の末端上にまで及べるようになったことを意味する。

〔ステージ７〕 弥生時代中期以降、調査区南東部に形成された小規模な流路は砂礫や砂、シルトに埋

積され、さらに流路跡（旧河道５）の上にシルトが堆積した。これによって、扇状地形成期の埋没旧河道（埋没旧河道１）内にみられた大規模な旧河道（旧河道２）はほぼ完全に埋積された。こうした中、埋没旧中州上では古墳時代中期から後期に再び人間が居住し、竪穴住居が26棟前後建てられた。

〔ステージ８〕 古墳時代後期から平安時代後期まである時期、旧河道（旧河道２）上を中心にシルトが堆積した。そのため埋没旧中州上と旧河道上面との比高は減少したものの、平安時代後期から鎌倉時代には埋没旧中州上に約30棟の掘立柱建物が建てられ、そこは居住域となった。

〔ステージ９〕 鎌倉時代以降、主に埋没旧河道上に洪水が及び、シルトの堆積がみられた。その後、調査区付近に広がる埋没扇状地は、林田川と大津茂川の下刻によって段丘化した。

5. おわりに

本遺跡の調査区は、林田川と大津茂川によって形成された沖積低地の完新世段丘に位置する。これは埋没した扇状地が段丘化したものである。扇状地の発達と埋没は縄文時代晩期以前（約2,500年前以前）のことで、段丘化の時期は鎌倉時代（13世紀）以降と考えられる。調査区では、扇状地の発達期に形成された旧中州と旧河道が埋没した状態で分布する。調査区南東部には林田川の埋没旧河道が北東から南西へ延び、それを除く範囲は北西から続く埋没旧中州の末端上に認められる。

調査区では、扇状地の埋没後、洪水による堆積と地形変化が主に埋没旧河道でみられた。そこでは、比較的大規模な流路が縄文時代晩期以前に形成され、それが洪水堆積物によって埋積される過程で小規模な流路３本の形成と埋積があった。こうした中、比較的大規模な流路跡（旧河道２）が少し埋積された縄文時代晩期から弥生時代前期には、旧河道内で水田がつくられた。これは旧河道内が低く、集水しやすいことに起因する。

他方、埋没旧中州上では弥生時代中期に小規模な流路が形成されたものの、洪水はあまり及ばず、比較的安定した環境が現出していた。加えてそこはわずかに高く、比較的高燥で排水の便がよかった。これが原因で埋没旧中州上は居住域に利用され、弥生時代中期と古墳時代中期から後期には主に竪穴住居、また平安時代後期から鎌倉時代には掘立柱建物が多数建てられた。このような地形環境には、わずかながらも変化がみられた。調査区南東部の旧河道は弥生時代中期から平安時代後期にかけて徐々に埋積と被覆が進み、埋没旧中州上と旧河道（埋没旧河道）上面との比高が減少した。そのため、調査区が位置する埋没旧中州末端上は弥生時代中期に比して高燥でなくなった。こうした地形環境に変化した平安時代後期から鎌倉時代の調査区付近では、床が地表より高い掘立柱建物での人間生活が有効であったと考えられる。

調査区では、以上のような地形環境と人間活動との関係が認められるのである。

注

１） 放射性炭素年代値は（株）加速器分析研究所によるものである。

２） 前掲１）

第２節　鍛冶田遺跡における放射性炭素年代（AMS測定）

㈱加速器分析研究所

1. 測定対象試料

鍛冶田遺跡は、兵庫県揖保郡太子町糸井・竹広（北緯34°48′50″、東経134°34′50″）に所在し、揖保川左岸の沖積平野の微高地上に立地する。調査区東壁断面で採取された14層、15層、17層の土塊に含まれる炭化物片を集め、各層で１試料とした（第２表）。

2. 測定の意義

鍛冶田遺跡では、縄文時代晩期と推定される水田が検出されている。今回の試料の測定により、縄文晩期の土器を含む水田土壌層（推定）の年代を明らかにする。

3. 化学処理工程

（１）メス・ピンセットを使い、土等の付着物を取り除く。

（２）酸－アルカリ－酸（AAA：Acid Alkali Acid）処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常１mol／ℓ（１M）の塩酸（HCl）を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム（NaOH）水溶液を用い、0.001Mから１Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が１Mに達した時には「AAA」、１M未満の場合は「AaA」と表１に記載する。

（３）試料を燃焼させ、二酸化炭素（CO_2）を発生させる。

（４）真空ラインで二酸化炭素を精製する。

（５）精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト（C）を生成させる。

（６）グラファイトを内径１㎜のカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4. 測定方法

加速器をベースとした^{14}C－AMS専用装置（NEC社製）を使用し、^{14}Cの計数、^{13}C濃度（^{13}C／^{12}C）、^{14}C濃度（^{14}C／^{12}C）の測定を行う。測定では、米国国立標準局（NIST）から提供されたシュウ酸（HOxⅡ）を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5. 算出方法

（１）δ^{13}Cは、試料炭素の13C濃度（^{13}C／^{12}C）を測定し、基準試料からのずれを千分偏差（‰）で表した値である（表１）。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。

（２）^{14}C年代（Libby Age：yrBP）は、過去の大気中^{14}C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年（０yrBP）として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期（5568年）を使用する（Stuiver and Polach 1977）。^{14}C年代はδ^{13}Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。^{14}C年代と誤差は、下１桁を丸

めて10年単位で表示される。また、^{14}C年代の誤差（±１σ）は、試料の^{14}C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

（３）pMC（percent Modern Carbon）は、標準現代炭素に対する試料炭素の^{14}C濃度の割合である。pMCが小さい（^{14}Cが少ない）ほど古い年代を示し、pMCが100以上（^{14}Cの量が標準現代炭素と同等以上）の場合Modernとする。この値もδ^{13}Cによって補正する必要があるため、補正した値を表１に、補正していない値を参考値として表２に示した。

（４）暦年較正年代とは、年代が既知の試料の^{14}C濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の^{14}C濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、^{14}C年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、１標準偏差（１σ＝68.2%）あるいは２標準偏差（２σ＝95.4%）で表示される。グラフの縦軸が^{14}C年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、δ^{13}C補正を行い、下１桁を丸めない^{14}C年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース（Reimer et al. 2013）を用い、OxCalv4.3較正プログラム（Bronk Ramsey 2009）を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表２に示した。暦年較正年代は、^{14}C年代に基づいて較正（calibrate）された年代値であることを明示するために「cal BC／AD」または「cal BP」という単位で表される。

6. 測定結果

測定結果を第２、３表に示す。

試料の^{14}C年代は、2540±20yrBP（試料１）から2440±20yrBP（試料３）の間にまとまる。暦年較正年代（１σ）は、最も古い試料１が2743～2542cal BPの間に３つの範囲、最も新しい試料３が2681～2380cal BPの間に５つの範囲で示される。試料の年代値には相互に重なり合う範囲があり、年代差は明確でないが、全体的に層位の上下関係に矛盾しない結果である。最も古い試料１は縄文時代晩期中葉から後葉頃、最も新しい試料３は晩期後葉から弥生時代への移行期頃に相当する（小林編2008、小林2009、2017）。

なお、試料は炭化物の細片であるため、形態的な特徴は把握できないが、δ^{13}Cから試料１はC３植物、試料２、３はC４植物の可能性がある（赤澤ほか1993）。

試料の炭素含有率は、42%（試料２）から61%（試料１）のおおむね適正な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

第２表　放射性炭素年代測定結果（δ^{13}C補正値）

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	δ^{13}C‰（AMS）	δ^{13}C補正あり	
						Libby Age(yrBP)	pMC(%)
LAAA-190359	1	調査区東壁断面　15層	炭化物	AaA	−24.94±0.16	2,540±20	72.91±0.22
LAAA-190360	2	調査区東壁断面　17層	炭化物	AaA	−14.09±0.16	2,480±20	73.47±0.22
LAAA-190361	3	調査区東壁断面　14層	炭化物	AaA	−10.11±0.17	2,440±20	73.79±0.23

〔LAA登録番号：＃9672〕

第３表　放射性炭素年代測定結果（δ^{13}C未補正値、暦年較正用^{14}C年代、較正年代）

測定番号	δ^{13}C補正なし		暦年較正用(yrBP)	1δ暦年代範囲	2δ暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
LAAA-190359	2,540±20	72.92±0.22	2,538±23	2743calBP-2702calBP(48.0%) 2631calBP-2618calBP(9.2%) 2560calBP-2542calBP(11.0%)	2745calBP-2694calBP(50.6%) 2635calBP-2615calBP(11.5%) 2593calBP-2501calBP(33.3%)
LAAA-190360	2,300±20	75.12±0.23	2,476±24	2702calBP-2676calBP(11.4%) 2667calBP-2654calBP(4.8%) 2644calBP-2631calBP(5.5%) 2618calBP-2560calBP(24.0%) 2542calBP-2490calBP(22.5%)	2718calBP-2457calBP(94.6%) 2449calBP-2440calBP(0.8%)
LAAA-190361	2,200±20	76.07±0.23	2,441±24	2681calBP-2639calBP(19.6%) 2610calBP-2599calBP(4.7%) 2493calBP-2422calBP(34.2%) 2413calBP-2402calBP(4.0%) 2395calBP-2380calBP(5.8%)	2699calBP-2632calBP(24.7%) 2617calBP-2587calBP(8.4%) 2539calBP-2358calBP(62.3%)

〔参考値〕

文献

赤澤威，　米田穣，　吉田邦夫　1993　北村縄文人骨の同位体食性分析，　中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書11　―明科町内―　北村遺跡　本文編（㈶長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書14），　長野県教育委員会，　㈶長野県埋蔵文化財センター，　445－468

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, Radiocarbon 51（1）, 337－360

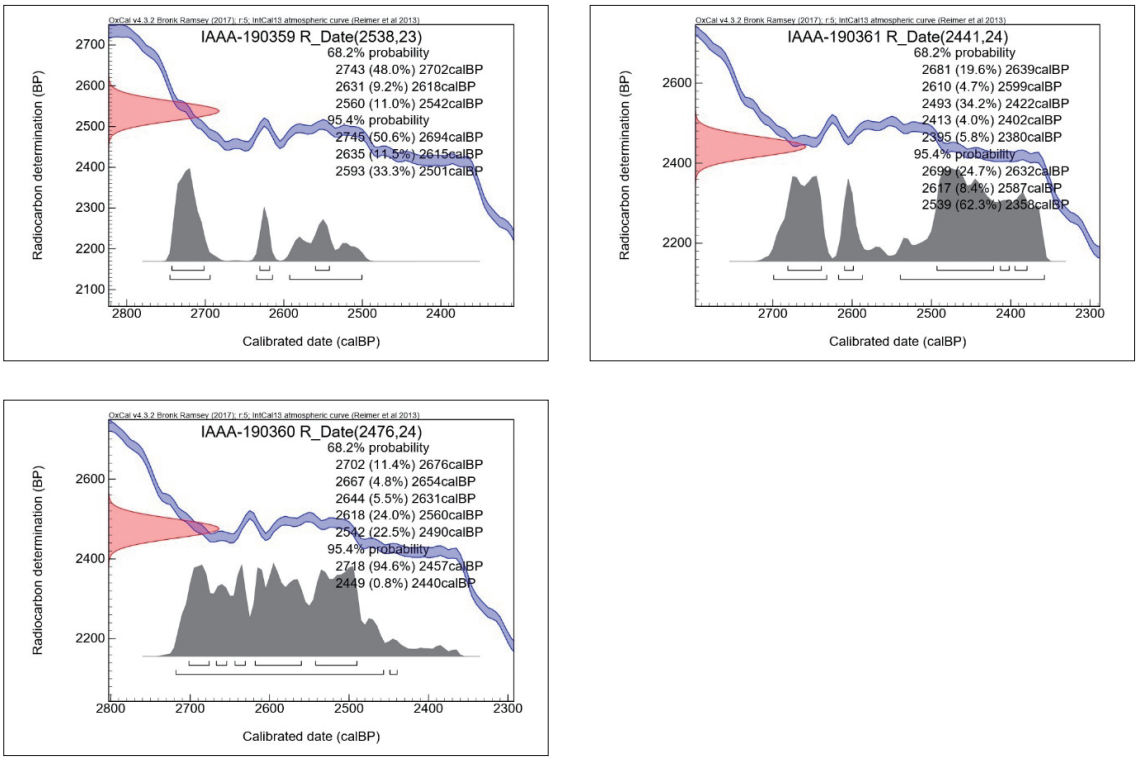
小林謙一　2009　近畿地方以東の地域への拡散，　西本豊弘編，　新弥生時代のはじまり　第４巻　弥生農耕のはじまりとその年代，　雄山閣，　55－82

小林謙一　2017　縄文時代の実年代　―土器型式編年と炭素14年代―，　同成社

小林達雄編　2008　総覧縄文土器，　総覧縄文土器刊行委員会，　アム・プロモーション

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0－50,000 years cal BP, Radiocarbon 55（4）, 1869－1887

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, Radiocarbon 19（3）, 355-363



第10図　鍛冶田遺跡試料の暦年較正年代グラフ

第３節　鍛冶田遺跡における花粉･植物珪酸体･珪藻分析

株式会社　古環境研究所

1. 分析の概要

鍛冶田遺跡は、兵庫県揖保郡太子町に所在する。遺跡は、揖保川左岸の沖積平野の微高地上に立地する。発掘調査によって、縄文時代晩期～弥生時代前期とされる堆積層で微高地末端の斜面部から低地部にかけて、段状に造成された小区画の水田遺構が検出された。そこで、当該層における稲作の可能性ならびに古環境を推定する目的で、花粉分析、植物珪酸体（プラント・オパール）分析、珪藻分析を実施することになった。

2. 分析試料

分析試料は、調査区東壁において12層、13層、14層、15層、17層、18層より採取された６点である。試料の層相は次のとおりである。12層は、2.5Y4/3オリーブ褐色を呈する細砂～中砂で、極粗砂粒を含む洪水砂である。13層は、10YR4/2灰黄褐色を呈する砂混じりシルトである。14層は、13層とほぼ同じだが、やや暗色で一部に微粒の炭化物をレンズ状に挟む。15層は、10YR3/2黒褐色を呈する砂混じりシルトである。17層は、10YR3/2黒褐色を呈する砂質シルトで、φ１ ㎝ 以下の炭化物を含む。18層は、2.5Y3/1黒褐色を呈する砂混じりシルトで、下部は淡色化し青灰色を呈する。φ５㎜以下の細礫、粗砂粒を含む。

3. 花粉分析

（１）はじめに

花粉分析は、第四紀学で多く扱われ、生層序によるゾーン解析で地層を区分し、ゾーン比較によって植生や環境の変化を復原する方法である。そのため、通常は湖沼などの堆積物が対象となり、堆積盆単位など比較的広域な植生・環境の復原を行う方法として用いられる。遺跡調査においては、遺構内の堆積物など局地的でかつ時間軸の短い堆積物も対象となり、より現地性の高い植生・環境・農耕の復原もデータ比較の中で行える場合もある。さらに遺物包含層など、乾燥的な環境下の堆積物も対象となり、その分解性も環境の指標となる。また、風媒花や虫媒花などの散布能力などの差で、狭い範囲の植生に由来する結果を得ることも可能であり、陸域の堆積物も分析の対象になる。

（２）分析方法

花粉の分離抽出は、中村（1967）の方法をもとに、以下の手順で行った。

１）試料から１㎤を採量

２）0.5％リン酸三ナトリウム（12水）溶液を加え15分間湯煎

３）水洗処理の後､0.25mmの篩で礫などの大きな粒子を取り除き、沈澱法で砂粒を除去

４）25％フッ化水素酸溶液を加えて30分放置

５）水洗処理の後、氷酢酸によって脱水し、アセトリシス処理（無水酢酸９：濃硫酸１のエルドマン氏液を加え１分間湯煎）

６）再び氷酢酸を加えて水洗処理

７）沈渣にチール石炭酸フクシン染色液を加えて染色しグリセリンゼリーで封入してプレパラート作成

第４表　鍛冶田遺跡における花粉分析結果

分類群（学名・和名）			東壁断面					
			12層	13層	14層	15層	17層	18層
Arboreal pollen	樹木花粉							
	Salix	ヤナギ属			1			
	Fagus	ブナ属						1
	Quercus subgen. Lepidobalanus	コナラ属コナラ亜属			1	1	1	1
	Quercus subgen. Cyclobalanopsis	コナラ属アカガシ亜属			2	2		3
Arboreal･Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉							
	Moraceae－Urticaceae	クワ科－イラクサ科			2		1	
Nonarboreal pollen	草本花粉							
	Gramineae	イネ科			13	3	15	12
	Oryza type	イネ属型					1	
	Cyperaceae	カヤツリグサ科					1	
	Chenopodiaceae－Amaranthaceae	アカザ科－ヒユ科						1
	Caryophyllaceae	ナデシコ科			1			
	Apioideae	セリ亜科						1
	Asteroideae	キク亜科				2		
	Artemisia	ヨモギ属			16	15	6	15
Fern spore	シダ植物胞子							
	Monolate type spore	単条溝胞子			4	4	3	5
	Trilate type spore	三条溝胞子			7	3		1
	Arboreal pollen	樹木花粉	0	0	4	3	1	5
	Arboreal･Nonarboreal pollen	樹木・草本花粉	0	0	2	0	1	0
	Nonarboreal pollen	草本花粉	0	0	30	20	23	29
Total pollen	花粉総数		0	0	36	23	25	34
Pollen frequencies of 1㎤	試料1㎤中の花粉密度				2.8×10^2	1.4×10^2	1.7×10^2	2.1×10^2
	Unknown pollen	未同定花粉	0	0	4	0	3	1
Fern spore	シダ植物胞子		0	0	11	7	3	6
Parasite eggs	寄生虫卵		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
Stone cell	石細胞		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
Digestion rimeins	明らかな消化残渣		(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
Charcoal･woods fragments	微細炭化物・微細木片		(＋)	(＋)	(＋)	(＋)	(＋)	(＋)
微細植物遺体（Charcoal ･woods fragments）：単位（$\times 10^5$）								
未分解遺体片								
分解質遺体片			4.1	11.3	14.6	29.1	26.9	19.4
炭化遺体片（微粒炭）					0.4			

８）検鏡・計数

検鏡は、生物顕微鏡によって300～1000倍で行った。花粉の分類は同定レベルによって、科、亜科、属、亜属、節および種の階級で分類し、複数の分類群にまたがるものはハイフン（－）で結んで示した。同定分類には所有の現生花粉標本、島倉（1973）、中村（1980）を参照して行った。イネ属については、中村（1974, 1977）を参考にして、現生標本の表面模様・大きさ・孔・表層断面の特徴と対比して同定しているが、個体変化や類似種もあることからイネ属型とする。なお、花粉分類では樹木花粉（AP）および非樹木花粉（NAP）となるが非樹木花粉（NAP）は草本花粉として示した。

（3）結果

産出した花粉化石の分類群は、樹木花粉４、樹木花粉と草本花粉を含むもの１、草本花粉８、シダ植物胞子２形態の計15である。分析結果を第４表に示す。花粉密度が低いため、参考として実数による花粉ダイアグラムを第11図に示す。また、各分類群の顕微鏡写真を写真２に示した。なお、同時に寄生虫卵についても観察したが検出されなかった。以下に、産出した分類群と花粉群集の特徴を記載する。

〔樹木花粉〕

ヤナギ属、ブナ属、コナラ属コナラ亜属、コナラ属アカガシ亜属

〔樹木花粉と草本花粉を含むもの〕

クワ科－イラクサ科

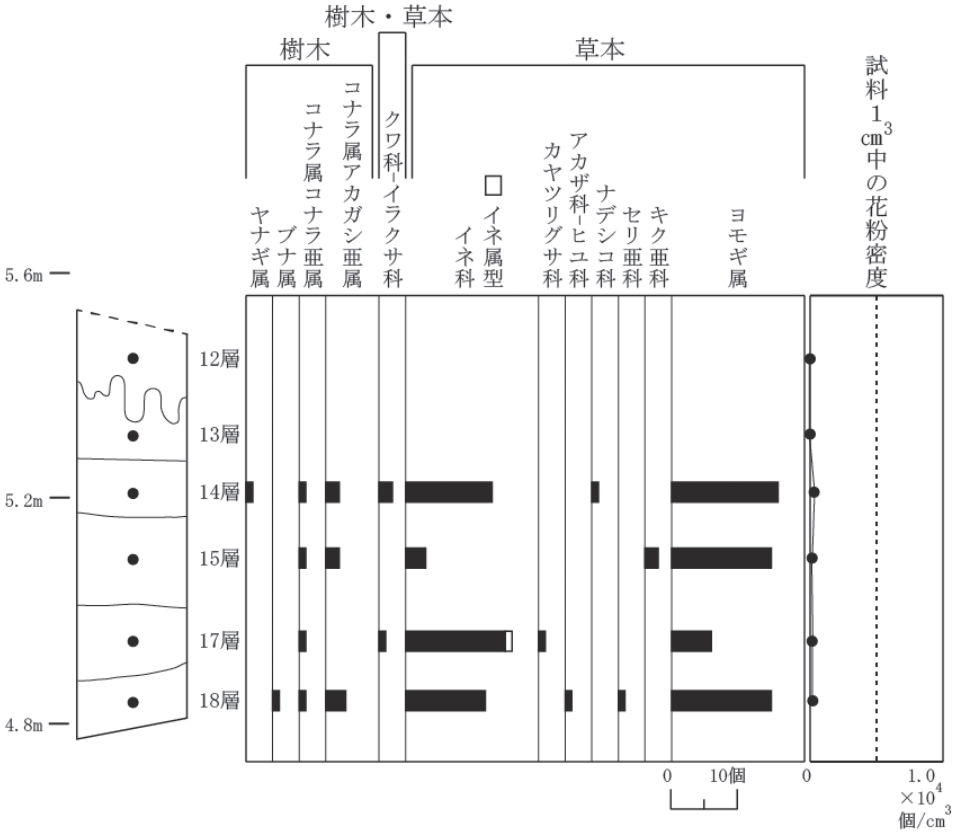
〔草本花粉〕

イネ科、イネ属型、カヤツリグサ科、アカザ科－ヒユ科、ナデシコ科、セリ亜科、キク亜科、ヨモギ属

〔シダ植物胞子〕

単条溝胞子、三条溝胞子

いずれも花粉化石の密度が低く、上位の12層と13層では花粉は産出しない。14層、15層、17層、18層の花粉化石群集は概ね類似する。いずれも乾燥ないし多様な環境に生育する草本のヨモギ属とイネ科を主に、コナラ属アカガシ亜属、コナラ属コナラ亜属、ブナ属、ヤナギ属の樹木、クワ科－イラクサ科、カヤツリグサ科、アカザ科－ヒユ科、ナデシコ科、セリ亜科、キク亜科、イネ属型の草本が少量で産出する。



第11図　鍛冶田遺跡における花粉ダイアグラム（参考）

（4）考察

下位より18層、17層、15層、14層の時期は、周辺はイネ科とヨモギ属を主要素とし、他にヨモギ属に加えアカザ科－ヒユ科、ナデシコ科、キク亜科などの乾燥した人為改変地に生育する草本が分布していた。こうしたことから、調査地周囲は開地化されていたとみなされる。水田域も湛水時以外の期間はやや乾燥した環境であったと推定され、本遺跡における水田形態は乾田が想定される。なお、土壌生成が進行するような乾湿を繰り返す環境下では、花粉などの有機物は分解されやすい（中村, 1967　など）。このことから、上位の12層や13層の時期の調査地は、乾燥か乾湿を繰り返す環境であったと推定される。

4. 植物珪酸体（プラント・オパール）分析

（1）はじめに

植物珪酸体は、植物の細胞内に珪酸（SiO_2）が蓄積したもので、植物が枯れたあともガラス質の微化石（プラント・オパール）となって土壌中に半永久的に残っている。植物珪酸体分析は、この微化石を遺跡土壌などから検出して同定・定量する方法であり、イネをはじめとするイネ科栽培植物の同定および古植生･古環境の推定などに応用されている（杉山, 2000, 2009）。また、イネの消長を検討することで埋蔵水田跡の検証や探査も可能である（藤原・杉山, 1984）。

（2）分析方法

植物珪酸体の抽出と定量は、ガラスビーズ法（藤原, 1976）を用いて、次の手順で行った。

1）試料を105℃で24時間乾燥（絶乾）

2）試料約1gに対し直径約40μmのガラスビーズを約0.02g添加（0.1mgの精度で秤量）

3）電気炉灰化法（550℃・6時間）により脱有機物処理

4）超音波水中照射（300W･42KHz･10分間）により土壌を分散

5）沈底法により20μm以下の微粒子を除去

6）乾燥後、封入剤（オイキット）中に分散してプレパラート作成

検鏡は､400倍の偏光顕微鏡下で行う。同定は、おもにイネ科植物の機動細胞に由来する植物珪酸体を対象とする。計数は､ガラスビーズ個数が500以上になるまで行う。これはほぼプレパラート1枚分の精査に相当する。試料1g中の植物珪酸体個数は、試料1gあたりのガラスビーズ個数に、計数された植物珪酸体とガラスビーズ個数の比率を乗じて算出する。また、おもな分類群についてはこの値に試料の仮比重（1.0と仮定）と各植物の換算係数（機動細胞珪酸体1個あたりの植物体乾重）を乗じて、単位面積で層厚1cmあたりの植物体生産量を算出する。これにより､各植物の繁茂状況や植物間の占有割合などを具体的にとらえることができる（杉山, 2000）。

（3）分析結果

検出された植物珪酸体の分類群は以下のとおりである。これらの分類群について定量を行い、その結果を第5表および第12図に示した。主要な分類群について顕微鏡写真を写真4に示す。

〔イネ科〕

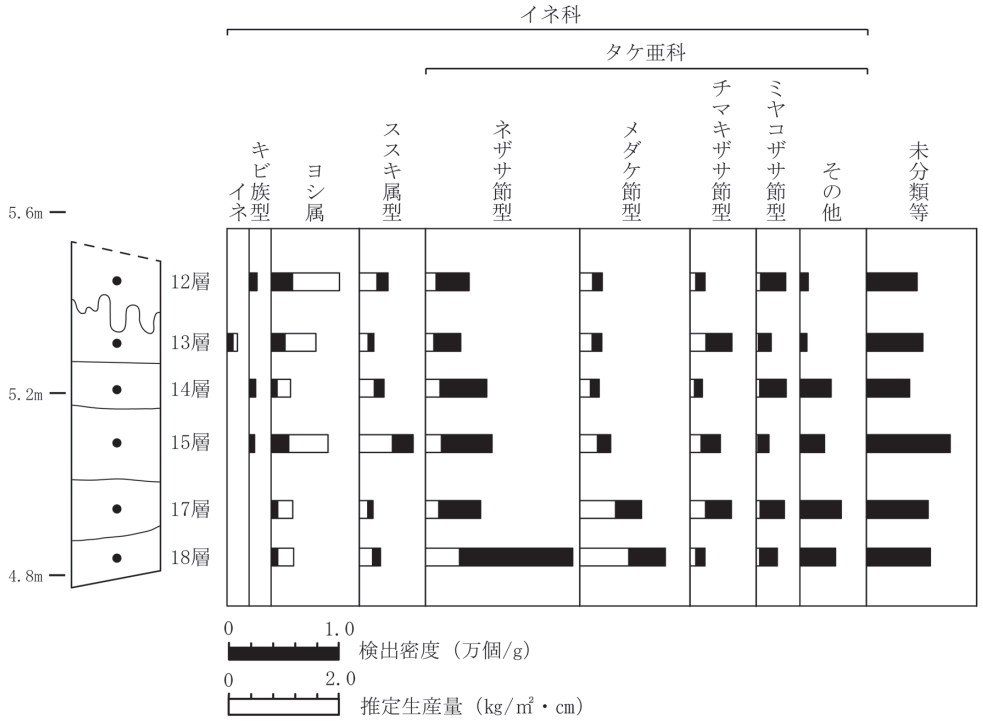
イネ、キビ族型、ヨシ属、ススキ属型（おもにススキ属）

第５表　鍛冶田遺跡における植物珪酸体（プラント・オパール）分析結果

分類群		学名	東壁断面					
			12層	13層	14層	15層	17層	18層
イネ科		Gramineae						
	イネ	*Oryza sativa*		6				
	キビ族型	*Paniceae type*	7		6	5		
	ヨシ属	*Phragmites*	20	13	6	16	6	6
	ススキ属型	*Miscanthus type*	26	13	22	49	12	19
タケ亜科		Bambusoideae						
	ネザサ節型	*Pleioblastus sect. Nezasa*	39	32	55	60	50	135
	メダケ節型	*Pleioblastus sect. Nipponoca lamus*	20	19	17	27	56	77
	チマキザサ節型	*Sasa sect. Sasa etc.*	13	38	11	27	37	13
	ミヤコザサ節型	*Sasa sect. Crassinodi*	26	13	28	11	25	19
	その他	*Others*	7	6	28	22	37	32
その他のイネ科		Others						
	未分類等	Unknown	46	51	39	76	56	58
(海綿骨針)		Sponge				6	6	
植物珪酸体総数		Total	204	191	212	293	279	359

おもな分類群の推定生産量（単位：kg/㎡･cm）：試料の仮比重を1.0と仮定して算出

イネ	Oryza sativa		0.19				
ヨシ属	Phragmites	1.24	0.81	0.35	1.03	0.39	0.41
ススキ属型	Miscanthus type	0.32	0.16	0.27	0.61	0.15	0.24
ネザサ節型	Pleioblastus sect. Nezasa	0.19	0.15	0.26	0.29	0.24	0.65
メダケ節型	Pleioblastus sect. Nipponoca lamus	0.23	0.22	0.19	0.32	0.65	0.89
チマキザサ節型	Sasa sect. Sasa etc.	0.10	0.29	0.08	0.20	0.28	0.10
ミヤコザサ節型	Sasa sect. Crassinodi	0.08	0.04	0.08	0.03	0.07	0.06



第12図　鍛冶田遺跡における植物珪酸体（プラント・オパール）ダイアグラム

〔イネ科－タケ亜科〕

メダケ節型（メダケ属メダケ節･リュウキュウチク節、ヤダケ属）、ネザサ節型（おもにメダケ属ネザサ節）、チマキザサ節型（ササ属チマキザサ節・チシマザサ節など）、ミヤコザサ節型（ササ属ミヤコザサ節など）、その他未分類等

〔イネ科－その他〕

未分類等

以下に、各試料における植物珪酸体の検出状況を記す。

上位より12層では、ススキ属型、ネザサ節型、ミヤコザサ節型が比較的高い密度であり、他にキビ族型、ヨシ属、メダケ節型、チマキザサ節型、タケ亜科（未分類）などが検出された。13層では、ネザサ節型とチマキザサ節型が比較的高い密度であり、他にイネ、ヨシ属、ススキ属型、メダケ節型、ミヤコザサ節型、タケ亜科（未分類）などが検出された。14層では、ネザサ節型が高い密度であり、ススキ属型やミヤコザサ節型も比較的高い密度である。他にはキビ族型、ヨシ属、メダケ節型、チマキザサ節型、タケ亜科（未分類）などが検出された。15層も14層と概ね類似する状況であるが、ここではススキ属型も高い密度である。17層では、ネザサ節型とメダケ節型が高い密度であり、チマキザサ節型とミヤコザサ節型が比較的高い密度である。他にはヨシ属、ススキ属型、タケ亜科（未分類）などが検出された。18層では、ネザサ節型が非常に高い密度であり、メダケ節型も高い密度である。他にはヨシ属、ススキ属型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節型、タケ亜科（未分類）などが検出された。なお15層と17層では、植物珪酸体以外に海綿骨針が低密度で検出された。

（４）考察

１）稲作跡の検討

植物珪酸体分析において稲作跡の探査や検証を行う場合、通常、イネの植物珪酸体（プラント･オパール）が試料１gあたり5,000個以上の密度で検出された場合に、そこで稲作が行われていた可能性が高いと判断している（杉山,2000）。なお、最近の調査では密度が3,000個／g程度であっても水田遺構が検出された事例が報告されていることから、ここでは判断の基準を3,000個／gとして検討を行う。

本調査地点では、13層においてイネの植物珪酸体が600個／gの低密度で検出されている。稲作跡の検証や探査を行う場合の判断基準とされている3,000個／gには満たないことから、本地点の当該層で稲作が行われていた可能性を積極的に支持することはできない。ここで検出されたイネの植物珪酸体は、調査地の周辺など他所から混入したものと推定される。仮にここで稲作が行われていたとすると、耕作期間（年数）は極めて短いものであったと思われる。その他の12層、14層、15層、17層、18層からはイネの植物珪酸体は検出されなかった。このことから、これらの層準では調査地において稲作が行われていた可能性を肯定することはできない。また、近傍において稲作が行われていた可能性も考えにくい。

２）イネ科栽培植物の検討

植物珪酸体分析で同定される分類群のうち栽培植物が含まれるものには、イネ以外にもムギ類、ヒエ属型（ヒエが含まれる）、エノコログサ属型（アワが含まれる）、キビ属型（キビが含まれる）、ジュズダマ属型（ハトムギが含まれる）、オヒシバ属（シコクビエが含まれる）、モロコシ属型、トウモロコシ属型などがある。本遺跡の試料からはこれらの分類群はいずれも検出されなかった。

イネ科栽培植物の中には検討が不十分なものもあるため、その他の分類群の中にも栽培種に由来する

ものが含まれている可能性がある。これらの分類群の給源植物の究明については今後の課題である。なお、植物珪酸体分析で同定される分類群は主にイネ科植物に限定されるため、根菜類、葉菜類などの畑作物は分析の対象外となっている。

3）植物珪酸体分析から推定される植生と環境

上記以外の分類群の推定生産量と、そこから推定される植生・環境について検討を行う。12層では、ヨシ属が高密度ではないものの優勢であり、ススキ属型が比較的多い。他にはキビ族型、メザサ節型、メダケ節型、チマキザサ節型、ミヤコザサ節などが認められるが、いずれも少量である。こうしたことから、12層堆積時の調査地付近では、ヨシなどの生育する湿地あるいはそれに近い環境の時期があり、周辺の比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。13層は、キビ族型が検出されないことを除けば12層とほぼ類似する植物珪酸体組成であり、12層と同様の環境が推定される。14層では、優勢種は無いがヨシ属、ススキ属型、ネザサ節型が比較的多く、キビ族型、メダケ節型、ミヤコザサ節型などが少量認められる。こうしたことから、調査地周辺の湿ったところにはヨシが、比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。15層は、12層とほぼ類似する植物珪酸体組成であることから、調査地付近ではヨシなどの生育する湿地あるいはそれに近い環境の時期があり、周辺の比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。17層では、メダケ節型が優勢であり、ヨシ属、ネザサ節型、メダケ節型が比較的多い。こうしたことから、調査地周辺の湿ったところにはヨシが、比較的乾いたところにはススキやササ類が生育していたと推定される。18層でもメダケ節型が優勢であり、次いでネザサ節型、ヨシ属が多い。こうしたことから、調査地周辺は乾いた環境であり、ササ類やススキなどが生育していおり、ヨシなどが生育する湿ったところもみられたと推定される。

5. 珪藻分析

（1）はじめに

珪藻は、珪酸質の被殻を有する単細胞植物であり、海水域や淡水域などの水域をはじめ、湿った土壌、岩石、コケの表面にまで生息している。珪藻の各分類群は、塩分濃度、酸性度、流水性などの環境要因に応じて、それぞれ特定の生息場所を持っている。珪藻化石群集の組成は、当時の堆積環境を反映しており、水域を主とする古環境復原の指標として利用されている。

（2）分析方法

以下の手順で、珪藻の抽出と同定を行った。

1）試料から1㎤を採量

2）10％過酸化水素水を加え、加温反応させながら1晩放置

3）上澄みを捨て、細粒のコロイドを水洗（5～6回）

4）残渣をマイクロピペットでカバーグラスに滴下して乾燥

5）マウントメディアによって封入し、プレパラート作製

6）検鏡、計数

検鏡は、生物顕微鏡によって600～1500倍で行った。計数は珪藻被殻が200個体以上になるまで行い、少ない試料についてはプレパラート全面について精査を行った。

（3）結果

産出した珪藻は、中塩性種（汽水生種）１分類群、貧塩性種（淡水生種）８分類群である。破片の計数は基本的に中心域を有するものと、中心域がない種については両端２個につき１個と数えた。分析結果を第６表に示す。なお、珪藻密度が低いため、参考として実数による珪藻ダイアグラムを図１に示す。珪藻ダイアグラムにおける珪藻の生態性はLowe（1974）の記載により、陸生珪藻は小杉（1986）により、環境指標種群は海水生種から汽水生種は小杉（1988）により、淡水生種は安藤（1990）による。各分類群の顕微鏡写真を写真３に示した。以下に産出した分類群と珪藻群集の特徴を記載する。

〔中塩性種〕

Achnanthes brevipes

〔貧塩性種〕

Aulacoseira canadensis、*Aulacoseira distans(Ringleisten)*、*Cymbella cistula*、*Gomphonema acuminatum*、*Gomphonema gracile*、*Hantzschia amphioxys*、*Navicula mutica*、*Pinnularia microstauron*

いずれの試料も密度が極めて低く、珪藻は産出しないか、産出しても極わずかであった。下位の18層から15層では、低密度であるが真・好止水性種で沼沢湿地付着生種や湖沼沼沢湿地付着生種の環境指標種が含まれる*Aulacoseira canadensis*、*Aulacoseira distans(Ringleisten)*、*Cymbella cistula*、*Gomphonema acuminatum*、*Gomphonema gracile*、*Pinnularia microstauron*が、他に陸生珪藻の*Hantzschia amphioxys*、*Navicula mutica*、中塩性種（汽水生種）の*Achnanthes brevipe*sが産出する。上位の12層、13層では、珪藻化石は産出しなかった。

（４）考察

いずれの層準も珪藻密度が低く、珪藻の生育できない乾燥した堆積環境であったか、堆積速度が速く珪藻が集積できなかったことなどが考えられる。また、集約性の高い水田では、珪酸濃度低下のため珪藻殻の形成不全が起こり、珪酸殻が溶脱して残存しないこともある。下部の15層、17層、18層の層準では、わずかに検出される珪藻は、真・好止水性種であり、湛水時は水域となる低湿な環境が示唆される。

6. まとめ

鍛冶田遺跡において、稲作の可能性ならびに古環境を推定する目的で、花粉分析、植物珪酸体（プラント･オパール）分析、珪藻分析を行った。その結果､13層でイネの植物珪酸体が検出されたものの低密度であり、調査地で稲作が行われていた可能性を肯定することはできなかった。稲作が行われていたならば、耕作期間は極めて短かったと推定された。

各層準とも花粉など有機物が分解されやすく、珪藻の生育しにくい乾燥ないし乾湿を繰り返すような環境が推定された。中下部の14層、15層、17層、18層の時期の調査地周辺は、イネ科とヨモギ属がわずかであるが主要に産出し、乾湿を繰り返す環境が示唆された。なお、15層、17層、18層の時期の調査地は、湛水時は水域となる比較的低湿な環境が示唆された。水田域も、湛水時以外は比較的乾燥する環境であり、水田の形態は乾田が想定された。

参考文献

【花粉分析】

金原正明（1993）花粉分析法による古環境復原．木下正史編「新版古代の日本　第10巻　古代資料研究の方法」，角川書店，p. 248－262.

中村　純（1967）「花粉分析」．古今書院, 232p.

中村　純（1974）イネ科花粉について、とくにイネ（Oryza sativa）を中心として．　第四紀研究，　13，　p. 187－193.

中村　純（1977）稲作とイネ花粉．考古学と自然科学，no. 10，p. 21－30.

中村　純（1980）日本産花粉の標徴．大阪自然史博物館収蔵目録第13集, 91p.

島倉巳三郎（1973）日本植物の花粉形態．大阪市立自然科学博物館収蔵目録, 5, 60p.

【物珪酸体分析】

藤原宏志（1976）プラント・オパール分析法の基礎的研究（１）－数種イネ科植物の珪酸体標本と定量分析法－．考古学と自然科学, 9，p. 15－29.

藤原宏志・杉山真二（1984）プラント・オパール分析法の基礎的研究（５）－プラント・オパール分析による水田址の探査－．考古学と自然科学, 17，p. 73－85.

杉山真二（2000）植物珪酸体（プラント・オパール）．考古学と植物学．同成社，p. 189－213.

杉山真二・藤原宏志（1986）機動細胞珪酸体の形態によるタケ亜科植物の同定－古環境推定の基礎資料として－．考古学と自然科学, 19，p. 69－84.

杉山真二・松田隆二・藤原宏志（1988）機動細胞珪酸体の形態によるキビ族植物の同定とその応用－古代農耕追及のための基礎資料として－．考古学と自然科学, 20，p. 81－92.

【珪藻分析】

安藤一男（1990）淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復原への応用．東北地理, 42，p. 73－88.

Asai,K.&,Watanabe,T.(1995)Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relaiting to Organic Water Pollution(2) Saprophilous and saproxenous taxa.Diatom,10,p.35-47.

Hustedt,F.(1937－1938)Systematische und ologishe Untersuchungen uber die DiatomeenFlora von Java,Bali und Sumatra nach dem Material der Deutschen Limnologischen Sunda-Expedition. Arch.Hydrobiol,Suppl.15, p.131－506.

伊藤良永・堀内誠示（1991）陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用．珪藻学会誌, 6，p. 23－45.

小杉正人（1986）陸生珪藻による古環境解析とその意義－わが国への導入とその展望－．植生史研究，第１号，植生史研究会，p. 29－44.

小杉正人（1988）珪藻の環境指標種群の設定と古環境復原への応用．第四紀研究, 27，p. 1－20.

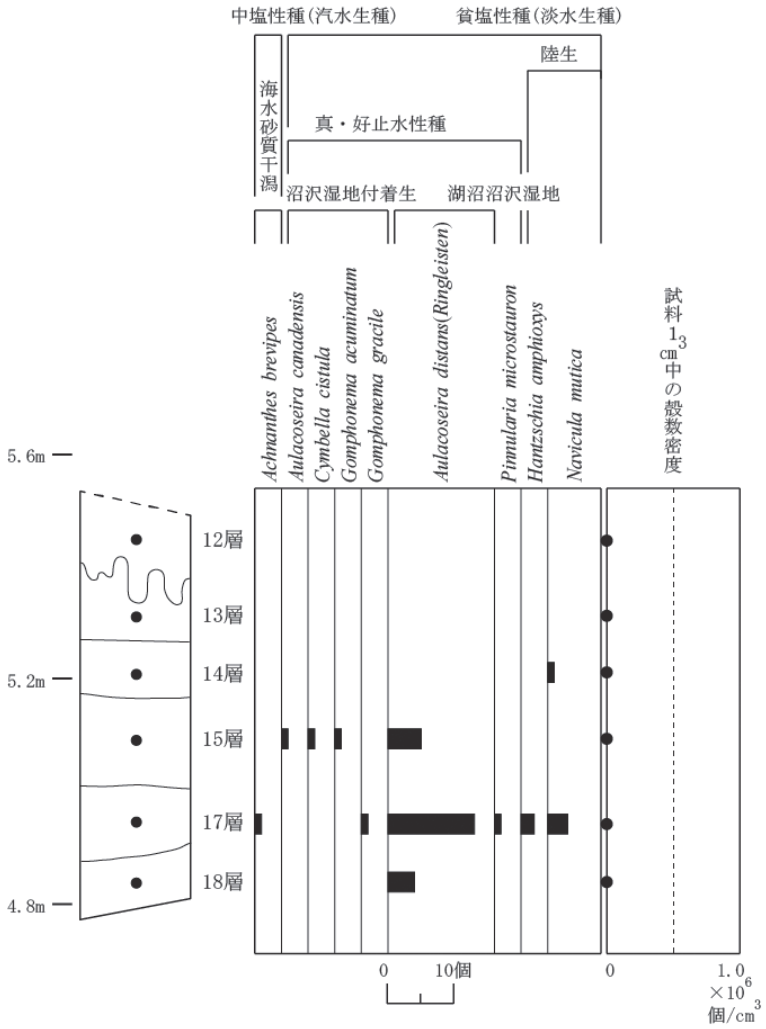
K. Krammer・H.Lange-Bertalot(1986-1991) Bacillariophyceae,vol.2,no.1-no.4

Lowe,R.L.(1974)Environmental Requirements and pollution tolerance of fresh－water diatoms. 333p., National Environmental Reserch.Center.

渡辺仁治（2005）淡水珪藻生態図鑑　群集解析に基づく汚濁指数DAIpo，　pH耐性能．内田老鶴圃, 666p

第６表　鍛冶田遺跡における珪藻分析結果

分類群	東壁断面					
	12層	13層	14層	15層	17層	18層
貧塩性種（淡水生種）						
Aulacoseira canadensis				1		
Aulacoseira distans(Ringleisten)				5	13	4
Cymbella cistula				1		
Gomphonema acuminatum				1		
Gomphonema gracile					1	
Hantzschia amphioxys					2	
Navicula mutica			1		3	
Pinnularia microstauron					1	
中塩性種（汽水生種）						
Achnanthes brevipes					1	
合　計	0	0	1	8	21	4
未同定	0	0	0	0	0	0
破片	0	0	8	8	16	4
試料１㎤中の殻数密度			2.0×10^2	1.6×10^2	4.2×10^2	0.0×10^2
完形殻保存率（％）						

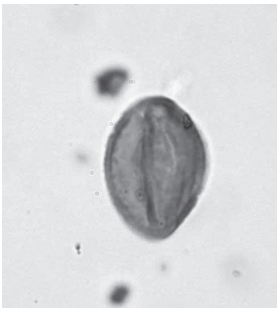


第13図　鍛冶田遺跡における珪藻ダイアグラム（参考）

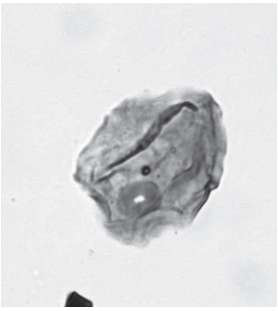
鍛冶田遺跡の花粉

※()内は、検出箇所

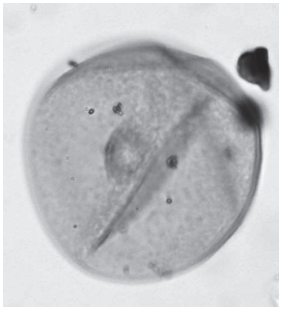
1　コナラ属コナラ亜属（14層）



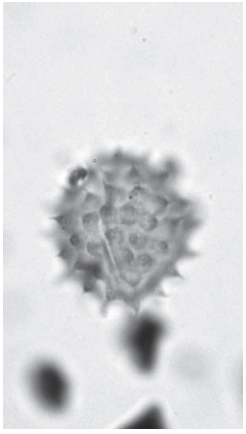
2　コナラ属アカガシ亜属（18層）



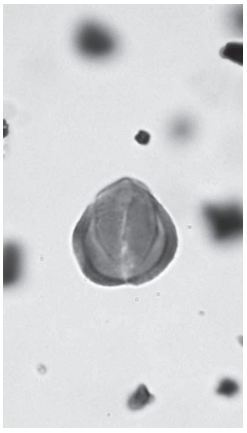
3　イネ科（17層）



4　イネ属型（17層）

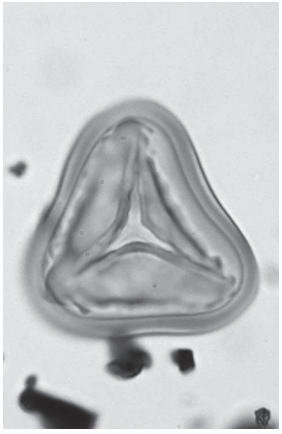


5　キク亜科（15層）



6　ヨモギ属（15層）

7　シダ植物単条溝胞子（18層）

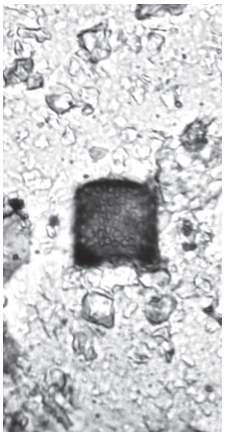


8　シダ植物三条溝胞子（18層）

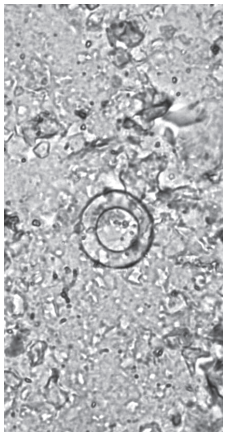
10μm

鍛冶田遺跡の珪藻

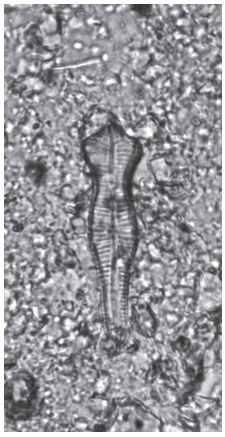
※()内は、検出箇所



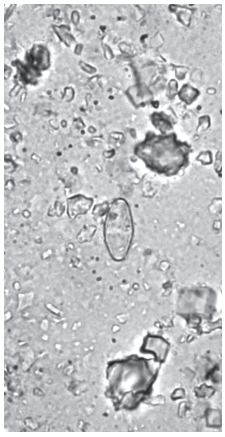
1 *Aulacoseira canadensis*（15層）



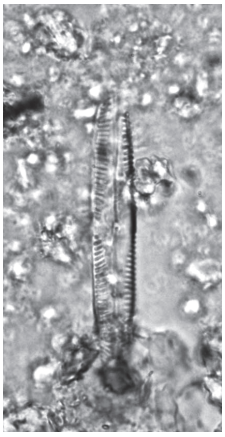
2 *Aulacoseira distans(Ringleisten)*（17層）



3 *Gomphonema acuminatum*（15層）



4 *Navicula mutica*（17層）

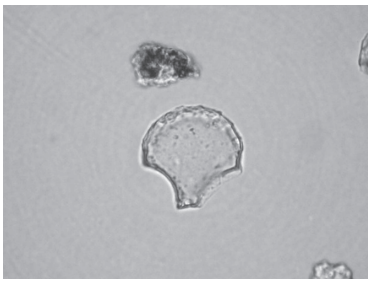


5 *Pinnularia microstauron*（17層）

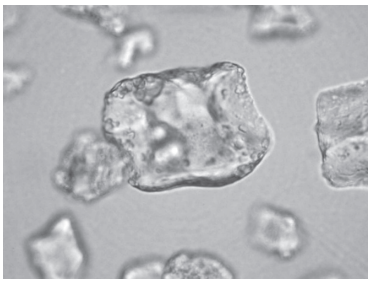
10μm

写真４　植物珪酸体

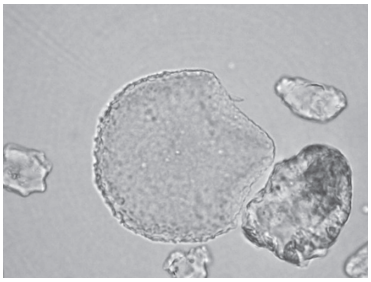
鍛冶田遺跡の植物珪酸体（プラント・オパール）



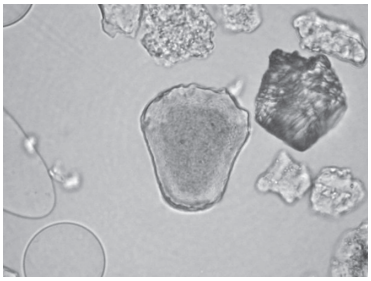
イネ（13層）



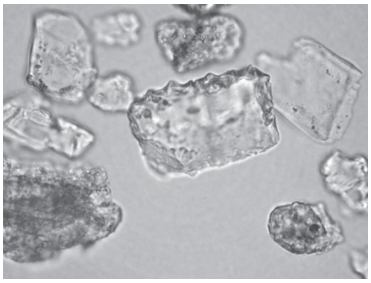
キビ族型（12層）



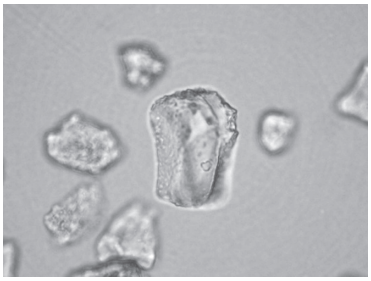
ヨシ属（12層）



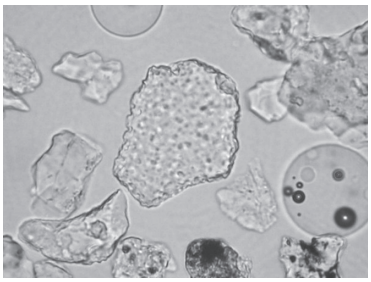
ススキ属型（14層）



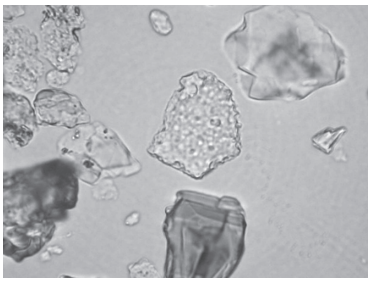
ネザサ節型（15層）



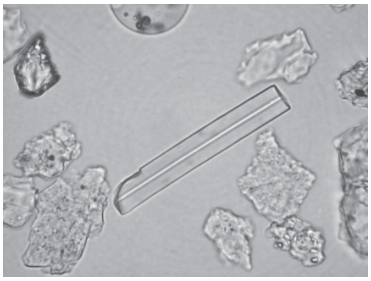
メダケ節型（17層）



チマキザサ節型（13層）



ミヤコザサ節型（14層）



海綿骨針（15層）

50 μm

第４節　鍛冶田遺跡出土のサヌカイト製石器の産地推定

竹　原　弘　展（パレオ・ラボ）

1. はじめに

揖保郡太子町糸井に所在する鍛冶田遺跡より出土した弥生時代のサヌカイト製石器について、エネルギー分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行い、産地を推定した。

2. 試料と方法

分析対象は、遺跡より出土したサヌカイト製石器６点である（第７表）。時期は、弥生時代とみられている。石器はいずれも風化層に覆われていたため、サンドブラストを用いて風化層を一部除去し、新鮮面を露出させて測定箇所とした。

第７表　分析対象一覧（サヌカイト）

試料No.	調査番号	ネーミングNo.	地区	遺構	土層
1	2015150	2758	No.5-6 西側		下層掘削
2	2015150	32	No.13-14間		包含層（暗褐色砂）
3	2015150	577		SP325	一段下げ
4	2015150	1869		SH-1422 3区	検出面－5cm
5	2015150	1869		SH-1422 3区	検出面－5cm
6	2015150	1808		SH-1250	床面精査

分析装置は、エスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管ターゲットはロジウム（Rh）、X線検出器はSDD検出器である。測定条件は、測定時間100sec、照射径８㎜、電圧50kV、電流1000μA、試料室内雰囲気は真空に設定し、一次フィルタにPb測定用を用いた。

分析方法は、黒曜石産地推定法として用いられている蛍光X線分析によるX線強度を用いた判別図法（望月, 1999など）を用い、分析対象をサヌカイトに置き換えて適用した。本方法では、まず各試料を蛍光X線分析装置で測定し、その測定結果のうち、カリウム（K）、マンガン（Mn）、鉄（Fe）、ルビジウム（Rb）、ストロンチウム（Sr）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）の合計７元素のX線強度（cps;count per second）について、以下に示す指標値を計算する。

１）Rb分率＝Rb強度×100／（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）

２）Sr分率＝Sr強度×100／（Rb強度＋Sr強度＋Y強度＋Zr強度）

３）Mn強度×100／Fe強度

４）log（Fe強度／K強度）

そして、これらの指標値を用いた２つの判別図（横軸Rb分率－縦軸Mn強度×100／Fe強度の判別図と横軸Sr分率－縦軸log（Fe強度／K強度）の判別図）を作成し、各地の原石データと遺跡出土遺物のデータを照合して、産地を推

第８表　サヌカイト産地の判別群

都道府県	エリア	判別群	原石採取地(試料点数)
奈良	二上山	春日山	春日山みかん畑内(10)、株山(61)
香川	讃岐	国分台1	自衛隊演習場付近(21)、神谷神社付近(8)、高産霊神社谷(1)、国分台下みかん畑(4)、蓮光寺山南東麓(1)
		国分台2	神谷神社付近(3)、高産霊神社谷（4）
		国分台3	自衛隊演習場付近(1)、神谷神社付近(2)、高産霊神社谷(7)、国分台下みかん畑(1)、蓮光寺山南東麓(25)、出雲神社周辺(5)
		赤子谷	赤子谷第１地点(5)、赤子谷第２地点(5)
		法印谷	法印谷(10)
		金山1	北峰道路脇(10)、金山南麓（31）、金山北東部（27）
		金山2	北峰道路脇(10)、金山南麓（31）、金山北東部（27）
		城山	城山南側(5)、城山北側(5)
		東奥1	雄山(5)、雌山(5)、神谷神社付近(4)、出雲神社周辺(23)、奥池付近(11)
		東奥2	神谷神社付近(3)、出雲神社周辺(2)、奥池付近(5)
		双子山	双子山南嶺(10)
		香色山	佐伯神社付近(30)、宮ヶ尾古墳周辺(1)
		大麻山北麓	宮ヶ尾古墳周辺(２)

定する。原石試料は、採取原石を割って新鮮な面を露出させた上で、産地推定対象試料と同様の条件で測定した。第８表に判別群一覧とそれぞれの原石の採取地点および点数を示す。

3. 分析結果

第９表に石器の測定値および算出された指標値を、第14図と第15図にサヌカイト原石の判別図に石器の指標値をプロットした図を示す。視覚的にわかりやすくするため、図では各判別群を楕円で取り囲んだ。

測定した石器６点のうち、４点が金山１の範囲にプロットされた。試料№３と№５の２点は、合致する判別群がなく、産地不明であった。第９表に産地推定結果を示す。

第９表　測定値および産地推定

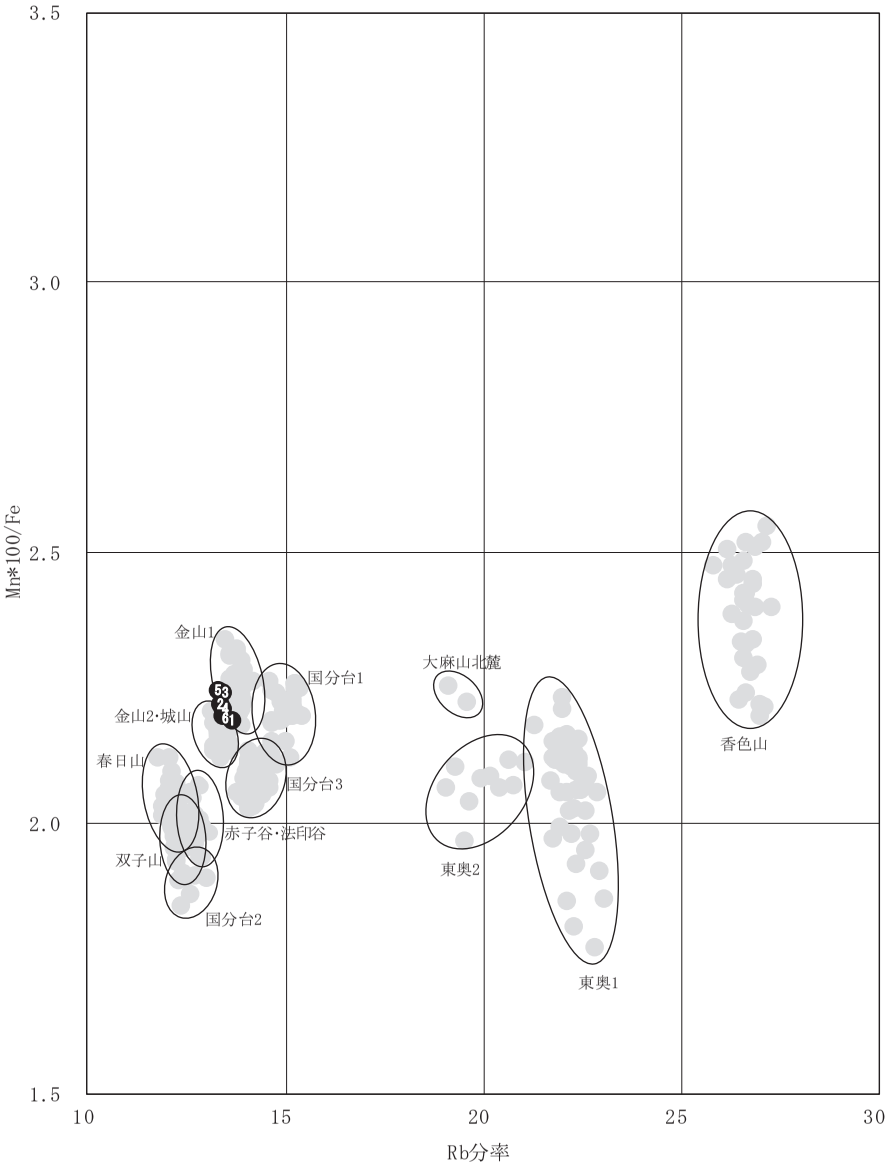
試料No.	K強度(cps)	Mn強度(cps)	Fe強度(cps)	Rb強度(cps)	Sr強度(cps)	Y強度(cps)	Zr強度(cps)	Rb分率	$\frac{Mn*100}{Fe}$	Sr分率	$\log\frac{Fe}{K}$	判別群	エリア	試料No.
1	237.5	190.4	8699.0	575.7	1525.7	303.3	1818.5	13.63	2.19	36.13	1.56	金山1	讃岐	1
2	207.4	162.7	7334.5	543.5	1448.0	294.7	1781.5	13.36	2.22	35.60	1.55	金山1	讃岐	2
3	271.1	175.4	7828.4	567.2	1516.8	304.6	1840.8	13.41	2.24	35.86	1.46	?	不明	3
4	229.5	190.9	8639.8	607.7	1628.0	323.8	1977.1	13.40	2.21	35.89	1.58	金山1	讃岐	4
5	258.1	186.4	8296.0	603.2	1623.1	325.8	1989.2	13.28	2.25	35.74	1.51	?	不明	5
6	227.2	180.2	8191.6	579.0	1544.5	313.8	1887.9	13.39	2.20	35.71	1.56	金山1	讃岐	6

4. おわりに

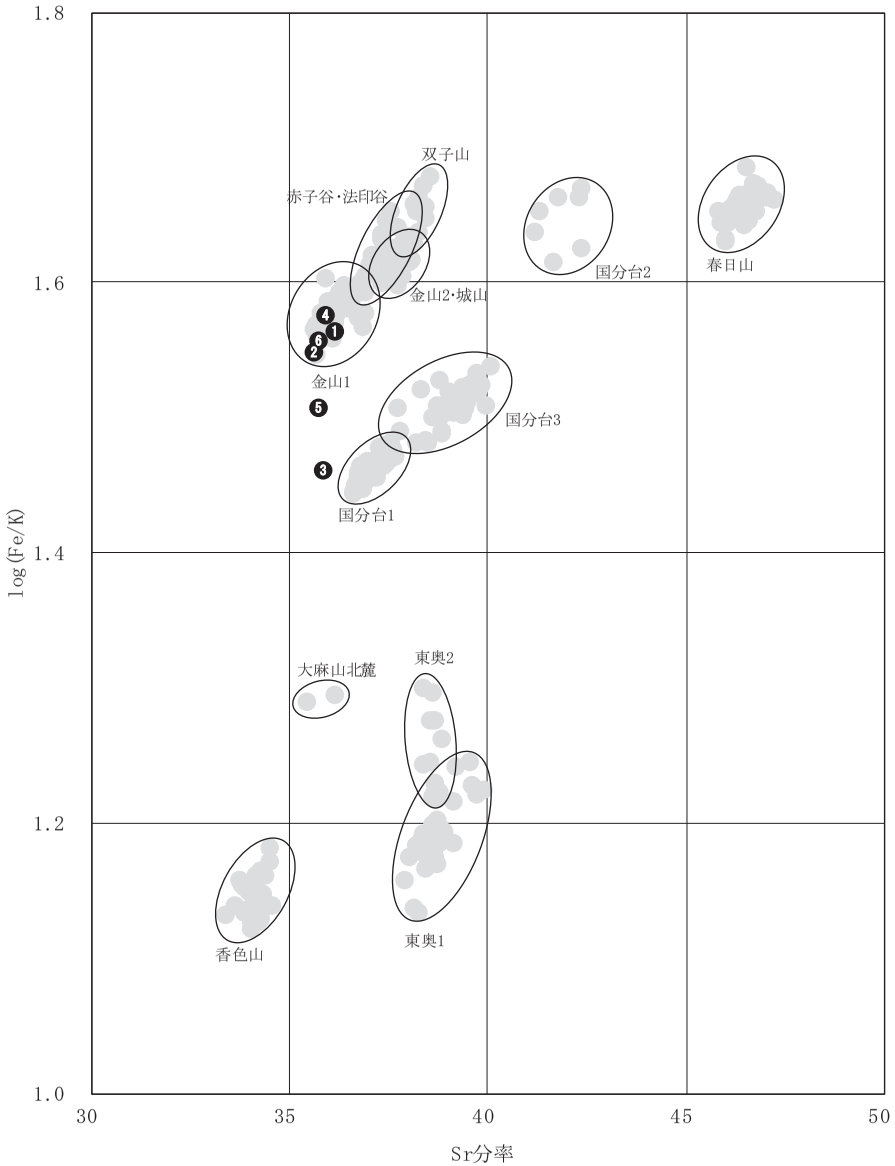
鍛冶田遺跡より出土したサヌカイト製石器６点について、蛍光X線分析を用いた判別図法による産地推定を行った結果、２点は産地不明だったものの、残り４点はいずれも讃岐地方産と推定された。

引用文献

望月明彦（1999）上和田城山遺跡出土の黒曜石産地推定．大和市教育委員会編「埋蔵文化財の保管と活用のための基礎的整理報告書２―上和田城山遺跡篇―」:172－179，大和市教育委員会.



第14図　サヌカイト産地推定判別図（1）



第15図　サヌカイト産地推定判別図（2）

第５節　鍛冶田遺跡の蛍光X線分析

竹　原　弘　展（パレオ・ラボ）

1.　はじめに

摂保郡太子町糸井に所在する鍛冶田遺跡より出土した古墳時代中期の須恵器について、波長分散型蛍光X線分析装置による元素分析を行った。

2.　試料と方法

分析対象は、竪穴住居跡より出土した須恵器5点である。（第10表）

第10表　分析対象一覧（須恵器）

分析No.	番号	器種	調査番号	出土遺構	層位	備考
1	実252	坏蓋	2015050	SH0047,4区	二段下げ～床面	
2	実329	器台	2015050	SH0974,3区	検出面～一段下げ	
3	実331	器台（口縁）	2015050	SH0974,2区	検出面～一段下げ	
4	実396	はそう	2015050	SH1424,1区	埋土	SH1423の下層
5	実472	高坏（脚）	2015050	SH1302,1区		

蛍光X線分析には、須恵器よりガラスピードを作製し、分析試料とするガラスピード法を用いた。試料採取には、岩石カッターを使用した。採取した須恵器は、表面の汚れ等の影響を排除するため、岩石カッターで表面や破断面を削った後、さらに精製水で超音波洗浄を行った。試料をアルミナ製乳鉢で粉末にして、るつぼに入れ、電気炉で750℃、6時間焼成した後、デシケータ内で放冷し、1.8000g秤量した。これを無水四ホウ酸リチウム$Li_2B_4O_7$と、メタホウ酸リチウム$LiBO_2$を8:2の割合で調製した融剤3.6000gと十分に混合し、白金製るつぼに入れ、ビードサンプラーにて約750℃で250秒間予備加熱、約1100℃で150秒間溶解させ、約1100℃で450秒間揺動加熱してガラスピードを作製した。

分析は、フィリップス社製波長分散型蛍光X線分析装置MagiX（PW2424型）にて、検量線法による定量分析を行った。標準試料には、独立行政法人産業技術研究所地質調査総合センターおよび米国標準技術研究所（NIST）の岩石標準試料計15種類を用いた。定量元素は、ナトリウム（Na_2O）、マグネシウム（MgO）、アルミニウム（Al_2O_3）、ケイ素（SiO_2）、リン（P_2O_5）、カリウム（K_2O）、カルシウム（CaO）、チタン（TiO_2）、マンガン（MnO）、鉄（Fe_2O）、の主成分10元素と、ルビジウム（Rb）、ストロンチウム（Sr）、イットリウム（Y）、ジルコニウム（Zr）の微量成分４元素の、計14元素である。

3.　結果

第11表に、蛍光X線分析の測定結果を示す。

分析の結果、ナトリウム（Na_2O）が0.40～0.87％、マグネシウム（MgO）が0.43～0.74％、アルミニウム（Al_2O_3）が18.7～23.2％、ケイ素（SiO_2）が66.3～73.3％、リン（P_2O_5）が0.024～0.060％、カリウム（K_2O）が1.56％～23.0％、カルシウム（CaO）が0.11～0.44％、チタン（TiO_2）が0.68～0.84％、マンガン（MnO）が0.011～0.028％、鉄（Fe_2O）が3.61～6.33％、ルビジウム（Rb）が92～146ppm、ストロンチウム（Sr）が48～96ppm、イットリウム（Y）が21～40ppm、ジルコニウム（Zr）が193～294ppmであった。

第11表　蛍光X線分析結果（mass%）

分析No.	Na_2O (%)	MgO (%)	Al_2O_3 (%)	SiO_2 (%)	P_2O_5 (%)	K_2O (%)	CaO (%)	TiO_2 (%)	MnO (%)	Fe_2O_3 (%)	Total (%)	Rb (ppm)	Sr (ppm)	Y (ppm)	Zr (ppm)
1	0.87	0.64	23.2	66.3	0.055	1.93	0.11	0.79	0.016	6.33	100.2	94	65	29	294
2	0.67	0.72	21.2	70.7	0.024	2.30	0.36	0.68	0.017	3.61	100.3	146	90	38	193
3	0.71	0.74	21.6	69.9	0.027	2.25	0.44	0.68	0.028	3.76	100.1	143	96	40	194
4	0.82	0.46	18.7	73.3	0.060	1.96	0.21	0.70	0.013	4.13	100.4	100	59	21	257
5	0.40	0.43	19.7	73.2	0.049	1.56	0.11	0.84	0.011	4.07	100.4	92	48	23	259
最小	0.40	0.43	18.7	66.3	0.024	1.56	0.11	0.68	0.011	3.61	100.1	92	48	21	193
最大	0.87	0.74	23.2	73.3	0.060	2.30	0.44	0.84	0.028	6.33	100.4	146	96	40	294

4.　結果

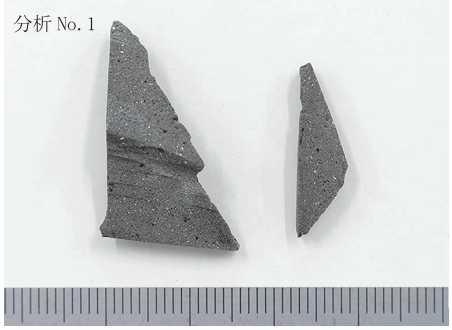
第16図に、各元素の分布図を示す。

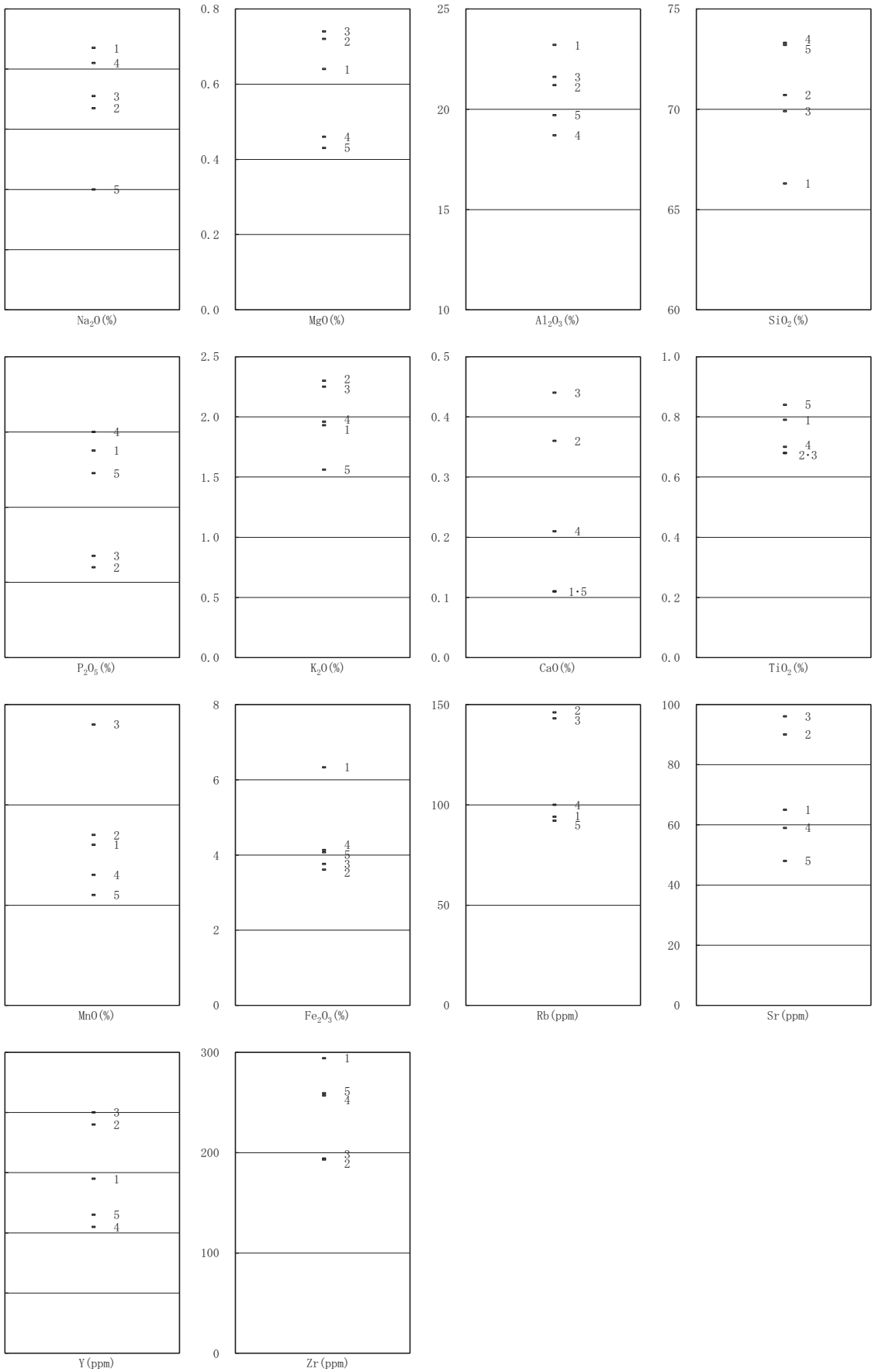
今回分析した５点の試料間を比較すると、分析№２と分析№３は、マンガン（MnO）以外の元素で比較的似た化学組成を示した。また、分析№４と分析№５も、分析№２と分析№３ほどではないものの、多くの元素で比較的似た化学組成を示した。これら須恵器は、胎土材料的に非常に近い関係にあると考えられる。

参考文献

中井　泉編（2005）蛍光X線分析の実際.　242p.朝倉書店

写真５　須恵器分析試料写真





第16図　須恵器各元素分布図

第５章　鍛冶田遺跡調査のまとめ

第１節　鍛冶田遺跡の形成過程

今回の調査により、縄文時代晩期後半～弥生時代前期・弥生時代中期前半～後半・古墳時代中期～後期・古墳時代後期以降～平安時代前半・平安時代後期～鎌倉時代の、大別５時期にわたって遺跡が形成されたことが明らかとなった。第４章第１節で示されたとおり、この間、起伏が顕著であった沖積平野はしだいに平坦化し、それに伴って居住域が拡大し、また耕作地も変化するに至った。揖保川下流域において、２千年超の時間にわたる地理的変遷と人間活動の変遷が明らかになったことは、中播磨の地域史上に重要な成果である。以下で、鍛冶田遺跡の集落形成過程について概略を述べておく。

【第１段階：縄文時代晩期後半～弥生時代前期】

この段階までに、調査区北部には扇状地性の微高地が形成され、調査区南部は低地となっていた。鍛冶田遺跡周辺に人の居術が開始されたのは、縄文時代晩期後半に遡る。今回の調査で出土した縄文土器は、凸帯の位置と形態から、長原式よりやや古い段階から始まったものと言えよう。本文中でも触れたように、微高地末端部から低地部にかけては、等高線に沿う形で小区画の水田が構築されたのは、弥生時代前期に至る時期であったと推定される。第４章第１節青木氏によるステージ４～５に相当する。

調査区東壁で採取した土壌試料からは、安定的な水田経営を示す花粉・植物珪酸体は見いだされなかったが、これは①試料採取場所が水田遺構の直近ではなかったこと、②当該期には、微高地側から低地部に向かって複数の河道が錯綜するように形成されているため、水田造営はされたものの短期間のうちに洪水等で遺棄されたこと、などを可能性として考慮しておきたい。

この時期の古土壌層は調査区南部にのみ遺存しており、調査区中央部～北部では全く検出されていない。また遺構も遺存していない。これは調査区中央部～北部が、古墳時代以降の開墾、水田造営によって広範囲に削平を受けたことも原因と考えられる。

【第２段階：弥生時代中期】

弥生時代中期前半（Ⅱ様式～Ⅲ様式前半）段階において、調査区付近に集落が成立していた可能性は高いが、明確に当該期に属する竪穴建物等は検出されていない。今回検出された竪穴建物より出土した遺物からは、Ⅲ様式後半～Ⅳ様式前半期に成立したものと考えられる。この時期には、調査区中央部～北部を中心に集落が形成され、少なくとも９棟の竪穴建物跡、土器棺、土坑が構築された。方形周溝遺構が墓とするならば、接近した時期に竪穴建物の至近に共存したこととなるため、些か疑問が残る。

当該期には調査区北端から南端にかけて、蛇行しながらのびる旧河道（SD100）が埋没過程にあり、周辺から多量の遺物が投棄され、または流入した。青木氏によるステージ６に相当する時期である。

鍛冶田遺跡では、弥生時代後期に属する遺物はまったく見いだされていないことから、弥生時代中期Ⅳ様式期の間に、集落が縮小～廃絶へと向かったものと考えられる。

【第３段階：古墳時代中期～後期前半】

古墳時代中期に入り、鍛冶田遺跡では新たな集落が形成された。方形竪穴建物の重複状況と方位性から、集落は少なくとも３期にわたって形成された可能性がある。この段階の竪穴建物跡は、調査区北端から中央部南寄りにかけて、合計25棟が認められる。青木氏によるステージ７～８に相当する。

出土した須恵器の型式からみるならば、最も新しいものはSH1422より出土した坏身で、TK10段階と考えられる。SH047・1088・1423はTK23～TK47段階、SH800・1289・1302はTK208段階、SH319・910・1247はTK216段階に、それぞれ相当するだろう。SH974などで出土した、特異な施文と透かしをもつ器台は、所属時期の判断が難しいが、上記よりやや古い可能性も考慮しておきたい。

調査区中央部東側において、古墳時代の方形竪穴建物跡を切る状況で、総柱式の掘立柱建物跡２棟が検出されている。この２棟は方位をそろえて構築されていることから、おおむね同時期に属すると思われる。柱穴内からの出土遺物が極めて少数で、所属時期を確定し難かったが柱穴内から古墳時代後期の須恵器小片が出土し、それより後の遺物を含まないことから、古墳時代後期に属すると判断される。

【第４段階：平安時代中期～鎌倉時代前半】

調査区北端から南部に至るまで、調査区の広い範囲に分布する、掘立柱建物跡群がこれにあたる。建物跡の方位は若干のぶれがあるものの、基本的には現地表にみられる条里型地割に沿った方位を見せる。建物跡は調査区内では複数の群を形成する群構造を見せることから、一定の企画性に基づいた集落の形成が考慮される。確実な考古学的証拠は得られていないが、当該時期、鍛冶田遺跡周辺に形成されていた荘園と関連する可能性は高いだろう。青木氏によるステージ８に相当する段階である。

以上のような遺構群の形成と調査区内における分布状況を概観すると、沖積扇状地の末端付近に相当する調査区付近においては、当初、低地部に水田造営がなされ、その後の低地部、旧河道の埋没過程で弥生時代中期の集落が形成された。古墳時代以降も低地部の埋積は進行したが、同時に微高地部の削平がおこなわれたため、弥生時代の遺構群は、調査区北端付近においてはほとんど遺存しない。

平安時代中期以降には条里型地割が構築され、これに則った集落が形成されるとともに、微高地部の削平はさらに進行した。このころまでに低地部の埋積はほぼ終了しており、平坦化した領域は耕地（水田）化されたと考えられる。調査区での断面観察によれば、以降現代に至るまで、複数回の洪水堆積を経ながら、調査区周辺の広い範囲が水田として利用され続けたと思われる。（久保弘幸）

第２節　土器からみた古墳時代の鍛冶田遺跡

【土器からみた鍛冶田遺跡の変遷】

当遺跡では竪穴建物をはじめとする遺構に伴う遺物が多数出土した。陶邑編年（田辺1981ほか）や近年の研究成果（中久保2017）を参考として、出土した須恵器から時期を判断しうるものを列挙すると、SH319・910・1247がTK216型式期（５世紀中葉）、SH16・880がTK216型式期あるいはTK208型式期（５世紀後葉）、SH800・1289・1302がTK208型式期、SH1268がTK208型式期あるいはTK23・TK47型式期（５世紀後葉～末）[i]、SH47・1088・1423がTK23・TK47型式期、SH1422がTK10型式期（６世紀前葉～中葉）に相当するとみられる。TK23・TK47型式とTK10型式の間に位置づけられるMT15型式期の遺物は確認できない。土師器のみ出土した遺構については、多くが古墳時代中期に位置づけることは可能だが、さらに詳細な年代比定は困難である。しかしながら、例えばSH2148は出土した土師器甕の形態や高杯の製作技法（杯部内側から中空の脚部に粘土を充填する）に他の土器群よりも古い様相が読み取れる。また、同じ器種でも時期差を示す要素がみられるもの[ii]も多数存在することから、器形や製作技法といった諸特徴と土器の組み合わせに注目することで相対的な配列は可能であり、今後検討すべき課題である。いずれにせよ、今回の調査成果からは、集落が継続的に営まれた様子がうかがえ、そ

の中でも古墳時代中期、５世紀中葉から末頃にかけて最も栄えたと評価できる。

なお、建物の方位に注目する。正方位のもの、僅かに東側に振るもの、僅かに西側に振るものの３つのグループに大別できるが、これらの方位の差異は出土遺物にみえる時期差とは対応しない。

【土器からみた鍛冶田遺跡の性格】

当遺跡を評価する上で注目すべきは、韓式系軟質土器（中久保2017）をはじめとする渡来系遺物や初期須恵器が出土している点であろう。渡来系要素の受容、在来土器との関わりにも目を配りつつ、当遺跡の性格について論じる。

韓式系軟質土器と定着型軟質土器iii　韓式系軟質土器と定着型軟質土器が出土した竪穴建物は調査区北半に偏る。韓式系軟質土器は、SH958から出土した縦位平行タタキを施す甕（報告番号780）、SH1043から出土した外面に沈線を有し、把手を内側から挿入したとみられる甑（報告番号802）、外面に縦位平行タタキを施す甑（報告番号1002）などが挙げられる。なお、SH1043出土の甑にみられる製作技法は全羅南道地域の特徴とされるものである（寺井編2017）。

またSH16などから出土した小型平底鉢（報告番号658ほか）、SH055から出土した鍋（報告番号675・676）、口縁部と頸部との境の屈曲が明瞭でない甕（報告番号716ほか）、折り曲げ口縁の甕（報告番号720）、SH955などから出土した移動式竈（報告番号778・979・992）などは器形をみれば韓式系軟質土器に類似するものとして評価できる。ただし、表面調整などは全く異なり、在来の技術（外面にハケ調整、内面にハケ調整あるいは指ナデなど）によるものである。これらの特徴から、折衷土器あるいは定着型軟質土器として捉えられ、渡来系文化定着の様子を示すものと評価できる。

また、竪穴建物の中で最も新しいTK10型式併行期のSH1422では、唯一羽釜が出土した。羽釜は５世紀後葉に出現、６世紀以降増加する煮炊具で（中久保2017）、当地域でも新たな器種が受容されたことが分かる。

初期須恵器　出土したものの中でもとりわけ古い年代を想定できるのが縄蓆文タタキの壺破片（報告番号757・797・1001）、格子文タタキの甕破片（報告番号806・867）、瓮（報告番号999）などである。これらは、先に竪穴建物の時期比定の参考にした須恵器杯などよりも古いものとみられる。縄蓆文タタキの破片は、出土場所がそれぞれ異なるが、胎土や部分的にやや赤みがかる点、器壁が極めて薄い点、幅約２㎜の沈線を数条めぐらせる点、内面にナデあるいは板ナデを施す点が共通しており、同一個体の可能性が高い。器種としては、肩部とみられる破片（報告番号1001）の縄蓆文タタキをナデ消していることから、短頸壺の類が想定できる。なお、当個体は上述の特徴から陶質土器の可能性もあり、肩部のタタキ痕をナデ消すのは韓半島全羅南道地域の特徴とされる（定森2006）。瓮（報告番号999）は口縁部が直線的に外反するもので、類例は少ないが、陶邑TG232号窯跡（４世紀末？～５世紀初頭）でも出土している。当遺跡出土の初期須恵器の中で最も古いものの可能性がある。SH880・974から出土した器台脚部（報告番号737・795）は方形と円形を組み合わせた鍵穴のような形状の透かしが特徴的であり、阿羅加耶（咸安）に特徴的な火炎形透かしと類似する。同様の透かしを有する筒形器台が韓式系軟質土器や初期須恵器が出土した東沢１号墳（加古川市、TK73型式期）でみつかっており、注目される。

兵庫県下では、有年原・田中遺跡（赤穂市）、出合窯跡（神戸市）等、初期須恵器の窯跡が知られており、当遺跡出土の初期須恵器が未発見の在地窯産か搬入品かも今後検討すべきであろう。

鍛冶田遺跡の性格　特徴的な遺物に注目しすぎたきらいはあるが、土器からは、当遺跡に渡来系集団あるいはその系譜を引く集団が居住した可能性が想定できる。韓式系土器などの渡来系遺物の出土が少数

第12表　建物跡出土遺物の様相

遺構		須恵器							土師器												韓式系・定着型軟質土器						備考
			杯身・杯蓋・高杯							高杯									瓶								
名	建物方位	竈	TK216	TK208	TK23・47	MT15	TK10	その他	椀	無稜外反	無稜直口	椀形	有稜	大形	不明	甕	壺	甑	把手断面：円形	把手断面：楕円形	甕	鍋	甑	小型平底鉢	移動式竈	羽釜	
SH16	正方位？		△	△											○									○			
SH47	西に振る				○										○					○							SH55･438を切る
SH55	東に振る	△													○	○	○	○				○					
SH319	東に振る		△					甕、壺							○												
SH326	東に振る	○									○				○	○	○							△			
SH438	東に振る										○					○	○		○		○						
SH800	正方位	△		○				甕				○			○	○	○	○			○						SH1423を切る、移動式竈を使用か
SH804	東に振る										○		○		○	○		○									
SH880	東に振る		△	○				鍵穴形透かしの器台脚部、甕			○		○		○												
SH910	東に振る	○	○					壺破片（縄蓆文タタキ）	○		○				○	○	○		○	○	○						
SH955	東に振る														○	○									○		
SH958	東に振る									○			○		○	○			○		○						SH910とSH1043を切る
SH974	東に振る	△						器台杯部、鍵穴形透かしの器台脚部							○	○								△			床面に焼土認められる
SH1043	東に振る	○						壺破片（縄蓆文タタキ）瓔								○		○					○	△			
SH1088	東に振る				△			甕破片（格子タタキ）	○						○	○		○			○						
SH1105	東に振る												○	○	○												
SH1245	西に振る												○		○			○									
SH1247	正方位	△	○						○	○					○	○											
SH1268	正方位			△	△						○	○			○			○									
SH1289	東に振る			○											○					○							
SH1302	正方位			○											○	○		○		○							
SH1422	正方位	○					○				○									○						○	
SH1423	正方位	○			○			甕破片（格子タタキ）							○	○	○	○		○							
SH2033	西に振る	○									○					○	○										
SH2148	東に振る														○	○											
SB13	西に振る								○	○					○				○	○							SH1247･1245を切る

＊表の△は確定しえないが可能性があるものを示す。
＊土師器高杯は中野2010を参考に、杯部の形態によって「無稜外反」、「無稜直口」等に細分した。
＊脚部や口縁のみの出土で、杯部の形態を判断しえない土師器高杯は「不明」の項に入れている。
＊把手のみしか出土していないものについては甑の項に記載したが、鍋や甕に伴っていた可能性もある。

に留まらず、複数の器種がそろう点も重要である。ただし、渡来系遺物は土器群全体からすれば主体的なものではなく、あくまで多数を占めるのは在来の土師器高杯、甕である。渡来系集団やその生活様式に影響を受けて外来の土器を受容しつつも、在来の土器と組み合わせながら使用していた様子がうかがえる。以上のことと渡来系遺物の出土地点が偏る点などを鑑み、当遺跡は在来の集団を主体とする集落、すなわち「在来集団主体型集落」（中久保2017）であったと評価したい。

【周辺の遺跡と鍛冶田遺跡】

揖保川流域、特に西岸域（たつの市）は古墳時代の渡来系遺物が多くみられる地域として注目されてきた。これに対し、当遺跡が位置する東岸域では、韓半島洛東江以東（加耶でもみられるが多くは新羅地域に分布）に系譜が求められる須恵器角杯（６世紀）が出土した亀田遺跡（太子町）が知られるくらいであった。しかしながら近年、東岸域でも、前田遺跡（姫路市）から初期須恵器やコンパス文が施された器台が出土しており、鍛冶田遺跡にやや先行する時期の集落として注目されるなど、資料が蓄積されている。鍛冶田遺跡や前田遺跡の調査成果は、当該地域における渡来人の実態、渡来系文化の定着と展開を解明する糸口となるであろう。今後はこれらを別個に検討するのではなく、先後する時期の遺跡も踏まえつつ、当該地域における集落動態を検討する視点が求められる。

以上、鍛冶田遺跡出土の古墳時代の土器から若干の考察をおこなった。詳細な検討はしえなかったが、遺構の切り合い、土器群の様相、細かな表面調整や製作技法を合わせて検討するミクロな視点、周辺遺跡の中での鍛冶田遺跡の位置付けといったマクロな視点、双方からの検討が可能であり、播磨における古墳時代土器研究と渡来人研究の良好な資料となることは間違いない。（稲本悠一）

ⅰ　TK23型式とTK47型式は別型式だが、ここでは両型式を細分せずに包括する中久保氏の年代観（中久保2017）に拠る。
ⅱ　古墳時代中・後期の土師器の変化については中久保2017や中野2010などが参考となる。甕・高杯の形態や製作技法、甑の把手断面形状（円形から楕円形のものに変化）など時期差を示す要素が多数提示されている。
ⅲ　中久保氏はいわゆる「韓式系土器」という用語の使用が、軟質の土器について言及する際に限られることから、「韓式系軟質土器」という用語を用いる。また、「韓式系軟質土器」の系譜にありながらも、器表面調整等が異なるなど、従来の製作技術から変容したものを「定着型軟質土器」と定義する（中久保2017）。

【主要参考文献】（紙幅の都合上、報告書については割愛した）
・亀田修一2012「渡来人のムラを考える」『日韓集落の研究―弥生・古墳時代および無文土器～三国時代―』、日韓集落研究会、pp. 559－571
・亀田修一2020「列島各地の渡来系文化・渡来人」吉村武彦・吉川真司・川尻秋生編『渡来系移住民　半島・大陸との往来』（シリーズ　古代史をひらく）岩波書店、pp. 143－200
・定森秀夫2006『日本列島出土朝鮮陶質土器の研究』平成15～17年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書
・田辺昭三1981『須恵器大成』角川書店
・寺井誠編2017『特別展　渡来人いずこより』大阪歴史博物館
・中久保辰夫2017『日本古代国家の形成過程と対外交流』大阪大学出版会
・中野咲2010「古墳時代中・後期における奈良盆地の土師器編年とその特質」『橿原考古学研究所紀要　考古学論攷』第33冊、奈良県立橿原考古学研究所、pp. 45－75

第３節　平安時代中期～鎌倉時代の土器・陶磁器

鍛冶田遺跡から出土した平安時代以降の土器の中で、土師器には供膳具である椀や皿・杯、小皿、托があり、煮炊具としては鍋、羽釜、足鍋などがある。瓦器には椀、小皿の他に瓦質土器の鉢がある。和泉産瓦器椀が認められるが、器表面が風化しているため一部のみの確認である。須恵器には供膳具の

椀、小皿の他、調理具の鉢、貯蔵具の甕がある。輸入陶磁器の青磁・白磁には碗のみが見られる。その他に瓦・土錘・硯が出土している。

青磁碗は１点と極めて少ない。龍泉窯系の外反する口縁部を有するものである。

白磁碗は15点出土しており、玉縁を有する口縁部で、大きな玉縁と小さな玉縁のものがあり、底部は厚い碁笥底を呈する。他に外反する口縁部を持つものも見られ、細く直立する高台をもつ。概ね11世紀の中頃から13世紀初頭頃のものであろう。

瓦・土錘等を除いて今回図示して報告できたものは171点あるが、この内、供膳具が123点、貯蔵具が６点、煮炊具が17点、調理具の鉢が10点、その他、青磁・白磁碗が15点ある。貯蔵具は須恵器の甕を専ら用いている。調理具も少数の瓦質のものを除くと須恵器の鉢を用いている。

【土師器】

土師器の供膳具では、椀には糸切り平高台の見込みが窪むもの（1016）、糸切り平底のもの（1117）がある。皿では糸切りのもの（1091）、小皿にヘラ切り（1052・1089）のものがあるが少ない。手づくねのものには丁寧に作られ京都系土師器を模したと考えられるもの（1014・1015・1030・1031等）が見られ、播磨でも特殊である。杯（1176～1179）はヘラ切り平高台のもので、４点がまとまって出土しており、歪んだものも見られる。あまり類例がなく須恵器工人製作のものか。祭祀などに用いられたものであろう。托は筒状の糸切り高台のものではなく、小皿に脚台を付けた形態のもの（1119・1157・1160）が出土している。1119は皿部と脚部の粘土が異なっている。

煮炊具は、土師器の口縁部が屈曲して真っ直ぐ開く鍋と、直立する口縁部の直下に太く短い鍔を付けた羽釜に限られており、足鍋は脚部の破片が２点出土している。この脚部も浅い鍋形のものに付くものと思われる。

鍋の口縁部は鋳造の鉄鍋を模倣した受け口状のものはなく、単純に屈曲して開くものに限られる。全容がわかるものはないが、器壁が厚く直立する胴部に続くものと、鉢状の浅い胴部をもつものがある。胎土に黒雲母を含んだもの（1038）など別の地域からもたらされたものがある。

羽釜は器壁が非常に厚く、砂粒を多く含んでいるものである。全容がわかるものはあまりないが、長胴で丸底を有する。外面は上半部が縦方向のハケ、下半部は粗いハケで仕上げる。鍋1038でも上半部と下半部のハケの粗密が異なっている。口縁部や鍔の断面が四角いもの（1181）が包含層から出土している。他の羽釜は鍔が口縁部のすぐ下に付けられており、鍔が上方に尖らせてある。

【須恵器】

須恵器の椀には、糸切り平高台で見込みが窪んでいるもの（1042）と、あまり窪まないものがある。また、糸切り平底のものもある。その他にヘラ切り平底のものや糸切り底部に輪高台を貼り付けたものが出土している。体部内面に強くロクロ目を残した1104・1105や内外面にロクロ目を残した1108や1162がある。須恵器鉢には片口がつくものが見られ、口縁端部は四角いもの、丸く収めるもの、上方を摘まみ上げるものがある。

【陶器】

六古窯に代表される備前焼や丹波焼・常滑などはまだ見られず、東播系の須恵器が一部入ってきているようである。須恵器は峰相山窯跡群や相生窯跡群が比較的近くに存在しており、椀や鉢などは竹原窯址などの相生窯跡群のものが搬入されている可能性が高い。

【瓦器】

この遺跡の中世を特徴付けるのは瓦器の一定量の出土である。須恵器・瓦器・土師器の出土比率は、椀では須恵器70％、瓦器15％、土師器15％であり、小皿では須恵器０％、瓦器37％、土師器63％となる。

瓦器については、瀬戸内海を利用した交通・商業活動により、瓦器出土遺跡は海岸沿いに集中する傾向があることが指摘されており、播磨の東に接する摂津の垂水・日向遺跡（神戸市）では瓦器は全体の22％を占めている。須恵器の比率が大きい播磨においては東端部の明石川中流域の玉津田中遺跡・居住遺跡（神戸市）では瓦器は全体の３％未満となる。

鍛冶田遺跡と同じく揖保川流域の宝林寺北遺跡ⅡのＡ地区ＳＤ01での口縁部破片数では、須恵器38.4％、瓦器11.9％、土師器48.8％、輸入陶磁器0.9％の比率である。椀類に限れば須恵器76.3％、瓦器22.1％、輸入陶磁器1.6％。小皿では須恵器0.4％、瓦器3.3％、土師器96.3％を占めており、鍛冶田遺跡とよく似た傾向を示している。宝林寺北遺跡の場合は他地区では瓦器の比率は２％、近隣の宮脇遺跡では0.5％に過ぎないことから、特定の居館に居住した階層の瓦器へのきわめて強い志向を示すものと捉えている。

宝林寺北遺跡より瀬戸内海に近い鍛冶田遺跡の中世の住人は、瓦器や京都系土師器への強い志向が窺われ、煮炊具にも播磨の特長は現れていない。輸入陶磁器は少なく下手がほとんどであり、宝林寺北遺跡のように九州産の石鍋を多く保有することもない。地元や西の方よりは、東の方を向いている人々であろうか。

検出された遺構には掘立柱建物址や土坑があり、掘立柱建物址には同じ場所に複数回の建て替えが行われていることからも、一定期間の集落の存続があったものと思われる。一方、際だった墓址が見られないことや、建物群を囲む溝や塀等の施設が伴わないことからより格が上の荘園領主の屋敷などは含まれていないようである。但し、数は少ないものの、墨書土器や硯の出土は文書事務が行われていたことを伺わせる。出土した土器の年代観からしても長く見て、10世紀の前半から13世紀の前半まで集落が営まれていたことが窺われるが、中世後半にまでは継続しない。（別府洋二）

【参考文献】

橋本久和1984 「瀬戸内・北部九州出土の畿内産瓦器」『古文化談叢』第14集　九州古文化研究会
甲斐昭光2002 「遺物の検討」『宝林寺北遺跡Ⅱ』兵庫県文化財調査報告第223冊　兵庫県教育委員会
山田清朝2010 「遺物」『大野遺跡』兵庫県文化財調査報告第380冊　兵庫県教育委員会

第４節　弥生時代中期の石器

【石材選択】

鍛冶田遺跡で出土した打製石器は、総数1600点を超えるが、原位置を遊離して後世の遺構内から出土したものも多い。原位置を遊離したものを含む打製石器類の99％超がサヌカイト製であり、その他の石材は１％を下回る。出土したサヌカイト製遺物を肉眼的に峻別すると、概ね４群に分けることができる。これら４群のサヌカイトは、それぞれ自然科学的手法による原産地分析を実施しており、その結果は本書第Ⅳ章に収録している。

Ａ　風化が浅く暗灰色を呈し、白色のフィッシャーが目立つもの

Ｂ　風化が浅く暗灰色を呈し、白色のフィッシャーを生じるが、0.5㎜以下の白色の斑晶を多く含む

Ｃ　風化が進行し、灰白色を呈する。全体にやや緻密な印象を受ける。

Ｄ　風化が強く進行し、黄灰色を呈する。

これまでに兵庫県下の弥生時代遺跡でサヌカイト製品を分類し、また、その原産地分析結果と比較検討した結果から、A・B群については、四国の讃岐地域産ないしは淡路島岩屋産のサヌカイト、C群については二上山周辺産、Dについても二上山周辺産の可能性が高いと推定していたが、自然科学的分析では、C・D群が「原産地不明」とされたことは意外であった。

さて、鍛冶田遺跡で最も多数が用いられているのは、A群のサヌカイトで、C群がこれに次ぐが、その数量的な差は歴然としている。B･D群はわずかに組成されるのみで、鍛冶田遺跡にあってはほとんど無視しうる程度のものである。

讃岐地域のサヌカイトは、弥生時代には大型剥片の形で、本州の瀬戸内沿岸地域の遺跡にもたらされ、そこからさらに分割されて内陸部の遺跡に移動されている。揖保川の存在を考慮するなら、鍛冶田遺跡は「海岸地域の遺跡」と評価できようが、これまでの事例にもれず、大型の剥片が持ち込まれていたことを想起させる資料も出土している。

【石器組成】

鍛冶田遺跡で出土した石器の大部分は、弥生時代中期のⅢ様式期～Ⅳ様式前半期に属するものと思われる。本来であれば多角的な分析を実施すべきではあるが、時間的制約と紙数の制約もあるため、ここでは弥生時代の石器の分類と、組成の特徴についてまとめておきたい。

今回の報告にあたり、図化掲載した312点の弥生時代の打製石器類を、下記の13器種に分類した。

石鏃・石錐・石剣・打製石包丁・石鎌・削器・石匙・楔形石器
二次加工のある剥片・使用痕のある剥片
剥片・石核・砕片

石鏃は掲載した81点中、未成品４点を除く77点中、平基式が30点、凹基式が28点、円基式が８点を占め、有茎式ないしは尖基式が３点、他は折損等により不明である。また打製石剣は５点が出土しているが、完形を保つものはない。大型の有茎式石鏃が皆無であり、武器としての打製石剣も貧弱と言える状況である。

鍛冶田遺跡の石器組成の特色として、磨製石器の少なさも挙げる必要がある。特に、磨製石斧は少なく、太形蛤刃石斧が２点あるのみで、柱状片刃石斧、扁平片刃石斧はまったく見られない。磨製石包丁のように、打製石器で機能が代替できる器種ではないことから、多少のボトルネック効果を考慮しても、鍛冶田遺跡では石斧の組成率は、元来ごく低かった可能性が高い。

伐採斧が見られないのは、集落周辺での伐採が非常に低調であったためと推察しうる。沖積平野上の遺跡であるため、積極的な森林伐採の必要がなかった、伐採は近隣の山塊でおこなわれたため、調査区付近は石斧を使用する場ではなかった等の理由も想起される。しかし加工斧である柱状片刃石斧や扁平片刃石斧が見られない点に、合理的理由を探すことは今のところできない。

第17図に、鍛冶田遺跡の石器組成を示した。これを見ると、数量比では砕片が75％を占め、剥片の11％と合わせて86％を占め、遺跡内で活発な石器製作がおこなわれていたことを示唆するが、明瞭な石核は１％程度にとどまる。これは石核自体が大型剥片素材で、剥離の進行によって破砕し、剥片との識別が困難となっているためもあろう。二次加工のある剥片を含めた製品の割合は、23％である。最も多数を占めるのは二次加工のある剥片で５％、石鏃３％、楔形石器２％の順で続く。

出土した石器を出土状況ごとに集計したグラフを、第17図に示す。

①竪穴建物跡

②旧河道SD100

③竪穴建物以外の遺構（土坑・SD100を除く溝等）

④包含層～遺構検出面

組成の中で二次加工のある剥片が中心的位置を示すことから、サヌカイトを刃物として使用する際に、定型的な製品を企図するのではなく、臨機的に製作、使用をおこなった可能性もあろう。

SD100は弥生時代中期の遺物のみを包含しており、当該期に河道周辺から投棄ないしは流入した石器が出土したと評価される。今回図化報告した資料のうち、99点をSD100出土の資料が占めている。

その組成を見ると、楔形石器が37％を占め、二次加工のある剥片22％、石鏃17％が続く。他の遺構、包含層等と異なるのは、打製石包丁が10％と組成中での比率が高い点である。

【打製石包丁】

他器種の定義については省略するが、打製石包丁については分類の根拠を示しておく。報告で打製石包丁としたものは、次のような特徴をもって分類した。

（１）概ね長方形をなし、その相対する縁辺に表裏から二次加工を施す。

（２）相対する縁辺のうち一側縁は、二次加工で作出された鋭利な刃部をなし、相対する縁辺の二次加工は、多くの場合縁辺を潰す、鈍化させる加工となる。

（３）刃部および器表面の稜線に、摩耗が観察される。

打製石包丁は時に楔形石器と紛らわしく、分類に苦慮するものも存在したが、特に（２）の特徴を基礎として分類をおこなっている。なお鍛冶田遺跡では磨製石包丁は出土していない。

打製石包丁には完形をとどめるものがなく、平均的な長さは不明であるが、掲載したもののうち計測可能な25点で幅をみると平均34㎜ 程度である。ただし打製石包丁としたものの刃部を子細に観察すると、摩耗が生じた稜線を切って、新たな二次加工を施している例があることから、刃部の摩耗に伴う再加工は、頻繁に行われていた可能性が高いと考えられ、その点を考慮する必要がある。また組成比率、数量についても、破砕した打製石包丁と、削器、楔形石器を確実に区分することは不可能である点も、考慮される必要があろう。（久保）

第５節　後期旧石器時代の石器

今回の調査で唯一見いだされた後期旧石器時代の翼状剥片は、本遺跡周辺で当該期の人類活動がおこなわれていたことを明示するものとなった。第１章でも述べた通り本地域で原位置を保って出土した後期旧石器時代の石器群は、近畿地方の第Ⅲ期に位置付けられるたつの市御津町の碇岩南山遺跡の石器群のみである。鍛冶田遺跡の資料からは、ただちに瀬戸内技法の存在を論ずることはできないが、近隣で出土した資料の中にも、亀田遺跡出土の国府型ナイフ形石器が存在する[1]ことを考えるなら、揖保川流域に、瀬戸内技法を基盤とした第Ⅱ期の石器群が展開していた可能性は高いと言えよう。また今後は、亀田遺跡でも出土している台形石器を含む第Ⅰ期の石器群の存在にも注意を払うべきである。（久保）

1.　報告では背面側の剥離痕の構成から、国府型ナイフ形石器とは言えないとされているが、当該資料の背面構成で複数の剥離痕とされたものは、むしろ打面縁の調整剥離と判断される。よって筆者はこれを国府型ナイフ形石器と認定する。亀田遺跡では他に、台形石器も出土している（原位置遊離）

第17図　鍛冶田遺跡の石器組成

第13表　掲載遺物一覧　土器類（1）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
1	85	89	B区　北東部		下層　暗褐色砂	縄文土器	深鉢	(27.4)	(3.3)					
2	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(7.9)					
3	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(5.4)					
4	85	89	B区	SD2518		縄文土器	深鉢		(7.2)					
5	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(4.75)					
6	85	89	B区	SD2518		縄文土器	深鉢		(2.65)					
7	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(2.6)					
8	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(3.2)					
9	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(5.0)					
10	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(3.3)					
11	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(2.35)					
12	85	89	B区	SD2518		縄文土器	深鉢		(4.6)					
13	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(5.5)					
14	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(5.2)					
15	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(5.0)					
16	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(3.6)					
17	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(9.1)					
18	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(5.1)					
19	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(3.75)					
20	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(3.0)					
21	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(7.45)					
22	85	89	B区	SD2521		縄文土器	深鉢		(4.25)					
23	85	89	B区	SD2521		縄文土器	浅鉢		(2.1)	(8.4)				
24	86	90	B区	SD2521		縄文土器	鉢	(32.1)	(8.4)					
25	86	90	B区	SD2521		縄文土器	皿	(18.6)	4.8					
26	86	90	B区　中央西半		包含層	縄文土器	深鉢		(1.8)					
27	86	90	B区　中央西半		包含層	縄文土器	深鉢		(2.5)					
28	86	90	B区　中央			縄文土器	深鉢		(3.1)					
29	86	90	B区　中央西半		包含層	縄文土器	深鉢		(5.2)					
30	86	90	B区　中央西半		包含層	縄文土器	深鉢		(3.2)					
31	86	90	B区　北西			縄文土器	深鉢		(2.9)					
32	86	90	B区	検出面上		縄文土器	深鉢		(4.5)					
33	86	90		SH1246　南半		縄文晩期	深鉢	(25.9)	(5.95)					
34	86	90		SH1268	上面精査	縄文晩期	深鉢		(2.8)					
35	86	90		SH1466　3区		縄文晩期	深鉢（口縁部）		(3.0)					
36	86	90	B区	SH2148	床面	縄文土器	深鉢		(2.9)					
37	86	90	B区	SH2148	底面	縄文土器	深鉢		(3.5)					
38	86	90		SK1249　南半	SH2148	縄文土器	深鉢		(6.4)					
39	86	90		SP1119	完掘	縄文土器	深鉢		(2.8)					
40	86	90		SP1463	一段下げ	縄文土器	深鉢		(5.2)					
41	86	90	B区	SP2152	SH2148上面	縄文土器	深鉢		(6.5)					
42	86	90	B区	SP2152	SH2148上面	縄文土器	深鉢		(1.5)					
43	87	91		SH1070　2区	～床面	弥生土器	広口壺（口縁部）	(23.5)	(1.35)					
44	87	91		SH1070　東西畔		弥生土器	甕（口縁部）	(16.35)	(1.4)					
45	87	91		SH1070　2区	検出面～－5㎝	弥生土器	甕（口縁部）	(22.6)	(2.8)					
46	87	91		SH1070　3区	～床面	弥生土器	甕（口縁部）	(19.75)	(3.8)					
47	87	91		SK1054（SH1070）		弥生土器	直口壺（口縁部）	(11.7)	(4.4)					
48	87	91		SH1246　4区	検出面～－5㎝	弥生土器	広口壺（肩部）		(5.5)					
49	87	91		SH1250　2区	検出面～－10㎝	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.2)	(1.9)					
50	87	91		SH1250　4区	検出面～－10㎝	弥生土器	広口壺（口縁部）	(22.2)	(4.0)					
51	87	91		SH1250　4区	検出面～－10㎝	弥生土器	広口壺（頸部）		(6.4)					
52	87	91		SH1250　4区	床面	弥生土器	甕	(9.6)	(5.0)					
53	87	91		SP1395（SH1250）	一段下げ	弥生土器	甕	(16.3)	(4.7)					
54	87	91		SP1436（SH1250）	一段下げ	弥生土器	甕	(15.5)	(4.0)					
55	87	91		SH1250　4区	－5㎝～床面	弥生土器	甕	(13.8)	(7.35)					
56	87	91		SH1250　4区	検出面～－5㎝	弥生土器	甕	(14.7)	(9.6)	＊(18.8)				
57	87	91		SH1250　2・3区		弥生土器	甕	(25.7)	(6.6)					
58	87	91		SH1250　3区	検出面～－5㎝	弥生土器	甕	(30.4)	(5.3)					
59	87	91		SH1250　2区	検出面～－5㎝	弥生土器	蓋		(3.5)			つまみ径 2.65		
60	87	91		SH1250　3区	－5㎝～床面	弥生土器	紡錘車			孔径0.5	4.2	4.4	0.8	
61	88	91		SH1250　1区	－5㎝～床面	弥生土器	細頸壺？	(11.0)	(7.95)					
62	88	91		SH1250	床面精査	弥生土器	台付鉢？		(8.2)					
63	88	91		SH1250　1区		弥生土器	台付鉢	(22.55)	(18.2)	9.65 ＊(24.0)				
64	88	91		SP1328（SH1250）		弥生土器	高坏（脚部）		(2.05)	(14.0)				
65	88	91		SH1250　3区	検出面～－5㎝	弥生土器	高坏（坏部）	(18.7)	(2.0)					
66	88	91		SH1250　1区	－5㎝～床面	弥生土器	高坏（坏部）	(21.2)	(4.2)					
67	88	91		SH1250　2区	埋土	弥生土器	甕（底部）		(4.95)	(6.5)				
68	88	91		SH1250　2・3区		弥生土器	甕（底部）		(2.7)	(5.2)				
69	88	91		SH1250　3区	－5㎝～床面	弥生土器	壺（底部）		(5.2)	5.75				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（２）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
70	88	91		SH1250　4区	床面	弥生土器	壺（底部）		(3.95)	(6.3)				
71	88	91		SH1250　1区	検出面～－5cm	弥生土器	壺（底部）		(5.35)	(8.2)				
72	88	92		SH1251　1区	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(12.6)	(3.2)					
73	88	92		SH1251	床面	弥生土器	甕	(13.45)	(23.5)	(6.0)				
74	88	92		SH1251　2区		弥生土器	甕	(16.7)	(6.7)					
75	88	92		SH1251	埋土	弥生土器	台付鉢？		(4.6)					
76	88	92		SH1252　2区	検出面～－10cm	弥生土器	壺（体部）		(6.8)					
77	88	92		SH1252　4区	埋土	弥生土器	高坏（坏部）		(4.8)	(12.15)				
78	89	92		SK1448（SH1254）		弥生土器	甕（口縁部）	(14.05)	(4.2)					
79	89	92		SH1254　2区		弥生土器	高坏（脚部）		(4.15)					
80	89	92		SK1448（SH1254）		弥生土器	台付鉢？	(18.6)	(15.0)					
81	89	92		SK1448（SH1254）		弥生土器	甕（底部）		(5.95)	5.5				
82	89	92		SH1254	床面	弥生土器	壺（底部）		(3.45)	(6.7)				
83	89	93		SP1537（SH1424）	下層	弥生土器	広口壺	(14.3)	(12.6)					
84	89			SH1424　4区	検出面～－5cm	弥生土器	直口壺	(17.2)	(5.85)					
85	89	92		SH1424　4区	検出面－5cm ～床面	弥生土器	甕	(16.5)	(5.55)					
86	89	92		SP1537（SH1424）		弥生土器	無頸壺	(3.6)	(7.0)					
87	89	93		SP1537（SH1424）		弥生土器	甕		(10.6)	5.35				
88	89	92		SH1424　3区	検出面～－5cm	弥生土器	甕（底部）		(5.45)	(6.0)				
89	89	92		SH1424　4区	検出面－5cm ～床面	弥生土器	甕（底部）		(4.45)	6.2				
90	89	92		SH1424　3区	検出面～－15cm	弥生土器	無頸壺（鉢？）	(28.0)	(6.85)					
91	89	92		SP1535（SH1424）		弥生土器	鉢	(16.45)	(3.7)					
92	89	92		SH1424　北		弥生土器	鉢	(18.6)	(6.3)					
93	89	93		SP1540（SH1424内）		弥生土器	高坏（脚部）		(20.1)	17.2				
94	89	93		SP1535（SH1424）		弥生土器	台付鉢（台部）		(11.7)	(13.15)				
95	89	93		SP1537（SH1424）		弥生土器	台付鉢（台部）		(8.85)	10.8				
96	90	93		SH1425		弥生土器	広口壺	17.45	(14.6)					
97	90	94		SH1425		弥生土器	広口壺（体部）？		(16.1)	＊(28.8)				
98	90	94		SH1425		弥生土器	甕	(17.5)	(18.3)	＊(18.4)				
99	90	94		SH1425		弥生土器	壺（底部）		(6.8)	6.75				
100	90	94		SH1425		弥生土器	壺（底部）		(5.9)	(7.35)				
101	90	94		SH1425		弥生土器	広口壺	(43.6)	(47.8)	＊(49.7)				
102	91	95		SH1425		弥生土器	高坏（脚部）		(8.35)	(16.2)				
103	91	95		SH1425		弥生土器	高坏（脚部）		(3.7)	(17.0)				
104	91	95		SH1466　4区		弥生土器	広口壺（口縁部）	(22.65)	(1.7)					
105	91	95		SH1466　3区		弥生土器	甕（口縁部）	(20.5)	(5.05)					
106	91	95		SH1466　2区		弥生土器	高坏（坏部）？	(24.3)	(3.2)					
107	91	95		SH1524　1・2区畔		弥生土器	甕（体部）	(18.6)	(3.6)					
108	91	95		SH1524　1区		弥生土器	甕		(4.6)					
109	91	95		SH1524　1区		弥生土器	甕（底部）		(2.3)	(4.1)				
110	91	95		SH1538　1区		弥生土器	広口壺（口縁部）	(30.0)	(2.25)					
111	91	95		SH1538		弥生土器	広口壺（体部）		(16.7)	＊(26.0)				
112	91	95		SH1538　1区		弥生土器	壺（体部）？				(7.85)	(5.6)	0.6～0.8	
113	91	95		SH1538		弥生土器	甕		(12.75)	6.0				
114	91	95	B区	SP2451		弥生土器	甕（口縁部）	(27.7)	(2.85)					
115	91	95	B区	SH2090		弥生土器	広口壺（頸部）		(6.5)			頸径 (13.0)		
116	91	95	B区	SH2090		弥生土器	壺（体部）		(8.5)					
117	92	96	B区　北東	SH2090　下面一括		弥生土器	壺		(13.8)	7.2 ＊16.25				
118	92	96	B区　北東	SH2090　下面一括		弥生土器	甕	(17.7)	(28.3)	6.65 ＊19.5				
119	92	96	B区	SH2090		弥生土器	甕	(22.5)	(7.25)					
120	92	96	B区	SP2450･2451（SH2090）		弥生土器	鉢	(24.8)	(7.6)					
121	92	96	B区　北東	SH2090　下面一括		弥生土器	甕（底部）		(5.2)	5.95				
122	92	96	B区　北東	SH2090　下面一括		弥生土器	壺（底部）		(3.7)	7.75				
123	92	97		SK037		弥生土器	台付鉢（台部）		(5.3)	(9.2)				
124	92	97		SK098	埋土	弥生土器	土製品		(3.9)	3.55				
125	92	97		SK085		弥生土器	広口壺（頸部）		(7.4)			頸径9.0		
126	92	97		SK085		弥生土器	甕（口縁部）	(17.9)	(5.2)					
127	92	97		SK085		弥生土器	甕（口縁部）	(26.6)	(4.75)					
128	92	97		SK085		弥生土器	壺（底部）		(9.0)	(9.0)				
129	92	97		SK161		弥生土器	甕（口縁）	(19.7)	(3.0)					
130	92	97		SK161		弥生土器	甕（底部）		(5.55)	(6.0)				
131	92	97		SK161		弥生土器	高坏（脚部）		(3.95)	(13.2)				
132	93	97		SK169　土器棺		弥生土器	甕	(22.0)	(37.5)	8.0				
133	93	98		SK169　土器棺		弥生土器	鉢	(20.9)	20.4	(8.2) ＊(21.3)				
134	93	98		SK293		弥生土器	高坏（口縁部）	(28.2)	(3.0)					
135	93	98		SK293		弥生土器	甕（底部）		(6.55)	(6.2)				
136	93	98		SK437		弥生土器	甕	(15.7)	28.95	(4.8) ＊(18.9)				
137	93	98		SK437	埋土	弥生土器	甕	(21.3)	(10.1)	＊(22.45)				
138	93	98		SK437	埋土	弥生土器	甕（底部）		(4.5)	5.6				
139	93	98		SK437		弥生土器	壺（底部）		(6.15)	(12.0)				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（３）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
140	94	98		SK677		弥生土器	広口壺	(15.2)	(7.5)					
141	94	99		SK677		弥生土器	広口壺（体部）		(11.4)	＊(18.0)				
142	94	99		SK677		弥生土器	甕	(18.9)	(7.55)					
143	94	98		SK677		弥生土器	甕	(19.7)	(23.2)	＊(24.8)				
144	94	99		SK677		弥生土器	高坏or鉢	(38.6)	(9.8)					
145	94	99		SK677		弥生土器	高坏（脚部）		(14.35)	(15.05)				
146	94	99		SK677		弥生土器	台付鉢（台部）		(6.95)	10.7				
147	94	99		SK680　南半		弥生土器	甕（底部）		(3.7)	(5.5)				
148	94	99		SK696		弥生土器	壺（底部）		(8.7)	8.55				
149	94	99		SK696		弥生土器	壺（体部）		(30.15)	8.5				
150	95	100		SK696		弥生土器	広口壺	21.6	44.2	11.0 ＊37.9				
151	95	100		SK696		弥生土器	壺	13.8	31.25	9.9 ＊27.9				
152	95	100		SK696		弥生土器	甕（口縁部）	(14.0)	(5.0)					
153	95	100		SK696		弥生土器	甕	(17.0)	(14.05)	＊(19.0)				
154	95	100		SK696		弥生土器	甕		(20.9)	＊(17.5)				
155	95	100		SK696	南半	弥生土器	甕（口縁部）	(21.1)	(5.1)					
156	95	100		SK696		弥生土器	甕	(24.8)	(31.0)	8.6 ＊(27.45)				
157	96	101		SK696		弥生土器	壺（底部）		(4.9)	(8.0)				
158	96	101		SK696		弥生土器	壺（底部）		(5.1)					
159	96	101		SK696	南半	弥生土器	甕（底部）		(9.3)	(6.0)				
160	96	101		SK696		弥生土器	甕（底部）		(10.5)	(6.15)				
161	96	102		SK761		弥生土器	高坏	(14.3)	14.3	10.1				
162	96	101		SK768　南		弥生土器	甕	(15.6)	(7.95)					
163	96	101		SK768　南		弥生土器	甕（口縁部）	(17.6)	(3.85)					
164	96	101		SK768　南		弥生土器	甕（底部）		(3.1)	(6.4)				
165	96	101		SK768　北		弥生土器	壺（体部）				(5.05)	(6.0)		
166	96	101		SK768　南		弥生土器	無頸壺（脚部）？		(8.5)					
167	96	101		SK783		弥生土器	甕（底部）		(2.7)	(7.0)				
168	96	101		SK876		弥生土器	甕（口縁部）	(29.7)	(3.05)					
169	96	101		SK935	1層	弥生土器	甕（口縁部）	(10.8)	(2.5)					
170	96	101		SK935	1層	弥生土器	壺（底部）		(5.2)	(9.2)				
171	96	101		SK967		弥生土器	甕（口縁部）	(24.3)	(1.8)					
172	96	101		SX992　北畔		弥生土器	鉢（口縁部）	(24.9)	(2.15)					
173	96	101		SX992　棺内		弥生土器	高坏（脚部）		(3.85)	(9.7)				
174	96	101		SX992　掘方内		弥生土器	甕（底部）		(3.3)	(5.0)				
175	96	101		SX994　棺内		弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.1)	(2.3)					
176	96	101		SX994　棺内		弥生土器	壺（底部）		(2.9)	(11.7)				
177	96	101		SX994		弥生土器	甕（底部）		(4.15)	(6.5)				
178	97	102		SX1004　2区	－5㎝～－10㎝	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.8)	(6.65)					
179	97	102		SX1004	下層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.9)	(5.35)					
180	97	102		SX1004　1～4区間畔	2層	弥生土器	広口壺（体部）		(19.0)	＊(45.0)				
181	97	102		SX1004　2～3区間畔	1層	弥生土器	甕	(12.6)	(4.8)					
182	97	102		SX1004	棺内埋土	弥生土器	甕	(14.4)	(10.5)					
183	97	103		SX1004　北畔	1層	弥生土器	鉢	(6.8)	4.5					
184	97	103		SX1004　北畔	1層	弥生土器	不明（脚部）		(6.75)	(9.0)				
185	97	102		SX1004	床面	弥生土器	甕（底部）		(6.45)	(6.6)				
186	97	102		SK1072		弥生土器	甕（底部）		(4.45)	(7.0)				
187	97	103		SK1045　北端		弥生土器	広口壺	(21.6)	(11.3)					
188	97	102		SK1045	埋土	弥生土器	壺（底部）		(5.3)	(9.0)				
189	97	102		SK1080　南半		弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.6)	(2.75)					
190	97	102		SK1080　北半		弥生土器	広口壺（口縁部）	(12.2)	(3.4)					
191	97	102		SK1080　北半		弥生土器	短頸壺（口縁部）	(13.6)	(6.1)					
192	97	102		SK1080　南半		弥生土器	甕（口縁部）	(12.7)	(2.35)					
193	98	103		SK1081　北半		弥生土器	高坏（口縁部）	(18.2)	(1.8)					
194	98	103		SK1081　北半		弥生土器	台付鉢（台部）？		(6.85)					
195	98	104		SX1089　4区		弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.4)	(3.8)					
196	98	103		SX1089　2区		弥生土器	甕（口縁部）	(19.9)	(1.3)					
197	98	103		SX1089	棺内埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(21.15)	(4.0)					
198	98	104		SX1089　4区		弥生土器	高坏（脚部）？		(8.8)	9.3				
199	98	103		SX1089　南畔	1層	弥生土器	甕（底部）？		(3.9)	(6.3)				
200	98	103		SX1089　南畔	1層	弥生土器	鉢（口縁部）	(15.6)	(4.0)					
201	98	103		SK1090		弥生土器	直口壺？	(17.4)	(6.5)					
202	98	103		SK1090		弥生土器	広口壺（口縁部）	(13.2)	(1.95)					
203	98	103		SX1101	検出面～－5㎝	弥生土器	甕（口縁部）	(23.7)	(3.8)					
204	98	103		SX1101　3区	検出面～－10㎝	弥生土器	甕（底部）		(3.0)	(5.5)				
205	98	104		SK1104　西半		弥生土器	広口壺	(15.4)	(7.7)					
206	98	104		SK1113	3層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(27.6)	(4.6)					
207	98	104		SK1113		弥生土器	広口壺（体部）		(9.5)	＊(28.4)				
208	98	104		SP1113	4層	弥生土器	甕	(12.1)	(6.1)					
209	98	104		SK1113　西半		弥生土器	甕（口縁部）	(14.9)	(3.6)					

第13表　掲載遺物一覧　土器類（４）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm） 口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	重（g）
210	98	104		SK1113	2層	弥生土器	甕（口縁部）	(15.4)	(2.8)					
211	98	104		SK1113		弥生土器	無頸壺	(17.2)	(4.2)					
212	98	104		SK1113	5層	弥生土器	壺（底部）		(3.85)	(8.0)				
213	99	104		SK1113		弥生土器	甕		(10.6)	6.5				
214	99	105		SK1113		弥生土器	甕（底部）		(4.4)	(6.2)				
215	99	105		SP1113	4層	弥生土器	甕（底部）	(3.15)	5.4					
216	99	105		SK1115		弥生土器	甕（口縁部）	(13.9)	(2.95)					
217	99	105		SK1115		弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.6)	(6.3)					
218	99	105		SK1115		弥生土器	甕（口縁部）	(25.4)	(4.1)					
219	99	105		SK1115		弥生土器	壺（底部）		(3.4)	(5.0)				
220	99	105		SK1115		弥生土器	甕（底部）		(5.5)	(6.0)				
221	99	105		SK1258		弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.6)	(5.9)					
222	99	106		SK1258	下層	弥生土器	広口壺	17.1	(6.9)					
223	99	105		SK1258	下層	弥生土器	甕（口縁部）	(20.6)	(1.8)					
224	99	105		SK1258		弥生土器	甕	(16.0)	(7.65)					
225	99	105		SK1258		弥生土器	壺（体部）		(8.9)	＊(28.95)				
226	99	106		SK1258	下層	弥生土器	高坏（脚部）		(4.75)	(16.8)				
227	99	105		SK1290	一段下げ	弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.7)	(1.55)					
228	100	106		SK1258		弥生土器	甕	(28.4)	(46.8)	8.95 ＊(37.2)				
229	100	106		SK1344		弥生土器	甕（口縁部）	(25.2)	(2.3)					
230	100	106		SK1344		弥生土器	甕（底部）		(3.15)	(6.2)				
231	100	106		SK1383	畦1層	弥生土器	器台？		(6.75)					
232	100	106		SK1383	畦1層	弥生土器	壺（底部）		(5.4)	(6.4)				
233	100	106		SK1383	埋土上部	弥生土器	甕（底部）		(3.3)	5.65				
234	100	106		SK1420　南半		弥生土器	高坏	(17.45)	(4.05)					
235	100	106		SK1492		弥生土器	広口壺（口縁部）	(19.6)	(1.8)					
236	100	106		SK1492		弥生土器	不明、蓋？	(14.4)	(2.5)					
237	100	106		SK1498		弥生土器	甕（口縁部）	(25.8)	(3.4)					
238	101	108		SP1686	全掘	弥生土器	広口壺	(15.7)	(7.6)					
239	101	108		SP1697　柱痕	1層	弥生土器	高坏（脚部）		(9.05)	13.8				
240	101	107		SP1697　柱痕	1層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(22.0)	(11.0)					
241	101	107		SK1708		弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.0)	(6.7)					
242	101	107		SK1708		弥生土器	広口壺（体部）		(11.9)					
243	101	107		SK1708		弥生土器	広口壺	(21.4)	(11.9)					
244	101	107		SK1708		弥生土器	広口壺（口縁部）	(24.3)	(9.45)					
245	101	108		SK1708	1層	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(10.9)	(4.7)					
246	101	108		SK1708	3層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.7)	(5.4)					
247	102	108		SK1708	2層	弥生土器	壺（体部）		(17.4)	＊(58.8)				
248	102	108		SK1708		弥生土器	壺（底部）		(26.8)	(12.4)				
249	102	109		SK1708	1層	弥生土器	甕（口縁部）	(17.5)	(5.0)					
250	102	109		SK1708	3層最下層	弥生土器	甕（口縁部）	(18.0)	(4.1)					
251	102	109		SK1708		弥生土器	甕（口縁部）	(17.4)	(4.15)					
252	102	109		SK1708		弥生土器	甕（口縁部）	(15.6)	(4.15)					
253	102	109		SK1708	1層	弥生土器	甕（口縁部）	(23.7)	(4.4)					
254	102	108		SK1708		弥生土器	甕	(14.4)	22.9	(7.0) ＊(17.0)				
255	103	109		SK1708	3層最下層	弥生土器	高坏（坏部）？	(25.0)	(5.0)					
256	103	109		SK1708		弥生土器	鉢	(24.5)	(6.3)					
257	103	109		SK1708	2層	弥生土器	壺（底部）		(4.5)	9.95				
258	103	109		SK1708	3層最下層	弥生土器	壺（底部）		(5.6)	(8.65)				
259	103	110		SK1708		弥生土器	甕（底部）		(12.0)	(9.85)				
260	103	109		SK1708		弥生土器	甕（底部）		(5.5)	(7.2)				
261	103	109		SK1708	3層最下層	弥生土器	甕（底部）		(5.5)	(7.35)				
262	103	109		SK1708	3層	弥生土器	甕（底部）		(4.1)	(6.6)				
263	103	109		SK1708	3層最下層	弥生土器	甕（底部）		(4.9)	(5.2)				
264	103	109		SK1708	3層	弥生土器	甕（底部）		(4.6)	(5.6)				
265	103	110		SK1708	3層最下層	弥生土器	高坏（脚部）		(12.2)	(15.1)				
266	103	110		SK1710		弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.2)	(4.5)					
267	103	110		SK1710		弥生土器	甕	(13.6)	(12.5)	(18.6)				
268	103	110		SK1710		弥生土器	甕（底部）		(5.05)	(8.0)				
269	103	110	A区	SX2026		弥生土器	壺（体部）		(26.4)	＊(30.1)				
270	104	111	B区	SK2093		弥生土器	壺	(29.6)	(9.0)					
271	104	111	B区　北端	SK2093	炭混じり	弥生土器	壺（体部）		(6.0)					
272	104	111	A区	SX2211		弥生土器	甕（底部）		(8.9)	(5.4)				
273	104	111	B区	SK2353		弥生土器	甕（口縁部）	(17.3)	(3.0)					
274	104	111	B区	SK2353		弥生土器	甕（口縁部）		(4.75)					
275	104	111	B区　南端	SK2412	黒灰色シルト	弥生土器	甕（底部）		(5.15)	11.7				
276	104	111	B区	SK2467		弥生土器	甕	(15.45)	(13.6)	＊(20.8)				
277	104	111	B区	SK2467		弥生土器	甕	(11.2)	20.7	5.2 ＊(14.9)				
278	104	111	B区	SK2467		弥生土器	甕	(12.75)	(7.0)	＊(13.2)				
279	104	111	B区	SK2467		弥生土器	甕（底部）		(3.9)	6.45				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（５）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
280	104	112	B区	SK2471		弥生土器	広口壺（口縁部）	(19.4)	(7.5)					
281	104	111	B区	SK2471		弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.8)	(2.0)					
282	104	112	B区	SK2471		弥生土器	広口壺	(15.8)	(25.3)	＊(25.5)				
283	105	113	B区	SK2471		弥生土器	甕	(16.1)	(17.35)	＊(24.2)				
284	105	113	B区	SK2471		弥生土器	広口壺（口縁部）	(22.0)	(2.85)					
285	105	112	B区	SK2471		弥生土器	甕	(13.8)	22.5	6.15				
286	105	112	B区	SK2471		弥生土器	壺（底部）		(7.2)	(9.7)				
287	105	113	B区	SK2471		弥生土器	壺（底部）		(4.85)	6.2				
288	105	113	B区	SK2471		弥生土器	壺（底部）		(3.5)	7.95				
289	105	112	B区	SK2505　土器棺(？)	褐色砂(検出面)	弥生土器	広口壺（体部）		(20.8)	8.2 ＊(25.9)				
290	105	113		SK035　南半		弥生土器	甕	(12.25)	(6.3)					
291	105	113		SK035　北半		弥生土器	甕（底部）		(2.8)	(5.6)				
292	105	113		SD665（方形周溝１）	上面	弥生土器	短頸壺	(13.4)	(8.3)					
293	105	113		SD665　1区(方形周溝1)		弥生土器	広口壺　(口縁部)？	(20.8)	(3.2)					
294	105	113		SD665　1区(方形周溝1)	暗褐色砂	弥生土器	甕	(17.7)	(4.5)					
295	105	113		SD665　1区(方形周溝1)	暗褐色砂	弥生土器	甕	(30.4)	(8.9)					
296	106	114		SD665　1区(方形周溝1)		弥生土器	壺（底部）		(6.0)	9.9				
297	106	114		SD665（方形周溝1）	一段下げ	弥生土器	壺（底部）		(7.15)	(7.95)				
298	106	114		SD665　1区(方形周溝1)		弥生土器	甕（底部）		(5.6)	6.3				
299	106	114		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.1)	(4.2)					
300	106	114		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.2)	(2.3)					
301	106	114		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（頸部）		(5.7)					
302	106	114		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（頸部）		(7.8)					
303	106	114		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(14.7)	(3.85)					
304	106	114		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(24.2)	(2.95)					
305	106	116		SD100　北端部	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(30.6)	(8.2)					
306	106	116		SD100　北端部	埋土	弥生土器	壺（体部）		(9.5)					
307	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	直口壺	(12.25)	(11.15)					
308	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(15.65)	(5.4)					
309	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	甕	(13.35)	(7.9)	＊(13.3)				
310	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	甕or鉢	(18.9)	(5.3)	＊(18.8)				
311	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(24.6)	(4.45)					
312	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(29.8)	(5.0)					
313	106	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	壺（底部）		(4.7)	(8.5)				
314	107	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(5.6)	(14.2)				
315	107	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(5.8)	(16.5)				
316	107	115		SD100　北端部	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(10.85)	(21.4)				
317	107	115		SD1047		弥生土器	広口壺	(10.0)	(5.5)					
318	107	116		SD1047　東半		弥生土器	広口壺（口縁部）	14.4	(5.0)					
319	107	116		SD1047		弥生土器	広口壺（体部）		(14.7)	＊(26.0)				
320	107	116		SD1047		弥生土器	高坏（脚部）		(10.3)					
321	107	116		SD1047		弥生土器	高坏（脚部）		(14.7)	(12.9)				
322	107	116	A区	SD2042　北半	２～３層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(23.2)	(6.4)					
323	107	116	A区	SD2042　北半	２層	弥生土器	広口壺（口縁部）	11.9	(7.25)					
324	107	117	A区	SD2042　北半	２層	弥生土器	広口壺（体部）		(34.2)	12.4				
325	108	117	A区	SD2042　北半	２～３層	弥生土器	甕（口縁部）	(15.85)	(4.7)					
326	108	117	A区	SD2042　北半	２～３層	弥生土器	甕	(27.9)	(11.0)	＊(30.2)				
327	108	117	A区	SD2042　北半	２～３層	弥生土器	壺（底部）		(9.3)	(12.6)				
328	108	117	A区	SD2042	２層	弥生土器	高坏		(13.6)					
329	108	117	A区	SD2042　北半	２層	弥生土器	甕（底部）		(5.75)	6.15				
330	108	117	B区	SD2094　東半(方形周溝２)		弥生土器	壺（底部）		(9.55)	(14.0)				
331	108	117	B区	SD2094　東半(方形周溝２)		弥生土器	高坏（脚部）		(3.3)	(13.4)				
332	108	118	B区	SD2094(方形周溝２)		弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.1)	(2.45)					
333	108	118	B区	SD2094(方形周溝２)		弥生土器	広口壺（頸部）		(5.3)					
334	108	118	B区	SD2094(方形周溝２)		弥生土器	鉢	(19.0)	(6.85)	＊(19.8)				
335	108	118	B区	SD2094(方形周溝２)		弥生土器	高坏	(19.4)	(12.95)	(12.8)				
336	108	118	B区	SD2094(方形周溝２)		弥生土器	高坏（脚部）		(5.75)	(14.4)				
337	109	118	B区	SD2202　東半		弥生土器	甕（口縁部）	(17.4)	(4.5)					
338	109	118	B区	SD2232		弥生土器	甕（口縁部）	(24.8)	(5.75)					
339	109	119	B区	SD2358(方形周溝２)	検出面～－10cm	弥生土器	広口壺（口縁部）	(12.4)	(3.7)					
340	109	118	B区	SD2358　西半(方形周溝２)		弥生土器	壺（体部）		(14.3)	8.0 ＊(18.2)				
341	109	119	B区	SD2358(方形周溝２)	検出面～－10cm	弥生土器	甕	(22.5)	(8.8)					
342	109	119	B区	SD2358(方形周溝２)	検出面～－10cm	弥生土器	甕	(25.6)	(7.75)					
343	109	119	B区	SD2358　西半(方形周溝２)		弥生土器	甕（底部）		(6.7)	(5.3)				
344	109	119	B区	SD2358　西部(方形周溝２)	検出面	弥生土器	高坏（坏部）	(16.8)	(3.4)					
345	109	118	B区　南端	SD2458	下層　灰色小礫～細砂	弥生土器	細頸壺	(5.4)	(9.8)					
346	109	119	B区　南端	SD2458　南東隅	砂礫	弥生土器	甕（口縁部）	(19.7)	(2.85)					
347	109	119	B区　南端	SD2458	暗灰シルト下層	弥生土器	甕	(21.2)	(6.55)					
348	109	119	B区　南端	SD2458　南東隅	砂礫	弥生土器	甕（口縁部）	(22.6)	(3.9)					
349	109	119	B区　南端	SD2458	下層　灰色小礫～細砂	弥生土器	甕（口縁部）	(27.1)	(4.3)					

第13表　掲載遺物一覧　土器類（6）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量(cm) 口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	重(g)
350	109	119	B区　南端	SD2458	下層　灰色小礫～細砂	弥生土器	壺（底部）		(5.25)	(10.25)				
351	109	119	B区　南端	SD2458	下層　灰色細砂	弥生土器	高坏（脚部）		(7.05)	(14.15)				
352	110	120	B区　南端	SD2507　東端	中･下層　砂礫	弥生土器	広口壺（口縁部）	(19.1)	(7.6)					
353	110	120	B区　南端	SD2507　東端	中･下層　砂礫	弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.8)	(6.9)					
354	110	120	B区　南端	SD2507　東端	中層　砂層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(19.4)	(8.2)					
355	110	120	B区　南端	SD2507		弥生土器	広口壺（口縁部）	18.8	(11.0)					
356	110	120	B区　南端	SD2507	上・中層	弥生土器	壺（口縁部）	(17.2)	(4.35)					
357	110	120	B区　南端	SD2507	下層　砂礫	弥生土器	細頸壺	(4.9)	(20.1)	＊(19.9)				
358	110	120	B区　南端	SD2507	上・中層	弥生土器	甕	18.0	27.0	6.2 ＊18.9				
359	110	121	B区　南東	SD2507	上層　39層	弥生土器	甕	25.5	35.6	8.0 ＊(27.8)				
360	110	121	B区	SD100･2506　合流	下層・砂礫	弥生土器	壺（体部）		(9.3)	6.85				
361	111	121	B区　南東	SD2507	中層(礫砂)41層	弥生土器	甕（底部）？		(6.0)	5.5				
362	111	120	B区　南端	SD2507	下層　砂礫	弥生土器	甕（底部）		(6.0)	6.6				
363	111	121	B区　南端	SD2507		弥生土器	台付鉢（台部）		(8.1)	(9.0)				
364	111	120	B区　南西	SD2519	下層	弥生土器	甕（口縁部）	(27.2)	(2.2)					
365	111	120	B区　北端	SD100	上層	弥生土器	広口壺 （口縁部）？	(23.9)	(2.1)					
366	111	121	B区	SD100　南端	上層	弥生土器	広口壺？		(40.4)	＊(30.1)				
367	111	121	B区	SD100	中層	弥生土器	広口壺	(19.1)	35.2	7.05 ＊22.5				
368	112	122	B区	SD100	上・中層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.3)	(7.2)					
369	112	122	B区	SD100	上層	弥生土器	広口壺（口縁部）	15.45	(4.9)					
370	112	122	No.11～12	SD100　埋土		弥生土器	広口壺（口縁部）	(8.8)	(2.85)					
371	112	122	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(19.4)	(2.05)					
372	112	122	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.6)	(6.35)					
373	112	122	A区	SD100　北半		弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.0)	(8.4)					
374	112	122	B区　北半	SD100	上層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.0)	(7.0)					
375	112	122	B区　北端	SD100	上層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.6)	(3.9)					
376	112	122	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(22.2)	(8.05)					
377	112	122	B区	SD100	上層	弥生土器	広口壺（体部）		(44.2)	(10.3) ＊(37.4)				
378	112	123	A区	SD100　北半		弥生土器	壺（体部）		(5.6)					
379	112	123	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	壺（体部）		(2.9)					
380	112	123	No.9＋4～10	SD100	埋土	弥生土器	壺（体部）		(5.6)					
381	113	123	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(28.6)	(12.4)					
382	113	122	B区	SD100	中層	弥生土器	広口壺	(20.05)	(19.8)					
383	113	123	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	広口壺	(19.45)	(14.85)					
384	113	124	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.7)	(4.3)					
385	113	124	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.3)	(7.55)					
386	113	123	B区	SD100	上層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(22.4)	(10.4)					
387	113	124	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.2)	(6.4)					
388	113	124	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.0)	(5.6)					
389	113	124	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.6)	(6.35)					
390	113	123	A区	SD100　北半		弥生土器	広口壺（口縁部）	(32.2)	(9.45)					
391	113	124	No.10～11	SD100		弥生土器	広口壺（頸部）		(6.6)					
392	113	123	B区	SD100	上層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.6)	(10.8)					
393	114	124	A区	SD100　北半		弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.5)	(3.6)					
394	114	124	A区	SD100	№11ライン畦1層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.9)	(7.6)					
395	114	124	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	広口壺（口縁部）	(23.8)	(8.4)					
396	114	125	No.9＋6～10	SD100		弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.1)	(2.8)					
397	114	125	A区	SD100　北半		弥生土器	広口壺（口縁部）	24.95	(11.45)					
398	114	125	B区	SD100	中層	弥生土器	短頸壺	(10.85)	(10.9)					
399	114	125	B区	SD100	上層	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(13.5)	(7.6)					
400	114	125	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(15.2)	(6.9)					
401	114	125	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	壺（頸部）		(8.5)					
402	114	125	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	直口壺（口縁部）	(17.7)	(5.9)					
403	114	125	A区	SD100　北半		弥生土器	短頸壺（口縁部）	(15.3)	(5.6)					
404	115	125	B区	SD100	上層	弥生土器	短頸壺	(14.2)	(25.3)					
405	115	125	B区	SD100	中上層	弥生土器	短頸壺	(19.3)	(20.2)					
406	115	126	No.13～15	SD100	上面	弥生土器	受口壺（口縁部）	(30.4)	(12.7)					
407	115	126	A区	SD100　北半		弥生土器	受口壺（口縁部）	(31.0)	(10.8)					
408	116	126	A区	SD100　北半		弥生土器	広口壺（口縁部）	(11.3)	(4.2)					
409	116	126	B区	SD100	中上層	弥生土器	広口壺	(16.6)	(10.6)					
410	116	126	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	甕（口縁部）	(15.9)	(4.6)					
411	116	126	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(19.4)	(2.85)					
412	116	126	B区	SD100	上層	弥生土器	直口壺？(口縁部)	(20.2)	(8.5)					
413	116	127	B区	SD100	下層	弥生土器	広口壺	8.9	(11.35)	＊(14.15)				
414	116	127	B区	SD100	中層	弥生土器	甕	9.05	15.75	4.7 ＊12.6				
415	116	127	B区	SD100	下層　砂礫層	弥生土器	甕	11.15	20.7	5.8 ＊15.55				
416	116	126	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	甕	(17.5)	(5.95)					
417	116	127	B区	SD100　南端	中・上層	弥生土器	甑型壺？		(9.65)					
418	116	127	B区	SD100	中層	弥生土器	壺（体部）		(11.0)	5.7 ＊(14.9)				
419	116	127	B区	SD100	上・中層	弥生土器	広口壺（体部）？		(12.5)					

第13表　掲載遺物一覧　土器類（７）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
420	116	127	B区	SD100　東肩	上層	弥生土器	壺（体部）		(27.9)	7.7 ＊28.6				
421	117	128	A区	SD100　南半		弥生土器	甕（口縁部）	(18.7)	(3.55)					
422	117	128	No.11～12	SD100	埋土	弥生土器	甕（口縁部）		(4.7)					
423	117	128	B区	SD100	中層	弥生土器	甕	(23.1)	(8.35)					
424	117	128	B区　北	SD100	上層	弥生土器	甕（口縁部）	(17.5)	(6.05)					
425	117	128	No.10	SD100	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(23.4)	(4.3)					
426	117	128	B区	SD100		弥生土器	甕（口縁部）	(29.8)	(8.9)	＊(29.6)				
427	117	128	B区	SD100	上・中層	弥生土器	甕（口縁部）	(19.5)	(5.65)					
428	117	128	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	甕（口縁部）	(17.9)	(6.1)					
429	117	128	B区　南端	SD100　南端	中層	弥生土器	甕	(19.3)	(7.75)	＊(17.8)				
430	117	128	B区	SD100	上層	弥生土器	甕	(16.0)	(10.25)	＊(16.6)				
431	117	128	B区	SP2313	柱根	弥生土器	甕（口縁部）	(20.5)	(2.95)					
432	117	128	B区　北半中央	SD100　周辺		弥生土器	甕	(20.7)	(7.55)					
433	117	128	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(28.45)	(4.25)					
434	117	128	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	甕（口縁部）	(26.6)	(6.7)					
435	117	128	B区　北端	SD100		弥生土器	甕（口縁部）	(31.3)	(6.75)					
436	117	128	A区	SD100　北半		弥生土器	甕（口縁部）	(19.3)	(5.0)					
437	117	128	No.9＋４～10	SD100		弥生土器	甕	(15.8)	(9.15)	＊(18.6)				
438	118	129	B区　北端	SD100	上層	弥生土器	甕（口縁部）	(28.6)	(5.95)					
439	118	129	B区	SD100	上層	弥生土器	甕（口縁部）	(32.2)	(6.3)					
440	118	130	B区	SD100　中	上・中層	弥生土器	甕	(30.0)	(30.2)	＊(35.6)				
441	118	130	B区	SD100	下層	弥生土器	甕	(43.2)	(21.1)	＊(48.2)				
442	118	129	B区	SD100	上層	弥生土器	甕	(42.8)	(14.75)	＊(47.9)				
443	119	129	A区	SD100　南半		弥生土器	甕（口縁部）	(14.45)	(5.1)					
444	119	129	No.9＋４～10	SD100	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(14.1)	(6.35)					
445	119	129	B区　北	SD100	上層	弥生土器	甕	(14.6)	(7.85)					
446	119	129	A区	SD100　北半		弥生土器	甕（口縁部）	(14.9)	(4.0)					
447	119	129	A区	SD100　南半		弥生土器	壺（口縁部）	(9.7)	(4.5)					
448	119	129	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	甕（口縁部）	(14.8)	(5.3)	＊(14.6)				
449	119	129	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	甕	(22.0)	(8.3)					
450	119	129	No.9＋４～10	SD100		弥生土器	甕（口縁部）	(28.15)	(4.55)					
451	119	130	B区　北端	SP2188（SD100上面）		弥生土器	壺（底部）		(8.6)	9.8				
452	119	130	B区	SD100	下層	弥生土器	壺（底部）		(7.65)	8.7				
453	119	130	B区	SD100	上層	弥生土器	壺（底部）		(6.95)	9.4				
454	119	130	B区	SD100	上層	弥生土器	壺（底部）		(12.9)	9.4				
455	119	130	B区	SD100	上・中層	弥生土器	壺（体部）		(26.55)	(13.6)				
456	120	131	B区	SD100	上層	弥生土器	甕（底部）		(7.1)	6.3				
457	120	131	A区	SD100　南半		弥生土器	甕（底部）		(5.55)	6.45				
458	120	131	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	甕（底部）		(4.95)	5.55				
459	120	131	B区	SD100	上層	弥生土器	甕（底部）		(6.5)	5.75				
460	120	131	B区	SD100　南側畔	３層	弥生土器	鉢（底部）？		(5.7)	7.0				
461	120	131	B区　北	SD100	上層	弥生土器	甕（底部）		(5.55)	7.65				
462	120	131	B区　北端	SP2188（SD100上面）		弥生土器	甕（底部）		(3.85)	(6.0)				
463	120	131	No.11～12	SD100	上面	弥生土器	甕（底部）		(6.0)	4.4				
464	120	131	A区	SD100　南半		弥生土器	甕（底部）		(5.55)	6.55				
465	120	131	B区	SD100	上層	弥生土器	甕（底部）		(10.5)	6.1				
466	120	131	B区　北端	SD100	上層	弥生土器	壺（底部）		(7.75)	7.95				
467	120	131	B区	SD100	上・中層	弥生土器	甕（底部）		(10.1)	6.25				
468	120	132	B区	SP2313（SD100上面）		弥生土器	鉢（口縁部）	(29.7)	(7.2)					
469	120	132	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	鉢（口縁部）	(27.6)	(5.9)					
470	120	132	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	壺（体部）？				(6.9)	(7.7)		
471	120	133	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	鉢	(20.9)	(15.15)					
472	120	133	No.9＋４～10	SD100		弥生土器	鉢（口縁）	(33.7)	(7.0)					
473	120	133	B区	SD100	上層	弥生土器	壺or鉢（底部）		(6.0)	12.2				
474	120	132	No.11～12	SD100	上面	弥生土器	鉢（底部）		(6.0)	(14.2)				
475	121	132	B区　北	SD100	上層	弥生土器	高坏（坏部）	(24.4)	(6.1)					
476	121	132	No.9＋４～10	SD100	埋土	弥生土器	鉢	(27.5)	(6.8)					
477	121	132	No.9＋６～10	SD100		弥生土器	鉢	(25.8)	(8.8)	(27.0)				
478	121	132	A区	SD100　南半		弥生土器	無頸壺	(26.7)	(5.3)					
479	121	133	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	鉢	(31.3)	(12.1)					
480	121	132	A区	SD100　南半		弥生土器	鉢（口縁部）	(39.65)	(6.35)					
481	121	133	No.11～12	SD100	埋土	弥生土器	高坏（坏部）	(24.2)	(9.7)					
482	121	133	B区　南端	SD100　屈曲部	上面	弥生土器	高坏（坏部）	(22.2)	(4.35)					
483	121	133	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	鉢	(26.9)	(7.3)					
484	121	133	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	高坏？	(33.0)	(5.1)					
485	121	133	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	高坏（脚部）？		(6.5)	(6.8)				
486	121	133	B区　北端	SD100	上・中層	弥生土器	台付鉢（台部）？		(4.1)	(9.8)				
487	121	133	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	台付鉢（台部）		(4.7)	9.9				
488	121	134	B区	SD100	中層	弥生土器	高坏（脚部）		(13.5)	(15.65)				
489	121	134	B区	SD100	下層　砂礫層	弥生土器	高坏		(18.15)	10.8				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（８）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
490	122	134	B区	SD100　北部		弥生土器	高坏（脚部）		(12.65)	(15.6)				
491	122	134	B区	SD100	中層	弥生土器	台付鉢（台部）		(12.6)	14.65				
492	122	134	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	高坏（脚部）		(9.1)					
493	122	134	B区	SD100	上層	弥生土器	高坏（脚部）		(14.6)	(14.4)				
494	122	134	No.9＋４～10	SD100	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(9.6)					
495	122	134	No.10～11	SD100		弥生土器	高坏（脚部）		(9.8)	(11.45)				
496	122	135	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	高坏（脚部）		(3.8)	(17.6)				
497	122	135	No.13～15	SD100　上面		弥生土器	高坏（脚部）		(5.1)	(17.15)				
498	122	135	No.11～12	SD100	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(5.1)	(20.0)				
499	122	135	A区	SD100　北半		弥生土器	高坏（脚部）		(5.7)	(11.55)				
500	122	135	No.9＋６～10	SD100		弥生土器	台付鉢（台部）？		(4.4)	(9.8)				
501	122	135	No.11～12	SD100	埋土上部	弥生土器	高坏（脚部）		(6.6)	(15.0)				
502	122	135	No.10～11	SD100	埋土	弥生土器	甕？		(2.4)	7.7				
503	122	135	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(2.7)	(11.4)				
504	122	135	No.9～10	SD100	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(7.15)	(16.4)				
505	122	135	No.9＋４～10	SD100	埋土	弥生土器	高坏（脚部）		(7.35)	(19.6)				
506	122	136	A区	SD100　南半		弥生土器	蓋		(3.6)					
507	122	136	No.12～13	SD100	上面	弥生土器	蓋		(2.9)			つまみ径 2.3		
508	122	136	No.9＋４～10	SD100	埋土	弥生土器	蓋	(10.1)	3.1					
509	122	136	A区	SD100　南半		弥生土器	蓋	(8.6)	(1.9)					
510	122	136	B区	SD100	上層	弥生土器	蓋	(9.4)	3.0					
511	122	136	No.11～12	SD100	上面	弥生土器	蓋	(8.7)	3.3					
512	122	134	No.9＋４～10	SD100	埋土	弥生土器	分銅型土製品				(8.75)	(5.25)	1.35	
513	122	134	B区	SD100　中～南	上・中層	弥生土器	ﾐﾆﾁｭｱ壺		(5.0)	(3.3) ＊(5.0)				
514	123	136		SP073	全掘	弥生土器	高坏（脚部）？		(3.1)	(10.05)				
515	123	137		SP092		弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.0)	(2.85)					
516	123	136		SP126	全掘	弥生土器	甕（底部）		(3.7)	(7.7)				
517	123	136		SP212	全掘	弥生土器	壺（体部）？		(1.7)					
518	123	136		SP216	全掘	弥生土器	広口壺（頸部）？		(7.05)					
519	123	136		SP286	埋土	弥生土器	甕（底部）		(3.4)	(5.5)				
520	123	136		SP288	埋土	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(11.6)	(6.8)					
521	123	136		SP290		弥生土器	甕	(11.4)	(7.7)					
522	123	136		SP304		弥生土器	壺（底部）		(4.85)	(9.55)				
523	123	136		SP401	完掘	弥生土器	甕	(15.3)	(6.2)					
524	123	137		SP405	一段下げ	弥生土器	高坏		(14.8)	(11.65)				
525	123	136		SX449	上面	弥生土器	高坏（坏部）	(13.8)	(1.75)					
526	123	136		SX449	上面	弥生土器	甕（底部）		(4.3)	(6.2)				
527	123	137		SP480	全掘	弥生土器	甕（底部）		(4.6)	(6.1)				
528	123	137		SP709	一段下げ	弥生土器	甕（口縁部）	(19.5)	(5.3)					
529	123	137		SP949		弥生土器	広口壺（口縁部）		(2.45)					
530	123	137		SP949		弥生土器	広口壺（体部）？		(11.35)					
531	123	137		SP1007	全掘	弥生土器	高坏（坏部）	(18.4)	(5.9)					
532	123	137		SP1127		弥生土器	甕（底部）		(3.8)	(6.0)				
533	123	137		SP1278	一段下げ	弥生土器	台付鉢（台部）？		(3.9)					
534	123	137		SP1357		弥生土器	高坏（坏部）	(25.5)	(3.8)					
535	124	138		SP1368		弥生土器	甕（底部）		(4.0)	(7.4)				
536	124	138		SP1393	完掘	弥生土器	広口壺（口縁部）	(21.6)	(1.05)					
537	124	138		SP1409	全掘	弥生土器	広口壺（口縁部）	(27.6)	(6.7)					
538	124	138		SP1410		弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.7)	(3.5)					
539	124	138		SP1410	全掘	弥生土器	甕（口縁部）	(19.1)	(1.4)					
540	124	138		SP1415		弥生土器	甕（底部）		(7.1)	(4.8)				
541	124	137		SP1419		弥生土器	無頸壺	(12.6)	(25.7)	(7.8)				
542	124	137		SP1419		弥生土器	甕（口縁部）	(12.0)	(4.2)					
543	124	137		SP1419		弥生土器	甕（底部）		(4.6)	(5.8)				
544	124	138		SK1420		弥生土器	甕（底部）		(3.25)	5.1				
545	124	138	A区	SP2002	全掘	弥生土器	甕（口縁部）	(16.6)	3.15					
546	124	138	A区	SP2017	全掘	弥生土器	甕（口縁部）	(22.8)	(4.75)					
547	124	138	A区	SP2021		弥生土器	甕（底部）		(6.55)	(7.75)				
548	124	138	A区	SP2029		弥生土器	甕（底部）		(4.9)	(6.4)				
549	124	138	A区	SP2038		弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.6)	(1.95)					
550	124	138	A区	SP2047	掘方	弥生土器	壺（底部）		(3.95)	(11.0)				
551	124	138	A区	SP2051	柱痕	弥生土器	高坏（坏部）	(22.85)	(4.5)					
552	124	138	B区	SP2132	柱痕	弥生土器	甕（底部）		(2.6)	5.7				
553	125	139		SH016		弥生土器	甕	(20.7)	(9.75)					
554	125	139		SH319　南畔	１層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.4)	(1.8)					
555	125	139		SH319　４区	検出面～－５cm	弥生土器	鉢（口縁部）	(27.9)	(5.35)					
556	125	139		SH319　４区	二段目　精査	弥生土器	鉢（口縁部）	(28.8)	(2.7)	＊(29.9)				
557	125	139		SH319　南畔	１層	弥生土器	高坏（脚部）		(3.1)	(16.0)				
558	125	139		SH319　北畔	２層	弥生土器	蓋（つまみ部）		(2.6)			つまみ径 2.8		
559	125	139		SH910		弥生土器	広口壺	(8.55)	(15.1)	5.5 ＊(15.4)				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（９）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
560	125	139		SH910		弥生土器	壺		(23.1)	＊(40.3)				
561	125	139		SH910		弥生土器	蓋	(9.0)	3.0					
562	125	139		SH910		弥生土器	鉢	23.4	15.3	8.4				
563	125	140		SH910内焼土 (北西)	１層直上	弥生土器	台付鉢	(22.0)	(15.3)	9.35 ＊(20.6)				
564	125	139		SH1088	下層	弥生土器	甕（底部）		(2.45)	(6.1)				
565	126	140		SH1105　１区		弥生土器	甕（口縁部）	(12.7)	(2.9)					
566	126	140		SH1105　１区		弥生土器	鉢（口縁部）	(20.1)	(4.4)					
567	126	140		SH1105　２区	床面精査	弥生土器	鉢	(27.3)	(8.0)					
568	126	140		SH1105　１区		弥生土器	高坏（脚部）		(5.9)	(12.6)				
569	126	140	A区	SP2057	１段下げ	弥生土器	広口壺（頸部）？		(6.5)					
570	126	140	A区	SH2033　２区北東隅	床面敷土	弥生土器	広口壺	(20.7)	(18.55)					
571	126	140	A区	SH2033　２区	床面整地層	弥生土器	甕	(15.8)	(5.35)					
572	126	140	A区	SH2033　２区	床面整地層	弥生土器	甕	(18.8)	(6.45)					
573	126	140	A区	SH2033　２区	床面整地層	弥生土器	甕（底部）？		(4.2)	(6.6)				
574	126	140	A区	SH2033　１区	検出面～床面	弥生土器	高坏（脚部）？		(4.15)	(14.4)				
575	126	140	A区	SH2033　２・３区間畦		弥生土器	紡錘車(甕転用？)			孔径0.7	4.45	4.6	1.45	
576	126	140		SX1004　１区		弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.0)	(6.7)					
577	126	140		SX1004　２区		弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.0)	(6.1)					
578	126	141		SX1004　４区		弥生土器	甕（口縁部）	(14.4)	(5.15)					
579	126	141		SX1004　４区		弥生土器	甕	(21.65)	(4.8)					
580	126	141		SX1004　２区		弥生土器	ミニチュア土器 (底部)		(2.5)	3.65				
581	126	141		SX1004　４区		弥生土器	甕（底部）		(5.0)	(5.9)				
582	126	141		SX1004　４区		弥生土器	壺（底部）		(5.8)	(13.8)				
583	127	141	A区	SX2001　北半		弥生土器	壺（体部）				(3.8)	(4.3)	0.5	
584	127	141	A区	SK2055　西半	上面付近	弥生土器	台付鉢（台部）		(13.8)	(12.4)				
585	127	141	B区	SK2459　南半		弥生土器	広口壺(口縁部)？	(6.8)	(1.8)					
586	127	141	B区	SK2459　南半		弥生土器	壺（底部）		(8.1)	(11.7)				
587	127	141		SD441･442　西半	黄灰色砂	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(16.7)	(6.3)					
588	127	141		SP208	一段下げ	弥生土器	高坏（脚部）		(2.5)	(16.5)				
589	127	141		SP150	全掘	弥生土器	甕（底部）		(3.4)	(5.3)				
590	127	141		SP153	全掘	弥生土器	甕（底部）		(2.65)	(6.1)				
591	127	141		SP217	全掘	弥生土器	壺（底部）		(3.2)	(9.2)				
592	127	141		SP225		弥生土器	壺（底部）		(3.75)	5.95				
593	127	141		SP380		弥生土器	甕（底部）		(11.0)	8.4				
594	127	141		SP361		弥生土器	台付鉢（台部）？		(5.35)	(10.2)				
595	127	141		SP556	一段下げ	弥生土器	壺（体部）		(2.4)					
596	127	142		SP747	全掘	弥生土器	甕（口縁部）	(32.4)	(4.3)					
597	127	142		SP749	全掘	弥生土器	広口壺（口縁部）	(27.8)	(4.4)					
598	127	142		SP892	全掘	弥生土器	壺（底部）		(7.1)	(10.4)				
599	127	142		SP917	全掘	弥生土器	壺（底部）		(6.9)	(12.0)				
600	127	142		SP948		弥生土器	壺（体部）				(3.35)	(2.75)	0.4	
601	127	142		SP1108		弥生土器	甕（底部）		(6.3)	(7.3)				
602	127	142		SP1431	一段下げ	弥生土器	鉢（口縁部）？	(13.25)	(4.3)					
603	127	142		SP1522	全掘	弥生土器	広口壺（口縁部）	(18.1)	(2.1)					
604	127	142		SP917	全掘	弥生土器	台付鉢（台部）？		(2.1)	(12.2)				
605	127	142		SP1140	全掘	弥生土器	甕（底部）		(3.5)	(6.1)				
606	127	142		SP1601	全掘	弥生土器	広口壺（口縁部）	(25.2)	(3.0)					
607	127	142		SP1601		弥生土器	壺（底部）		(7.8)	(9.5)				
608	127	142		SP1607		弥生土器	広口壺（口縁部）	(15.8)	(5.65)					
609	128	143	B区　南端　トレンチ			弥生土器	広口壺	(14.8)	(9.2)					
610	128	143	A区	SD2042	下層	弥生土器	広口壺（口縁部）		(19.1)					
611	128	144	No.14～15北側		精査面	弥生土器	広口壺（口縁部）	(16.7)	(2.15)					
612	128	143	B区　北東		包含層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(17.2)	(5.7)					
613	128	144	B区　南東		黒褐色シルト	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(16.3)	(10.55)					
614	128	144	No.11～12		３～４層	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(11.05)	(10.6)					
615	128	143	No.7～８		調査区西側側溝	弥生土器	受口壺（口縁部）	(25.5)	(9.6)					
616	128	144	No.7～９東半～中央		精査面	弥生土器	短頸壺（口縁部）	(13.7)	(6.75)					
617	128	143	B区　北東		包含層	弥生土器	無頸壺（体部）？		(19.65)	＊(36.8)				
618	128	144			精査面	弥生土器	壺（底部）		(6.4)	(7.0)				
619	128	143	B区　南端　トレンチ			弥生土器	壺（底部）		(10.3)	9.2				
620	129	144	No.８～９		精査面	弥生土器	広口壺（口縁部）	(41.0)	(6.85)					
621	129	144	No.12～13		精査面	弥生土器	甕（口縁部）	(22.8)	(6.7)					
622	129	144	No.11～12		３～４層	弥生土器	甕（口縁部）	(24.2)	(3.5)					
623	129	144	No.５～６		面精査	弥生土器	甕（口縁部）	(33.0)	(3.8)					
624	129	144	B区		精査面	弥生土器	甕	(31.15)	(8.9)					
625	129	144	B区　北東		包含層	弥生土器	甕（口縁部）	(30.9)	(5.65)					
626	129	144	No.９+６～９		３～４層	弥生土器	甕（口縁部）	(15.4)	(4.7)					
627	129	144	B区　中央東		下面	弥生土器	甕（口縁部）	(24.2)	(6.6)					
628	129	145	No.５～６		東側溝	弥生土器	甕	(14.2)	(20.5)	(5.5) ＊(16.2)				
629	129	145	No.５(０)～(10)		サブトレ	弥生土器	甕（底部）		(4.3)	6.85				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（10）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
630	129	145	No.5～6		精査面	弥生土器	甕（底部）		(7.5)	6.4				
631	129	145	No.4～5＋5		包含層	弥生土器	甕（底部）		(6.4)	8.0				
632	129	145	No.5～6　西部		精査面	弥生土器	蓋	(6.7)	3.15					
633	129	145	A区		撹乱土	弥生土器	蓋	(10.7)	(3.0)					
634	129	145	B区　南西		褐色中砂	弥生土器	蓋	(8.4)	4.5					
635	129	145	No.15～16＋8		3～4層	弥生土器	蓋	9.3	(2.25)					
636	130	146	No.12ライン 東西トレンチ			弥生土器	把手付鉢	(30.35)	(8.5)					
637	130	146	No.15～16＋8		精査面	弥生土器	鉢	(29.7)	(6.1)					
638	130	146	調査区　北辺			弥生土器	甕	(18.9)	(7.7)	＊(18.4)				
639	130	146	No.5	南壁東西トレンチ		弥生土器	鉢	(17.9)	14.6	(10.0)				
640	130	146	B区　北西隅			弥生土器	高坏（坏部）	(28.1)	(6.8)					
641	130	146	B区　北東		包含層　下面	弥生土器	高坏（坏部）	(28.4)	(3.2)					
642	130	146	No.13･14間		包含層（暗褐色砂）	弥生土器	高坏（坏部）？		(6.75)					
643	130	146	B区			弥生土器	無頸壺（台部）？		(10.3)	13.6				
644	130	146	B区			弥生土器	台付鉢（台部）		(6.4)	(9.1)				
645	130	147	B区	大撹乱部東壁	暗褐色シルト	弥生土器	高坏（脚部）？		(5.7)	10.4				
646	130	147	No.11･12間東半		包含層（暗褐色砂）	弥生土器	高坏（脚部）		(14.75)	(18.2)				
647	130	147	B区　南端	水田面	包含層	弥生土器	広口壺（口縁部）	(12.3)	(3.4)					
648	130	147	B区　南西部		水田土壌内	弥生土器	壺（体部）		(4.6)					
649	130	147	B区　南端	水田面	包含層	弥生土器	壺（体部）		(3.7)					
650	130	147	B区　南西部		水田土壌内	弥生土器	甕（口縁部）	(15.0)	(1.9)					
651	130	147	B区　南端	水田面	包含層	弥生土器	甕（口縁部）	(17.6)	(4.5)					
652	130	147	B区　南端	水田面	包含層	弥生土器	壺（底部）		(3.9)	(11.0)				
653	130	147	B区　南端	水田面	包含層	弥生土器	甕（底部）		(1.7)	(6.5)				
654	130	147	B区　南端	水田面	包含層	弥生土器	甕（底部）		(3.7)	(6.0)				
655	130	147	B区　南西部		水田土壌内	弥生土器	壺（底部）		(2.8)	(5.9)				
656	131	148		SH016　4区	検出面－5 cm まで暗褐色砂	須恵器	坏蓋		(2.25)					
657	131	148		SH016　1区	検出面－10cm まで暗褐色砂	土師器	甕（口縁部）	(12.85)	(2.7)					
658	131	149		SH016　3区	床面	土師器	小壺	6.1	7.5	4.1 ＊7.65				
659	131	148		SH016		土師器	高坏（脚部）		(6.3)	(7.4)				
660	131	148		SH016　3区		土師器	高坏（脚部）		(3.05)					
661	131	148		SP018（SH016）	一段下げ	土師器	高坏（脚部）		(2.45)	(8.95)				
662	131	148		SK026（SH016）	埋土	土師器	高坏（脚部）		(7.4)	(10.4)				
663	131	149		SH047　4区		須恵器	坏蓋	(11.0)	4.2					
664	131	148		SH047　4区	床面精査	須恵器	坏蓋	(10.3)	(3.6)					
665	131	148		SH047　1区	段下げ2回目 検出面～－5㎝	須恵器	坏蓋	(10.9)	(3.3)					
666	131	148		SH047　4区	二段下げ～床面	須恵器	坏蓋	(4.5)	(3.65)					
667	131	149		SH047　4区		須恵器	坏身	(11.0)	5.1					
668	131	148		SH047　4区		須恵器	坏身	(11.9)	(3.3)					
669	131	148		SH047　4区	二段下げ	須恵器	坏身		(2.2)					
670	131	148		SH047　1区	二段下げ～床面	土師器	高坏（坏部）		(1.9)					
671	131	148		SH047　1区	二段下げ～床面	土師器	甑（把手部）							
672	131	148		SH055　3区	検出面－5㎝～床面	土師器	壺（口縁部）	(10.65)	(3.95)					
673	131	148		SH055　西畔	2層	土師器	甕（口縁部）	(18.15)	(4.7)					
674	131	149		SP671		土師器	甕	15.5	(19.7)	＊21.9				
675	131	149		SH055　3区	検出面～－5㎝	土師器	片口鉢	(28.1)	(8.5)					
676	131	149		SH055		土師器	甕	(26.8)	(16.35)	＊(25.0)				
677	131	148		SH055　3区	検出面～－5㎝	土師器	鍋？		(5.8)					
678	131	148		SH055	検出面	土師器	不明				(5.65)	(5.5)	0.75	
679	132	149		SH055		土師器	甑	(27.6)	(20.35)					
680	132	150		SH055　4区	検出面－5 cm ～床面	土師器	高坏（坏部）		(3.45)					
681	132	150		SH055		土師器	高坏（脚部）		(4.1)					
682	132	150		SH055　2区	検出面～－5㎝	土師器	高坏（脚部）		(2.2)	(13.8)				
683	132	149		SP051		土師器	高坏（脚部）		(7.15)	(10.3)				
684	132	150		SH055　3区	検出面～－5㎝	土師器	高坏（脚部）		(6.6)					
685	132	150		SH319　4区	検出面～－5㎝	須恵器	坏蓋	(12.5)	(3.8)					
686	132	150		SH319　1区	一段下げ	須恵器	壺（口縁部）	(19.8)	(2.35)					
687	132	150		SH319　4区	検出面～－5㎝	須恵器	壺（体部）		(4.15)	＊(17.7)				
688	132	150		SH319　2区	一段下げ	土師器	高坏（脚部）		(3.45)					
689	132	150		SX697（SH326内）		土師器	甕（口縁部）	(16.6)	(5.05)					
690	132	149		SH326　1区		土師器	甕	15.4	(28.75)	＊(31.4)				
691	132	150		SX697（SH326内）		土師器	甕（底部）？		(4.5)					
692	132	150		SH326　4区	－5㎝～床面	土師器	鉢or壺（底部）		(3.2)	(5.0)				
693	132	150		SH326　3区	－5㎝～床面	土師器	高坏（坏部）	(12.65)	(4.35)					
694	132	150		SX697（SH326内）		土師器	高坏（坏部）	(15.5)	(4.4)					
695	132	150		SH326　3区	－5㎝～床面	土師器	高坏（坏部）		(2.1)					
696	132	150		SH326　3区	－5㎝～床面	土師器	高坏（脚部）		(5.85)					
697	132	149		SX697（SH326内）		土師器	高坏（脚部）		(7.2)	(10.2)				
698	133	151		SH438		土師器	壺	9.4	13.85	丸底 ＊14.5				
699	133	151		SH438		土師器	甕		(17.8)	丸底				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（11）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
700	133	151		SH438		土師器	高坏（坏部）	13.9	(4.95)					
701	133	151		SH438		土師器	甑（把手部）							
702	133	151		SH438		土師器	甕		(27.8) ＊(25.6)					
703	133	151		SH800　4区	二段下げ	須恵器	坏蓋	(11.8)	4.0					
704	133	151		SH800　3区	検出面～一段下げ	須恵器	坏蓋	(12.5)	(4.0)					
705	133	151		SH800　3区		須恵器	坏蓋	(12.9)	(5.0)					
706	133	151		SH800　3区	床面	須恵器	坏蓋		(2.9)					
707	133	151		SH800　2区	二段下げ	須恵器	坏蓋	(12.9)	(3.1)					
708	133	151		SH800　3区		須恵器	坏身	(11.4)	(4.45)					
709	133	151		SH800　3区	床面	須恵器	壺？	(16.7)	(2.7)					
710	133	151		SH800　1区	検出面～一段下げ	須恵器	高坏（坏部）	(17.9)	(5.55)					
711	133	152		SH800　3区		須恵器	高坏（坏部）	(16.3)	(6.8)					
712	133	152		SH800　3区	床面	土師器	壺		(9.0) ＊(14.4)					
713	133	152		SH800　3区		土師器	甕（口縁部）	(18.8)	(7.0)					
714	133	152		SH800　3区		土師器	甕（口縁部）	(19.1)	(4.6)					
715	133	152		SH800　4区	一段下げ	土師器	甕	(18.7)	(5.9)					
716	134	152		SH800　3区		土師器	甕	(17.45)	(13.7) ＊(18.2)					
717	134	152		SH800　4区	二段下げ	土師器	甕（口縁部）	(15.65)	(4.5)					
718	134	152		SH804　東西畔？	1層	土師器	壺（頸部）		(4.95)					
719	134	152		SH800	面精査	土師器	甑		(2.15)					
720	134	152		SH800	床面	土師器	器種検討	(20.4)	(17.6) ＊(24.0)					
721	134	152		SH800	面精査	土師器	甑	(24.2)	(8.7)					
722	134	152		SH800　1区	床面	土師器	高坏	(15.7)	(3.95)					
723	134	152		SH800　4区	一段下げ	土師器	高坏		(6.1)					
724	134	153		SH804　北半		土師器	甕	(14.1)	(7.4)					
725	134	153		SH804　北半		土師器	甕	(17.3)	(7.2)					
726	134	153		SK1066	全掘	土師器	甕	(18.2)	(9.3)					
727	134	153		SH804　北半		土師器	甑	(21.3)	(6.8)					
728	134	153		SH804　北半		土師器	高坏（坏部）	(17.3)	(5.2)					
729	134	153		SK1066	全掘	土師器	高坏（坏部）	(16.8)	(4.7)					
730	134	153		SH804　北半		土師器	高坏	(13.4)	11.05	(10.2)				
731	134	153		SH804　南半		土師器	ミニチュア壺 (口縁部)	(4.6)	2.0					
732	134	153		SH804　北半		土製品	土錘			孔径(0.2)	(4.15)	1.45	(0.9)	4.4
733	134	153		SH804　北半		土師器	高坏（脚部）		(5.2)					
734	135	153		SH880	1層	須恵器	高坏蓋	(13.5)	(5.75)					
735	135	154		SH880	1層	須恵器	坏蓋	(13.65)	(4.0)					
736	135	154		SH880　側溝際北半	2層～床面	須恵器	甕	(21.4)	(3.4)					
737	135	154		SH880	1層	須恵器	器台		(5.6)					
738	135	153		SH880	床面	土師器	高坏（坏部）	16.05	(4.9)					
739	135	154		SH880　側溝際南半	2層～床面	土師器	高坏（坏部）	(13.5)	(4.6)					
740	135	154		SH880	1層	土師器	高坏（脚部）		(8.2)					
741	135	154		SH880　側溝際南半	2層～床面	土師器	高坏（脚部）		(6.75)	10.0				
742	135	154		SH880	2層	土師器	高坏（坏部）		(2.2)					
743	135	154		SH880	1層	土師器	高坏（坏部）		(1.9)					
744	135	154		SH880	面精査	土師器	高坏（坏部）		(1.3)					
745	135	154		SH880	1層	土師器	高坏（脚部）		(6.8)					
746	135	154		SH880	2層	土師器	高坏（脚部）		(5.2)					
747	135	154		SH880	1層	土師器	高坏（坏部）		(2.6)					
748	135	154		SH880	2層	土師器	高坏（坏部）		(2.2)					
749	135	154		SH880	1層	土師器	高坏（脚部）		(5.2)	10.0				
750	135	154		SH880	1層	土師器	高坏（脚部）		(5.5)	10.1				
751	135	154		SH880	2層	土師器	高坏（脚部）		(1.6)	(11.0)				
752	135	155		SH910		須恵器	坏身	10.75	4.7	9.5				
753	135	154		SH910　3区	二段下げ	須恵器	壺（口縁部）	(16.3)	(4.1)					
754	135	154		SH910　3・4区間畔	1層	土師器	椀	(11.8)	(3.45)					
755	135	155		SH910		土師器	椀	11.4	5.45					
756	135	155		SH910		土師器	椀	(11.2)	4.6					
757	135	154		SH910　3区	検出面～一段下げ	韓式系土器	甕？				(4.8)			
758	136	155		SH910		土師器	壺	(10.0)	(16.25)	丸底 ＊16.0				
759	136	155		SH910　3区	－5cmまで	土師器	甕	(12.2)	(14.1)	＊(14.45)				
760	136	155		SH910　3区		土師器	甕	(14.7)	17.7	＊(17.95)				
761	136	155		SH910　3区		土師器	甕	(17.5)	(11.5)					
762	136	156		SH910		土師器	甕	(21.1)	(10.05)					
763	136	155		SH910		土師器	甕	15.5	(19.2)	＊(25.0)				
764	136	155		SH910　3区	床面	土師器	甕	(23.6)	(10.7)	＊(26.6)				
765	136	155		SH910		土師器	高坏	13.1	(9.0)					
766	136	156		SH910　1・4区間畔	1層	土師器	高坏（坏部）		(2.9)					
767	136	156		SH910　1区		土師器	高坏（脚部）		(5.95)					
768	136	156		SH910　3区	床面	土師器	高坏（坏部）		(2.7)					
769	136	156		SH910　3区		土師器	高坏（坏部）		(1.6)					

第13表　掲載遺物一覧　土器類（12）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
770	136	155		SH910		土師器	ミニチュア高坏	2.7	2.6	2.9				
771	137	156		SH910　3区		土師器	甑	(25.8)	(21.6)	(8.8)		把手含(34.8)		
772	137	156		SH910　3区		土師器	甑	(26.7)	(23.85)	(11.6)		把手含(35.4)		
773	137	156		SP915	全掘	土師器	甑（把手部）							
774	138	157		SK820	2層	須恵器	甕（口縁部）	(24.9)	(4.2)					
775	138	157		SH955　2区	床面	土師器	甕（口縁部）	(17.0)	(4.2)					
776	138	157		SH955　2区	床面	土師器	高坏（坏部）		(2.1)					
777	138	157		SH955　4区		土師器	高坏（坏部）		(2.9)					
778	138	157		SH955		土師器	竈				(10.8)	(3.4)	1.4	
779	138	157		SH958　3区	検出面～一段下げ	土師器	甕（口縁部）	(17.1)	(3.05)					
780	138	157		SH958　2区	床面	土師器	甕（片口）	(21.8)	(28.1)	＊(24.2)				
781	138	157		SH958　3区	検出面～一段下げ	土師器	製塩土器	(4.8)	(4.55)	＊(5.5)				
782	138	157		SH958　1区	検出面～一段下げ	土師器	甑（把手部）							
783	138	157		SP984（SH958）		土師器	高坏（坏部）	(20.3)	(6.15)					
784	138	157		SH958　1～2区間畔		土師器	高坏（坏部）	(13.2)	(3.8)					
785	138	157		SP984（SH958）		土師器	高坏（坏部）	(15.8)	(3.65)					
786	138	157		SH958　2区	検出面～一段下げ	土師器	高坏（坏部）	(15.65)	(5.35)					
787	138	157		SH958　3区	二段下げ	土師器	高坏（脚部）		(2.45)	(10.55)				
788	138	158		SH974　3区	検出面～一段下げ	土師器	甕（口縁部）	(11.4)	(3.9)	＊(10.5)				
789	138	158		SP980	一段下げ	土師器	甕（口縁部）	(15.8)	(4.9)					
790	138	158		SH974　3区	床面	土師器	甕（口縁部）	(20.6)	(4.45)					
791	138	157		SH974　1・2区間	床面	土師器	鉢	8.0	(4.35)	7.2				
792	138	158		SP981	全掘	土師器	高坏（脚部）		(7.25)	(10.0)				
793	138	158		SH974　2区	二段下げ～床面	土師器	高坏（脚部）		(7.9)	(10.4)				
794	139	158		SH974　2区	検出面～一段下げ	須恵器	器台（口縁部）	(36.6)	(14.0)					
795	139	158		SH974　3区	検出面～一段下げ	須恵器	器台（台部）		(9.7)					
796	139	159		SH1043		須恵器	甕（体部）		(12.8)	丸底 ＊17.9				
797	139	158		SH1043　竈	上面清掃	韓式土器	壺（体部）							
798	139	158		SH1043	床面	土師器	製塩土器		(8.1)	＊(5.1)				
799	139	159		SH1043		土師器	甕	(16.4)	(8.2)					
800	139	159		SH1043	焼土内	土師器	鉢	6.8	5.6	2.95				
801	139	159		SH1043		土師器	甕	(10.8)	10.85	丸底 ＊(11.0)				
802	139	159		SH1043	焼土内	土師器	甑	26.7	(16.0)					
803	139	158		SH1043　3区	床面	土師器？	甑（口縁部）	(21.1)	(7.3)					
804	139	158		SH1043		土師器	甑（底部）		(7.15)	(5.0)				
805	140	158		SH1088　1区	－5㎝～床面	須恵器	坏身		(2.95)					
806	140	158		SH1088	南北畔	須恵器	甕（体部）				(8.15)	(7.35)	0.65	
807	140	158		SH1088　1区	検出面～－5㎝	須恵器	甕（体部）				(9.95)	(6.7)	0.75	
808	140	158		SH1088		土師器	甕	(15.0)	(15.4)	＊(22.8)				
809	140	158		SH1088		土師器	椀	(11.7)	4.0					
810	140	158		SH1088		土師器	椀	(14.8)	(1.9)					
811	140	158		SH1088　2区	－5㎝～床面	土師器	紡錘車			孔径0.5	3.4	3.2	0.65	
812	140	158		SH1088　2区	－5㎝～床面	土師器	高坏（坏部）		(2.5)					
813	140	158		SH1088　2区	検出面～－5㎝	土師器	高坏（坏部）		(2.1)					
814	140	158		SH1088　2区	検出面～－5㎝	土師器	高坏（脚部）		(4.35)					
815	140	158		SP1112（SH1088）	一段下げ	土師器	高坏（脚部）		(4.4)					
816	140	158		SH1088　3区	－5㎝～床面	土師器	甑（口縁部）	(29.1)	(5.3)					
817	140	160		SP495（SH1105内）	一段下げ	土師器	高坏（坏部）	(15.8)	(4.3)					
818	140	160		SH1105　4区		土師器	高坏（坏部）	(25.2)	(6.55)					
819	140	160		SP509（SH1105）		土師器	高坏（脚部）		(6.3)					
820	140	160		SH1105　3区		土師器	高坏（脚部）		(7.3)					
821	140	160		SH1105　4区		土師器	高坏（脚部）		(7.05)					
822	140	160		SH1105　4区		土師器	高坏（脚部）		(3.0)	(14.0)				
823	140	160		SP509（SH1105）	半截	土師器	甕（口縁部）	(11.65)	(5.2)					
824	140	160		SP554（SH1245）	一段下げ	土師器	甑	(30.4)	(3.9)					
825	140	160		SH1245　2区		土師器	高坏（坏部）		(2.25)					
826	140	160		SP557（SH1245内）		土師器	高坏（脚部）		(8.85)					
827	140	160		SP551（SH1245内）		土師器	高坏（坏部）		(2.35)					
828	141	161		SP1296（SH1247内）		須恵器	坏蓋	(13.0)	(3.65)					
829	141	161		SH1247　4区		須恵器	高坏	(17.5)	(11.7)	12.0				
830	141	161		SH1247　4区		土師器	甕（底部）		(6.8)					
831	141	161		SH1247　3区	検出面～－5㎝	土師器	高坏（口縁部）	(13.8)	(2.3)					
832	141	161		SH1247　4区	検出面～－5㎝	土師器	甕（口縁部）	(19.0)	(5.75)					
833	141	161		SH1247　4区		土師器	甕（口縁部）	17.25	(4.5)					
834	141	161		SH1247　1・4区間畔	畔	土師器	甕（口縁部）	(17.7)	(5.1)					
835	141	161		SH1247　2区	－5㎝～床面まで	土師器	高坏（坏部）	(13.7)	(3.35)					
836	141	161		SP1645（SH1247）		土師器	高坏（脚部）		(6.05)	(10.1)				
837	141	161		SP1363（SH1247内）		土師器	製塩土器	(5.3)	(3.7)					
838	141	162		SH1268　周辺	精査面	須恵器	坏蓋	(11.9)	(1.8)					
839	141	162		SP1223（SH1268内）	全掘	須恵器	高坏（脚部）		(3.3)	(10.2)				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（13）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
840	141	162		SH1268		土師器	甑	(24.0)	(3.7)					
841	141	161		SK1200（SH1268）		土師器	高坏（坏部）	(17.1)	(6.3)					
842	141	161		SK1200（SH1268）		土師器	高坏（坏部）	14.05	(5.3)					
843	141	161		SK1200（SH1268）		土師器	高坏	(14.8)	12.4	(9.9)				
844	141	162		SH1268　2区		土師器	高坏（坏部）	(13.1)	(3.25)	(9.5)				
845	141	162		SH1268　2区		土師器	高坏（脚部）		(2.2)	(9.3)				
846	141	162		SH1289　3区		須恵器	高坏（脚部）		(4.6)	(9.35)				
847	141	162		SH1289　4区		土師器	甑（把手部）							
848	141	162		SH1289　北畦		土師器	高坏（脚部）		(1.55)	(10.0)				
849	141	161		SH1302　3区		須恵器	高坏蓋	12.8	5.6			つまみ径 3.6		
850	141	162		SH1302　2区		須恵器	高坏（脚部）		(5.1)	(9.35)				
851	141	162		SH1302　1区		須恵器	高坏（脚部）		(5.2)	(8.0)				
852	142	162		SH1302　3区		弥生土器	甕or鉢	(15.4)	(8.15)	＊(15.4)				
853	142	162		SH1302　1区		土師器	甑（把手部）					6.25		
854	142	162		SH1302　1区		土師器	高坏（脚部）		(6.55)					
855	142	162		SH1302	床面	土師器	甑	(26.0)	(9.25)					
856	142	163		SH1422　1区	検出面～－5㎝	須恵器	坏蓋	(14.1)	(3.5)					
857	142	162		SH1422　3区	床面	須恵器	坏身	(12.4)	(5.0)					
858	142	162		SH1422		須恵器	坏身	14.5	4.9					
859	142	163		SH1422	床面	土師器	羽釜		(29.0)	＊(21.9)		鍔径 25.2		
860	142	163		SH1422	床面	土師器	高坏（坏部）	(13.8)	(5.0)					
861	142	163		SH1422	床面	土師器	高坏（坏部）	(14.6)	(5.0)					
862	142	163		SH1422　2区	検出面～－5㎝	須恵器	高坏（坏部）		(2.35)					
863	142	163		SH1422（SX272）		土師器	甑		(14.7)	(8.8)				
864	143	163		SH1423　2区	床面	須恵器	坏蓋	(12.35)	4.0					
865	143	164		SP1456（SH1423）	一段下げ	須恵器	提瓶？	(9.95)	(3.5)					
866	143	164		SH1423　3区		須恵器	甕（口縁部）		(2.9)					
867	143	164		SH1423　3区	床面	須恵器	甕（体部）		(16.5)					
868	143	164		SH1423　4区	検出面～－10㎝	土師器	壺	(12.3)	(4.4)					
869	143	163		SH1423		土師器	鍋or甑	(39.2)	(8.65)					
870	143	163		SH1423		土師器	甕	(18.3)	(7.65)					
871	143	164		SH1423　3区	床面	土師器	甕	(15.6)	(14.2)	＊(21.6)				
872	143	164		SH1423　1～2区	床面埋土	土師器	甑（把手部）					(6.1)		
873	143	164		SH1423　3区	検出面～－5㎝	土師器	高坏（坏部）		(3.1)					
874	143	164		SH1423　3区	床面	土師器	高坏（脚部）		(7.4)	(10.2)				
875	143	164		SH1424　1区	埋土	須恵器	甕	(9.15)	(14.8)	＊(17.4)				
876	143	164		SH1422～1424	上面精査	土師器	椀	(11.0)	(3.4)					
877	143	164	A区	SK2055（SH2033内）		土師器	壺	9.45	13.3	丸底 ＊14.2				
878	143	164	A区	SK2055（SH2033内）		土師器	高坏（坏部）	(16.1)	(4.7)					
879	144	165	B区	SH2148		土師器	甕（口縁部）	(22.8)	(4.2)					
880	144	164	B区	SH2148		土師器	甕	(13.3)	(21.85)					
881	144	165	B区	SH2148		土師器	高坏（脚部）		(5.85)					
882	144	165	B区	SH2148　3区	床面	土師器	高坏（脚部）		(7.3)					
883	144	165	B区	SH2148　2区		土師器	高坏（脚部）		(6.0)					
884	144	165	B区	SH2148　1区		土師器	高坏（脚部）		(7.4)					
885	144	165	B区	SH2148		土師器	高坏（脚部）		(10.15)					
886	144	165		SP1205　(SB13)	一段下げ	土師器	椀	(11.9)	(3.9)					
887	144	165		SP556　(SB13)		土師器	高坏（坏部）	(13.7)	(3.8)					
888	144	165		SP556　(SB13)		土師器	高坏（脚部）		(2.8)	(10.6)				
889	144	165		SP1044　(SB13)		土師器	甑（把手部）					(11.7)	0.65	
890	144	165		SP1208　(SB13)		土師器	甑（把手部）							
891	144	166		SK021	一段下げ	土師器	高坏（脚部）		(6.45)					
892	144	166		SK029		土師器	甕	(17.0)	(14.95)					
893	144	166		SK029		土師器	鉢？	(5.5)	3.7					
894	144	166		SK029		土師器	高坏（坏部）？	(10.8)	(3.25)					
895	144	166		SK029		土師器	椀	(10.9)	4.55					
896	144	166		SK029		土師器	甑（把手部）							
897	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）	(14.1)	(3.3)					
898	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）	(14.8)	(3.45)					
899	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）	(14.8)	(2.55)					
900	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）	(15.7)	(3.0)					
901	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）	(15.4)	(3.3)					
902	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）	(14.5)	(3.15)					
903	145	166		SK029		土師器	高坏（坏部）		(1.95)					
904	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(6.3)	(9.8)				
905	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(7.2)					
906	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(5.85)					
907	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(5.3)					
908	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(7.0)	(10.2)				
909	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(1.9)	(14.0)				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（14）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
910	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(1.7)	(11.4)				
911	145	166		SK029		土師器	高坏（脚部）		(3.2)	(10.0)				
912	145	167		SK664		須恵器	甕		(11.5)					
913	145	167		SK664　西半		須恵器	器台		(5.15)					
914	145	167		SK664		土師器	甑（把手部）							
915	145	167		SK664　東半		土師器	甕（口縁部）	(15.8)	(2.75)					
916	145	167		SK664		土師器	甕（口縁部）	(15.8)	(4.15)					
917	145	167		SK664		土師器	甕（口縁部）	(13.65)	(7.95)					
918	145	167		SK664		土師器	高坏	(15.4)	(10.4)	(11.1)				
919	145	167		SK664		土師器	高坏	(15.0)	(9.8)	10.7				
920	145	167		SK664		土師器	高坏		(7.6)					
921	145	167		SK664		土師器	高坏（脚部）		(5.7)					
922	145	167		SK664		土師器	高坏（脚部）		(5.1)	(9.25)				
923	145	167		SK664　西半	検出面～－5cm 暗褐砂	土師器	高坏（脚部）		(1.95)	(10.4)				
924	145	167		SK664		土師器	高坏（脚部）		(4.55)	(9.7)				
925	146	168		SK687　南半	暗褐砂	土師器	高坏（坏部）		(2.1)					
926	146	168		SK693		土師器	高坏（坏部）	(14.6)	(5.4)					
927	146	168		SK693		土師器	高坏（脚部）		(2.55)	(9.8)				
928	146	168		SK845　東半		土師器	高坏（坏部）	(13.3)	(4.85)					
929	146	168		SK990		須恵器	把手付き椀	(6.2)	6.0	(5.6) ＊(7.5)				
930	146	169		SK990		須恵器	壺（口縁部）	(21.2)	(6.2)					
931	146	169		SK990		土師器	高坏（坏部）	(13.5)	(5.1)					
932	146	168		SK990		土師器	高坏（坏部）	(14.1)	(5.6)					
933	146	168		SK990		土師器	高坏	(13.0)	10.85	(9.9)				
934	146	168		SK990		土師器	高坏（脚部）		(5.8)	(10.7)				
935	146	168		SK990		土師器	高坏（脚部）		(5.4)	10.05				
936	146	169		SK990		土師器	高坏（脚部）		(2.2)	(10.4)				
937	146	169		SH319　4区	二段下げ	土師器	高坏（坏部）		(2.1)					
938	146	169		SK990		土師器	高坏（坏部）	(19.8)	(6.1)					
939	146	168		SK990		土師器	高坏（脚部）		(9.15)	(13.85)				
940	146	169		SK1066　北半		土師器	高坏（坏部）	(21.1)	(6.6)					
941	146	169		SK1230		須恵器	高坏	10.4	9.75	8.75				
942	146	169		SK1230		須恵器	高坏（脚部）		(6.5)	9.7				
943	146	169		SK1230	上半	須恵器	甕（体部）		(11.2)					
944	146	169		SK1230		土師器	甕	(17.7)	(7.8)	＊(19.2)				
945	147	170		SK1248	一段下げ	土師器	高坏（脚部）		(4.6)					
946	147	170		SK1268	上部	土師器	高坏（脚部）		(2.05)	(11.2)				
947	147	170		SK1286　西半		土師器	高坏	(9.6)	9.25	(8.8)				
948	147	170		SK1286　西半		土師器	高坏	12.6	(8.1)					
949	147	170		SK1286　東半		須恵器	坏？（底部）		(2.0)	(10.65)				
950	147	170		SK1509		土師器	高坏（脚部）		(8.1)					
951	147	170	A区	SX2001　北半		須恵器	坏身	(10.7)	5.3	13.3				
952	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	椀	(10.3)	(4.5)					
953	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	小型丸底壺		(7.3)	＊(9.2)				
954	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	甕（口縁部）	(14.8)	(3.1)					
955	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	甑（把手部）							
956	147	170	A区	SX2001		土師器	高坏（坏部）	(18.9)	(5.3)					
957	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	高坏（脚部）		(6.8)					
958	147	170	A区	SX2001　南半		土師器	高坏（脚部）		(6.5)					
959	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	高坏（脚部）		(5.1)					
960	147	170	A区	SX2001　北半		土師器	高坏（脚部）		(7.6)					
961	147	171	A区	SK2055（SH2033）		土師器	壺（体部）		(5.8)	＊(15.0)				
962	147	171	A区	SK2055（SH2033）		土師器	高坏（坏部）	16.6	(5.6)					
963	147	170	B区	SK2459　南半		土師器	高坏（脚部）		(4.05)					
964	147	171		SP220	全掘	土師器	有孔土製品			孔径0.5	2.65	3.1	0.5	
965	147	170		SP425	一段下げ	須恵器	坏身		(3.8)					
966	147	171		SP465	一段下げ	土製品	有孔土製品			孔径(0.7)	3.8	2.1	1.9	11.4
967	147	171		SP466	全掘	土師器	高坏（脚部）		(7.1)	10.2				
968	147	170		SP496		土師器	高坏（脚部）		(4.3)					
969	147	170		SP885	全掘	土師器	高坏（脚部）		(4.85)					
970	147	170		SP889		須恵器	壺		(3.8)					
971	148	171		SP1114	全掘	土師器	甑（把手部）							
972	148	171		SP1261	一段下げ	土師器	壺？		(2.3)					
973	148	171		SP1411		土製品	土錘			孔径(0.4)	4.2	1.6	1.4	9.4
974	148	171		SP1349		土師器	高坏（坏部）	14.85	(5.05)					
975	148	171		SP1495	全掘	土師器	甕（口縁部）	(20.5)	(5.35)					
976	148	171	B区　北	SP2186	完掘	土師器	甕（口縁部）	(14.6)	(4.6)					
977	148	171	B区	SP2257	完掘	須恵器	坏身		(2.7)	＊(15.0)				
978	148	171	B区	SP2267	上層	須恵器	坏蓋	(14.4)	(3.4)					
979	148	171		SP1287	全掘	土師器	竈				(10.4)	(8.8)		

第13表　掲載遺物一覧　土器類（15）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
980	148	172		SK209		土師器	高坏	(21.35)	18.85	(14.45)				
981	148	172		SK209		土師器	甕	(11.0)	(9.45)					
982	148	172		SK295		須恵器	坏蓋	(12.3)	3.3					
983	148	172		SK1148	完掘	須恵器	甕？		(5.6)	＊(15.0)				
984	148	172		SP057	一段下げ	土師器	甑（把手部）							
985	148	172		SP225		須恵器	壺	(9.8)	(9.65)	＊(14.2)				
986	148	172		SP225		土師器	高坏（脚部）		(6.35)	10.7				
987	148	172		SP225		土師器	高坏（脚部）		(5.95)	(9.45)				
988	148	172		SP391	一段下げ	須恵器	壺（口縁部）	(18.85)	(1.45)					
989	148	172		SP391	一段下げ	須恵器	壺（頸部）		(3.6)					
990	148	172		SP1347		土師器	甑	(21.0)	(7.0)					
991	149	172		SP1631（SH1424）	上面精査	土師器	甑	(22.0)	(15.9)					
992	149	172	No.5～6		精査面	土師器	竈		(9.4)					
993	149	173	No.12･13間西半		3層～包含層（暗褐色砂）上面	須恵器	坏蓋	(12.2)	3.9					
994	149	173	No.11～12		西側溝	須恵器	坏蓋	(12.6)	(4.0)					
995	149	173	No.13～14		3～4層	須恵器	坏身	(9.7)	(4.35)					
996	149	173			西壁10層	須恵器	坏身	(10.5)	5.6					
997	149	173	No.9＋6～10		精査面	須恵器	高坏蓋		(2.7)			つまみ径 3.2		
998	149	173	No.5～6		精査面	須恵器	高坏蓋	(13.0)	5.6					
999	149	173	No.15～　終点		表土～包含層	須恵器	甕	(7.9)	(6.65)	＊(10.4)				
1000	149	173	No.9＋6～10		精査面	須恵器	高坏（脚部）		(5.7)	(9.45)				
1001	149	173	No.13･14間		包含層（暗褐色砂）	韓式系土器	壺（体部）		(3.1)					
1002	149	173	No.13～14		3～4層	弥生土器	甑	(22.4)	(20.9)					
1003	149	173	No.10～11		包含層（3～4層）	土師器	高坏（坏部）	(24.3)	(8.4)					
1004	149	173	No.10～11		包含層（3～4層）	土師器	高坏		(11.9)					
1005	149	173	A区　東部		撹乱土	土師質	紡錘車			孔径0.4	2.3	2.3	0.45	
1006	149	173	No.14～15西側		3～4層	土師質	紡錘車			孔径(0.8)	4.9	(2.65)	1.7	
1007	149	173	No.9＋6～10		3～4層	土師器	高坏（脚部）		(9.2)	(13.4)				
1008	150	174		SP762　柱痕（SB04）	一段下げ	須恵器	椀	(13.0)	(3.7)					
1009	150	174		SP391（SB04）	一段下げ	須恵器	皿	(14.0)	(2.5)					
1010	150	174		SP713（SB04）	全掘	須恵器	椀	(14.7)	(3.6)					
1011	150	174		SP762（SB04）	全掘	須恵器	椀	(17.7)	(4.5)					
1012	150	174		SP762　柱痕（SB04）	一段下げ	土師器	坏？	(12.7)	(3.45)					
1013	150	174		SP206（SB04）		瓦器	椀	(13.75)	(1.75)					
1014	150	174		SP279（SB04）		土師器	小皿	(9.6)	(1.4)					
1015	150	174		SP206（SB04）	全掘	土師器	小皿	(8.5)	1.55					
1016	150	174		SP208（SB03）	一段下げ	土師器	椀		(1.6)	(6.1)				
1017	150	174		SP381（SB04）		土師器	羽釜		(2.7)					
1018	150	174		SP207（SB06）	一段下げ	須恵器	椀	(17.7)	(2.7)					
1019	150	174		SP747（SB06）	全掘	須恵器	椀（底部）		(2.4)	(6.0)				
1020	150	174		SP282（SB06）	全掘	須恵器	椀（底部）		(0.9)	(6.9)				
1021	150	174		SP207（SB06）	全掘	陶器	甕（体部）		(11.0)					
1022	150	174		SP207（SB06）		土師器	小皿	(8.75)	(1.6)	(8.0)				
1023	150	174		SP207（SB06）	全掘	土師器	鍋	(35.2)	(4.35)					
1024	150	174		SP207（SB06）	全掘	瓦器	椀	(15.7)	(5.4)					
1025	150	174		SP712（SB06）	全掘	白磁	碗	(15.8)	(4.7)					
1026	150	174		SP712（SB06）	全掘	白磁	碗		(2.0)					
1027	150	174		SP712（SB06）	全掘	白磁	碗（底部）		(1.7)					
1028	150	175		SP1149（SB08）	半截完掘	土師器	椀	(14.9)	(4.0)					
1029	150	175		SP1281（SB09）	半截完掘	須恵器	椀	(13.6)	(3.3)					
1030	150	176		SP1604（SB07）		土師器	皿	(13.4)	2.9	(12.45)				
1031	150	175		SP1137　柱痕（SB07）		土師器	皿	(14.65)	(2.8)	(11.4)				
1032	150	175		SP1137　柱痕（SB07）		土師器	椀	(13.75)	(2.2)					
1033	150	175		SP1604（SB07）		瓦器	椀	(14.8)	(1.7)					
1034	150	175		SP123（SB07）	全掘	須恵器	椀	(15.4)	(3.6)					
1035	151	175		SP1182　柱痕内（SB18）	一段下げ	瓦器	椀	(15.5)	(4.8)					
1036	151	175		SP1641（SB18）		白磁	碗	(17.0)	(4.3)					
1037	151	175		SP1641（SB18）		土師器	鍋	(31.1)	(6.5)					
1038	151	176		SP1287（SB18）	全掘	土師器	鍋	(35.0)	(17.3)					
1039	151	175		SP1231（SB19）		須恵器	椀（口縁部）	(13.3)	(2.45)					
1040	151	175		SP1231（SB19）		瓦器	小皿	(8.65)	(1.8)					
1041	151	175		SP1231（SB19）		瓦器	椀（底部）		(1.5)	(4.2)				
1042	151	175	B区	SP2331　柱根（SB24）		須恵器	椀（底部）		(1.95)	(5.4)				
1043	151	175	B区	SP2304　柱根（SB24）		須恵器	椀（底部）		(1.3)	(6.0)				
1044	151	175	B区	SP2343　柱根（SB24）	上層	土師器	小皿	(7.75)	(0.95)	(6.55)				
1045	151	175	B区	SP2113（SB26）	東側たちわり	須恵器	椀	(13.3)	(4.3)	5.4				
1046	151	175	B区	SP2110　柱痕（SB26）		須恵器	椀（口縁部）	(13.0)	(2.65)					
1047	151	175	B区	SP2151　掘立（SB26）		須恵器	椀（口縁部）	(14.6)	(2.1)					
1048	151	175	B区	SP2144（SB26）		須恵器	椀（底部）		(3.2)	(6.75)				
1049	151	175	B区	SP2151　掘立（SB26）		須恵器	椀（口縁部）	(13.7)	(2.65)					

第13表　掲載遺物一覧　土器類（16）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
1050	151	175	B区	SP2110（SB26）	底	須恵器	壺？		(5.0)					
1051	151	175	B区	SP2142（SB26）		土師器	小皿	(8.6)	1.35	(7.1)				
1052	151	175	B区	SP2142（SB26）		土師器	小皿	(8.7)	1.9	(6.2)				
1053	151	175	B区	SP2110　柱痕（SB26）		土師器	鍋？		(4.4)					
1054	151	176	B区	焼土面（SB26）		土師器	鍋	(31.25)	(6.7)					
1055	151	176	B区	焼土面（SB26）		土師器	鍋	(32.25)	(8.3)					
1056	152	176	B区	焼土面（SB26）		土師器	羽釜	(23.2)	(11.0)					
1057	152	176	B区	SP2128　北の焼土（SB26）		土師器	羽釜	(22.8)	(5.6)					
1058	152	177	B区	SP2374　柱痕（SA01）		須恵器	椀	(15.6)	(4.2)					
1059	152	177		SP210	全掘	須恵器	椀（底部）？	(13.6)	(2.2)					
1060	152	176		SP220	全掘	須恵器	椀	(15.4)	5.3	(6.1)				
1061	152	177		SP225		須恵器	鉢（底部）？		(1.9)	(4.8)				
1062	152	177		SP235		須恵器	椀	(15.6)	(3.6)					
1063	152	177		SP235	一段下げ	須恵器	椀	(13.8)	(3.8)					
1064	152	177		SP235	掘方	須恵器	壺（口縁部）		(2.8)					
1065	152	177		SP042	全掘	須恵器	椀	(15.6)	(2.9)					
1066	152	177		SP256	全掘	須恵器	椀	(15.7)	(3.2)					
1067	152	177		SP109	全掘	須恵器	甕（口縁部）	(24.15)	(6.5)					
1068	152	176		SP557		須恵器	片口鉢	(30.05)	11.65	11.7				
1069	152	177		SP235	一段下げ	須恵器	甕（口縁部）	(23.6)	(6.4)					
1070	152	177		SP257	一段下げ	須恵器	椀	(14.4)	(4.1)					
1071	152	177		SP257	全掘	陶器	甕（体部）				(13.7)	(12.2)	1.2	
1072	153	178		SP280	一段下げ	須恵器	椀（口縁部）	(15.6)	(3.45)					
1073	153	178		SP285	埋土	須恵器	椀（口縁部）	(15.15)	(1.2)					
1074	153	178		SP298	一段下げ	須恵器	皿or椀B（底部）？		(1.7)	(8.0)				
1075	153	178		SP280　柱痕		白磁	碗	(16.8)	(6.25)	(5.4)				
1076	153	178		SP285	埋土	須恵器	椀	(15.1)	(3.7)					
1077	153	178		SP371	一段下げ	白磁	碗	(14.0)	(5.95)	(6.15)				
1078	153	178		SP280　柱痕		白磁	碗	(16.0)	(6.0)	(5.6)				
1079	153	178		SP299	全掘	瓦器	椀	(15.7)	(3.7)					
1080	153	178		SP371	一段下げ	土師器	小皿	(7.8)	(1.1)					
1081	153	178		SP372	一段下げ	須恵器	椀	(19.7)	(4.7)					
1082	153	178		SP834　柱痕	上部	須恵器	椀	(14.8)	(4.7)					
1083	153	176		SP381	全掘	須恵器	椀	(13.8)	4.45	5.6				
1084	153	178		SP1485	全掘	須恵器	椀（口縁部）	(14.5)	(2.2)					
1085	153	178		SP1501	全掘	白磁	碗（底部）		(2.2)	(6.3)				
1086	153	178		SP1510	全掘	須恵器	椀	(13.5)	(3.8)					
1087	153	179		SP1542	全掘	須恵器	椀	(14.6)	(4.65)					
1088	153	179		SP1542	全掘	須恵器	椀（底部）		(1.25)	(6.0)				
1089	153	176		SP1542	全掘	土師器	小皿	(8.2)	(1.8)	(6.2)				
1090	153	179		SP1542	全掘	土師器	皿	(11.3)	1.9					
1091	153	179		SP1542	全掘	土師器	皿	(12.0)	2.55	7.15				
1092	153	179		SP1542	全掘	土師器	皿	(13.3)	(2.0)					
1093	153	179		SP1542	全掘	須恵器	捏鉢	(28.1)	(4.7)					
1094	153	179		SP1542	全掘	須恵器	捏鉢	(32.3)	(5.0)					
1095	153	178		SP1542	全掘	白磁	碗	(15.2)	(4.4)					
1096	153	179		SP1543	全掘	須恵器	碗	(14.6)	(4.25)					
1097	153	179		SP1579		須恵器	椀（底部）？		(3.0)	(6.1)				
1098	153	179		SP1297		須恵器	椀（底部）？		(2.4)	(8.2)				
1099	153	179	B区	SP2339　柱痕		須恵器	椀（体部）		(2.6)					
1100	154	179		SK209		須恵器	椀	(15.6)	4.6	(6.1)				
1101	154	179		SK209	埋土	須恵器	椀	(15.5)	(3.15)					
1102	154	179		SK209		須恵器	椀	(15.4)	(4.1)					
1103	154	179		SK209　西半	下層	須恵器	椀	(15.8)	(3.7)					
1104	154	179		SK209		須恵器	椀	(15.3)	(3.4)					
1105	154	179		SK209	下層	須恵器	椀	(15.5)	(3.2)					
1106	154	179		SK209		須恵器	椀	(15.1)	(3.6)					
1107	154	179		SK209	下層	須恵器	椀		(1.8)	(7.1)				
1108	154	179		SK209		須恵器	椀（底部）		(3.5)	(6.55)				
1109	154	179		SK209		須恵器	椀（底部）		(2.8)	6.4				
1110	154	179		SK209		須恵器	椀（底部）		(1.75)	5.95				
1111	154	179		SK209	埋土	須恵器	椀（底部）		(1.2)	(7.2)				
1112	154	180		SK209		須恵器	甕	(21.5)	(7.5)					
1113	154	180		SK209	埋土	須恵器	捏鉢	(25.5)	(6.95)					
1114	154	180		SK209		須恵器	捏鉢	(33.0)	(6.4)					
1115	154	180		SK209		須恵器	捏鉢	(38.7)	(3.9)					
1116	154	180		SK209		土師器	皿	(11.8)	(2.35)					
1117	154	180		SK209	埋土	土師器	椀（底部）？		(1.3)	(6.8)				
1118	154	180		SK209	下層	土師器	小皿	(7.3)	1.7					
1119	154	181		SK209		土師器	托	(8.0)	3.65	(5.55)				

第13表　掲載遺物一覧　土器類（17）

番号	図版	写真	地区	出土遺構	層位	種別	器種	法量（cm）						重（g）
								口径	器高	底径 ＊＝腹径	長	幅	厚	
1120	154	180		SK209		土師器	鍋	(32.6)	(5.75)					
1121	154	180		SK209		土師器	羽釜	(21.5)	(3.3)					
1122	154	180		SK209		土師器	三足鍋（脚部）？		(9.7)					
1123	154	180		SK209		土師器	三足鍋（脚部）？		(8.0)					
1124	155	180		SK209	埋土	瓦器	鉢	(29.8)	(2.65)					
1125	155	180		SK209		瓦質土器	鉢？	(36.4)	(15.05)					
1126	155	181		SK209		瓦器	椀	(15.2)	(5.0)	(3.9)				
1127	155	180		SK209		瓦器	椀	(13.55)	(2.6)					
1128	155	180		SK209		瓦器	椀	(15.7)	(3.5)					
1129	155	180		SK209	埋土	瓦器	椀（口縁部）	(15.7)	(1.85)					
1130	155	180		SK209		瓦器	椀	(14.9)	(3.1)					
1131	155	180		SK209		瓦器	椀	(15.1)	(4.05)					
1132	155	180		SK209		瓦器	椀	(15.8)	(3.6)					
1133	155	181		SK209		瓦器	小皿	8.6	1.9					
1134	155	181		SK209		瓦器	小皿	8.6	1.85	6.15				
1135	155	180		SK209　西半	下層	瓦器	小皿	(8.2)	1.25	(7.4)				
1136	155	181		SK209		瓦器	小皿	8.7	1.7	8.1				
1137	155	181		SK209		白磁	碗	(15.2)	(6.0)	(7.1)				
1138	155	181		SK209	下層	白磁	碗	(16.35)	(6.52)					
1139	155	181		SK209	埋土	白磁	碗	(14.3)	(2.65)					
1140	155	182		SK209		須恵器	硯				(5.9)	(3.85)	1.7	
1141	155	182		SK295		須恵器	甕	(29.6)	(9.1)					
1142	155	182		SK295		土師器	鍋	(32.3)	(9.8)					
1143	156	182		SK209	埋土	須恵器	椀（口縁部）	(12.8)	(2.1)					
1144	156	182		SK296	埋土	須恵器	椀（口縁部）	(15.0)	(2.7)					
1145	156	182		SK361	一段下げ	須恵器	椀（底部）		(1.95)	(5.9)				
1146	156	182		SP296　北半		須恵器	椀（底部）		(1.05)	(5.4)				
1147	156	182		SP296	埋土	土師器	小皿	(7.9)	(1.2)					
1148	156	182		SP296	埋土	土師器	皿	(10.5)	(1.6)					
1149	156	182		SK209	埋土	青磁	碗	(14.8)	(2.7)					
1150	156	182		SP296　北半		土製品	土錘			孔径(0.3)	(3.4)	0.9	(0.75)	3.5
1151	156	182		SP751　南半	一段下げ～完掘	須恵器	椀（口縁部）	(14.0)	(2.25)					
1152	156	182		SP751	下層（第２層）	須恵器	椀（口縁部）	(13.4)	(1.7)					
1153	156	182		SP751	下層（第２層）	須恵器	椀（底部）		(1.6)	(5.4)				
1154	156	182		SK760		須恵器	椀（口縁部）	(14.2)	(1.5)					
1155	156	182		SK830	半截	須恵器	椀（口縁部）	(15.8)	(3.2)					
1156	156	182		SK1570		土師器	小皿	(7.9)	(1.35)					
1157	156	182		SK810		土師器	托	(9.2)	2.45	5.65				
1158	156	182		SK810		瓦器	椀（口縁部）	(15.8)	(2.25)					
1159	156	182		SK810		瓦器	小皿	8.6	1.9					
1160	156	182		SK810		土師器	托		(2.4)	5.6				
1161	156	182		SK810		土師器	小皿（底部）		(1.2)					
1162	156	183		SK837	半截	須恵器	椀	(15.1)	(5.35)	(5.1)				
1163	156	183		SK837		須恵器	椀（底部）		(2.5)	(6.2)				
1164	156	183	B区	SK2123　東半		須恵器	椀（口縁部）	(17.0)	(1.8)					
1165	156	183	B区	SK2130		須恵器	鉢（口縁部）	(30.2)	(3.25)					
1166	156	183		SD441･442　東半	黄灰色砂	白磁	碗	(17.1)	(6.05)					
1167	156	183	B区	SK2426		須恵器	椀	(14.4)	(5.1)					
1168	156	183	B区	SK2426　集石		須恵器	椀（底部）		(2.7)	(6.1)				
1169	156	183	B区	SD2357　東畔		須恵器	椀（底部）		(1.5)	5.6				
1170	157	184	No.10～11中央		精査面	須恵器	椀	(9.9)	3.8	4.8				
1171	157	184	No.10～11		包含層(３～４層)	須恵器	椀	13.4	5.05	5.7				
1172	157	183	No.10～11		３～４層	須恵器	椀（底部）		(3.0)	6.5				
1173	157	183	No.10～11		精査面	須恵器	捏鉢	(28.5)	(5.6)					
1174	157	184	No.10～11		包含層(３～４層)	瓦器	小皿	8.6	1.8					
1175	157	183	No.10～11		包含層(３～４層)	須恵器	椀	(11.2)	(4.3)					
1176	157	183	B区			土師器	坏	(11.75)	(3.7)	5.95				
1177	157	184	B区			土師器	坏	11.1	3.7	5.6				
1178	157	183	B区			土師器	坏	(10.8)	3.5	(6.4)				
1179	157	183	B区			土師器	坏	(10.8)	(2.95)	(6.2)				
1180	157	183	No.9＋６～10		３～４層	白磁	碗	(16.8)	(4.3)					
1181	157	184	No.11～12		３～４層	土師器	羽釜	(25.75)	(22.3)					
1182	157	184	No.11～12		３～４層	土師器	羽釜	(18.0)	(7.1)					
1183	157	184	No.11～12		３～４層	土師器	羽釜	18.85	(12.0)			(23.2)		
1184	157	184	No.11～12		３～４層	瓦	平瓦				(14.5)	(12.2)	3.3	
1185	157	184	No.11＋５～12		３層下部黄褐色砂質シルト	瓦	平瓦				(10.9)	(6.5)	3.4	
1186		写真１	B区　北東部		下層　暗褐色砂	弥生土器	壺		(3.2)					

第14表　掲載遺物一覧　金属器

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	種　別	器　種	法　量（cm）			重（g）
								長	幅	厚	
M 1	158	185		SH1250　2－3区		鉄製品	不明	(2.5)	3.7	0.6	
M 2	158	185		SH1250　3区		鉄製品	鉄斧	4.85	2.2	0.7	
M 3	158	185		SH1254　2区		鉄製品	不明	(2.5)	(3.3)	0.4	
M 4	158	185		SH1302	床面	鉄製品	釘or鏃茎部	(5.0)	0.75	0.6	
M 5	158	185		SH1423		鉄製品	鏃	(5.35)	1.4	茎部0.6 刃部0.4	
M 6	158	185		SH880	1層	鉄製品	鉄塊	3.4	1.9	0.8	
M 7	158	185		SH880	2層	鉄製品	刀	(18.7)	2.05	茎部0.35 刃部0.6	
M 8	158	185		SP979（SH974）	一段下げ	鉄製品	鎌	(7.7)	(2.9)	0.3	
M 9	158	185		SK810	埋土	鉄製品	釘	(3.7)	0.75	0.5	
M10	158	185		SK810		鉄製品	釘	(2.3)	0.45	0.4	
M11	158	185		SK810		鉄製品	不明	3.8	2.5	0.75	
M12	158	185	B区	SP2314　(SB24)		鉄製品	楔	(3.6)	1.35	0.7	
M13	158	185		SK014下底		鉄製品	留め金具	5.15	1.85	0.45	
M14	158	185	B区北	SP2435の東		鉄製品	鏃茎部	(4.4)	0.7	0.6	
M15	158	185		SD1262		鉄製品	角釘	(3.4)	0.7	0.5	
M16	158	185	№5－6	面検出		鉄製品	飾り金具	6.85	傘部（3.0） 鉄棒部0.95	鉄棒部 0.9	
M17	158	185		SP772	一段下げ	鉄製品	釘？	(4.6)	1.0	0.75	
M18	158	185		SK209　土器群1内		鉄製品	釘？	(4.8)	0.95	0.95	
M19	158	185				銅製品	銭（寛永通寶）				
M20	158	185		SP857	全堀	鉄製品	スラッグ				9.0g

第15表　掲載遺物一覧　石器（1）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	器　種	石　材	法　量（mm）			重（g）
								長	幅	厚	
S 1	159	186		SH1251		AH	SN	19.4	14.6	2.0	0.7
S 2	159	186		SH958　3区	検出面～一段下げ	AH	SN	20.7	13.8	3.0	0.8
S 3	159	186		SD100		AH	SN	(19.7)	12.6	4.0	0.9
S 4	159	186		SD100		AH	SN	19.9	15.2	3.9	0.9
S 5	159	186	No.10～11	SD100	埋土	AH	SN	(21.9)	17.9	3.2	1.2
S 6	159	186	A区	SD100　北半		AH	SN	(21.0)	14.8	3.0	0.8
S 7	159	186		SH1247　3区	検出面～－5cm	AH	SN	22.2	13.5	2.2	0.8
S 8	159	186		SH1423　1～2区	床面埋土	AH	SN	21.8	15.3	3.1	1.1
S 9	159	186	No.14･15間		精査面	AH	SN	25.1	13.2	3.4	1.0
S10	159	186		SH1250　3～4区	床面下げ再検出	AH	SN	24.9	11.8	3.9	1.0
S11	159	186	B区	SD100	中層	AH	SN	(25.0)	13.0	3.8	1.2
S12	159	186		SX1089	南壁面	AH	SN	24.0	(15.9)	2.5	1.3
S13	159	186		SK035　南半		AH	SN	22.5	15.5	4.0	1.5
S14	159	186		SP419より西側		AH	SN	(20.3)	14.1	9.2	1.3
S15	159	186	A区	SD100	上面付近	AH	SN	21.6	17.1	4.0	1.7
S16	159	186		SP282	全掘	AH	SN	(21.7)	17.5	3.2	1.6
S17	159	186		SP348	全掘	AH	SN	23.1	20.2	3.4	1.5
S18	159	186	No.12～13		精査面	AH	SN	24.8	17.8	4.0	1.7
S19	159	186		SH1250　4区	－5cm～床面	AH	SN	(27.3)	(21.8)	4.5	2.2
S20	159	186	No.5～6　西側		下層掘削	AH	SN	27.2	20.0	3.5	1.8
S21	159	186	B区　北端	SD100		AH	SN	29.0	18.4	3.0	1.1
S22	159	186	A区			AH	SN	30.0	20.8	4.7	2.1
S23	159	186				AH	SN	28.3	21.0	3.5	2.0
S24	159	186	No.11～12	SD100	上面	AH	SN	(26.0)	19.7	3.1	1.8
S25	159	186	No.11～12	SD100	上面	AH	SN	(25.0)	19.3	3.0	1.6
S26	159	186		SH1422　4区	検出面～－5cm	AH	SN	(27.3)	17.5	5.0	2.3
S27	159	186	No.10～11	SD100	埋土	AH	SN	(28.6)	17.1	3.2	1.5
S28	159	186	No.9～9＋6中央～西半		精査面	AH	SN	32.0	17.4	4.9	2.2
S29	159	186	A区	SD100　南半		AH	SN	(30.1)	20.1	4.3	2.7
S30	159	186	B区	SD100　南端	中・上層	AH	SN	31.1	19.9	3.1	2.0
S31	159	186	No.5～6　西側		下層掘削	AH	SN	34.0	22.2	4.0	3.0
S32	159	186		SH1251	埋土	AH	SN	35.5	16.2	4.0	2.0
S33	159	186		SX1089	東3層　2－1	AH	SN	(22.4)	21.5	4.0	2.4
S34	159	186		SH319　4区	検出面～－5cm	AH	SN	(19.0)	17.1	3.5	0.8

第15表　掲載遺物一覧　石器（２）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	器　種	石　材	法　量（mm）			重（g）
								長	幅	厚	
S35	159	186		SK302	８層（炭層）	AH	SN	(14.0)	14.6	3.0	0.7
S36	159	186		SK437　南端		AH	SN	(16.9)	16.0	3.5	1.1
S37	159	186		SP105	一段下げ	AH	SN	16.1	(13.5)	3.1	0.6
S38	159	186	A区	SD100　南半	下底	AH	SN	20.6	14.0	2.5	0.7
S39	159	186		SH319　２区	二段下げ	AH	SN	(21.0)	20.6	2.3	0.9
S40	159	187	A区	SD100　南半		AH	SN	(16.7)	(15.5)	3.0	0.9
S41	159	187		SH1424　４区	検出面～－５cm	AH	SN	18.6	14.4	3.5	0.9
S42	159	187		SP727	一段下げ	AH	SN	17.7	14.2	3.0	0.7
S43	159	187		SH958　２区	検出面～一段下げ	AH	SN	19.2	15.4	3.2	0.8
S44	159	187		SK296　北半		AH	SN	19.8	(15.0)	3.0	0.7
S45	159	187	No.10～11		面精査	AH	SN	18.4	(14.4)	2.9	0.7
S46	159	187	No.13･14間東半		包含層（暗褐色砂）	AH	SN	20.9	16.3	3.8	1.0
S47	159	187	No.12～13		写真前精査	AH	SN	33.1	16.1	4.4	1.9
S48	159	187	No.9＋４～10	SD100	埋土	AH	SN	34.7	(20.8)	2.8	1.6
S49	159	187	A区　西部		撹乱土	AH	SN	30.7	(18.5)	3.0	1.7
S50	159	187	A区		撹乱土	AH	SN	30.5	(19.5)	3.0	1.7
S51	159	187	A区	SD100　南半		AH	SN	25.7	20.5	3.7	1.5
S52	159	187	A区	SD100　南半		AH	SN	(23.5)	20.7	5.1	2.1
S53	159	187		SP1142		AH	SN	21.8	18.3	2.3	0.8
S54	159	187		SP1263	一段下げ	AH	SN	21.6	(16.1)	3.5	0.9
S55	160	187		SK992	一段下げ	AH	SN	(29.2)	22.0	5.0	2.1
S56	160	187		SH319	側溝際	AH	SN	(21.5)	14.0	3.2	0.8
S57	160	187	No.13～14		写真前清掃	AH	SN	19.5	(15.0)	2.5	0.5
S58	160	187		SH055　西畔	２層	AH	SN	18.0	12.4	2.3	0.4
S59	160	187		SK664　西半		AH	SN	17.9	12.4	2.5	0.5
S60	160	187	A区	SD100　南半	下底	AH	SN	(19.8)	10.7	2.7	0.5
S61	160	187	No.12～13	SD100	上面	AH	SN	23.9	12.8	3.1	1.2
S62	160	187	No.11～12	SD100	埋土上部	AH	SN	(24.1)	10.5	2.9	0.8
S63	160	187	A区	SD100　南半		AH	SN	25.0	13.2	3.2	0.9
S64	160	187		SH1424　４区	検出面－５cm～床面	AH	SN	27.9	13.8	3.5	1.2
S65	160	187		SX1004　３～４区間畔	１層	AH	SN	(32.0)	12.5	4.0	1.4
S66	160	187	No.6～７		東側側溝	AH	SN	43.0	18.5	5.2	4.4
S67	160	187	No.14～15		面精査	AH	SN	21.0	9.2	2.4	0.6
S68	160	187		SP1514	全掘	AH	SN	35.0	13.9	4.5	2.3
S69	160	187	A区	SX2211		AH	SN	(21.9)	13.0	3.0	0.8
S70	160	187				AH	SN	(14.5)	9.4	3.0	0.4
S71	160	187		SH1289　４区		AH	SN	(15.4)	13.9	2.0	0.5
S72	160	187		SH1422　南東隅	床面精査	AH	SN	(21.0)	19.3	3.0	1.2
S73	160	187		SH319　３区	２層	AH	SN	(20.4)	17.4	6.0	2.0
S74	160	187		SP1385		AH	SN	(18.8)	14.5	3.1	0.8
S75	160	187		SH1250　１～２区	床面下げ再検出時	AH	SN	(23.7)	10.5	2.5	0.7
S76	160	188	No.14～14＋５東		５層（遺構面直上）	AH未	SN	(32.3)	17.8	3.2	2.3
S77	160	188	No.13～14		５層直上	AH未	SN	29.3	(24.1)	5.5	3.5
S78	160	188		SK096	一段下げ	AH未	SN	42.8	26.9	6.0	7.6
S79	160	188	A区	SD2042	２層	AH	SN	(24.0)	22.2	3.1	1.9
S80	160	188		SH958　２区	二段下げ	AH未	SN	25.3	20.8	2.5	1.4
S81	160	188				AH	SN	(35.4)	(21.8)	4.2	2.7
S82	161	188	A区	SD100　南半		DR	SN	40.4	(12.7)	3.1	1.1
S83	161	188		SX1004	西１層目	DR	SN	42.2	15.3	6.5	2.5
S84	161	188	A区	SD100　南半	下底	DR	SN	34.3	12.2	4.2	2.3
S85	161	188	B区　南端	SD2507　東端	中・下層　砂礫	DR	SN	(28.8)	13.0	3.1	1.0
S86	161	188	B区	SD100　中～南	上・中層	DR	SN	(32.3)	22.0	5.5	2.8
S87	161	188	A区	SD100　南半		DR	SN	32.5	20.5	4.5	2.5
S88	161	188	B区　北東	SP2091		DR	SN	50.3	(25.8)	8.2	8.5
S89	161	188	A区	SD100　南半		DR	SN	40.4	26.2	3.3	3.4
S90	161	188				DR	SN	44.4	26.3	4.5	5.6
S91	161	188		SD293　南半		DR	SN	32.5	33.0	7.1	6.1
S92	161	188		SH1424　１区		DR	SN	21.6	19.1	4.2	1.3
S93	161	188	No.9＋４～10		上層	DR	SN	43.0	27.0	7.5	8.8
S94	161	188		SH055　４区	検出面－５cm～床面	DR	SN	41.5	43.6	8.5	13.1
S95	161	189		SH326　３区	－５cm～床面	DR	SN	36.4	9.0	5.6	1.7
S96	161	189		SH1251　１区	埋土	DR	SN	29.5	8.5	3.9	0.8
S97	161	189	No.5～６		面下げ	DR	SN	(41.2)	10.6	5.9	2.5
S98	161	189	A区	SD100　南半		DR	SN	(27.0)	4	5.8	1.4
S99	161	189		SH326　４区	一段下げ	DR	SN	(32.6)	17.4	4.6	3.0
S100	161	189	No.7～８		遺構検出	DR	SN	(30.5)	14.8	5.1	2.4
S101	161	189	A区	SD100　南半		DR	SN	(21.2)	22.5	5.0	1.9
S102	161	189	No.9＋６～10		面精査	DR	SN	(28.1)	21.9	4.5	3.0
S103	161	189	No.11～12	SD100	埋土	DR	SN	(22.5)	29.9	4.5	3.4
S104	161	189	No.14～14＋５東		５層（遺構面直上）	DR	SN	(25.3)	13.2	3.3	1.3

第15表　掲載遺物一覧　石器（３）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	器　種	石　材	法　量（㎜）			重（g）
								長	幅	厚	
S105	161	189	No.9＋６～10		面精査	DR	SN	(23.9)	(12.2)	4.0	1.4
S106	161	189		SH910	１・４区間　焼土	DR	SN	(20.0)	15.9	7.1	2.0
S107	161	189		SH974　２区	検出面～一段下げ	DR	SN	(26.9)	10.2	4.2	1.2
S108	161	189		SH1422　４区	検出面～－５cm	DR	SN	(18.7)	9.2	2.7	0.6
S109	161	189		SH319	床面精査	DR	SN	(19.0)	9.6	5.0	1.2
S110	161	189	A区	SK2055　東半		DR	SN	(21.3)	6.9	3.8	0.5
S111	162	189		SH1251　２区		SS	SN	70.7	29.2	6.8	14.8
S112	162	189	B区　北端	SD100	上・中層	SS	SN	(60.6)	36.0	13.8	41.2
S113	162	189	B区	SH2148　１区		SS	SN	(37.3)	(32.9)	7.7	9.4
S114	162	189	B区	SD2092（周溝？）	東半	SS	SN	(39.5)	(30.2)	14.5	21.0
S115	162	190		SH1422～1424	上面精査	SS未	SN	49.8	32.6	16.9	29.5
S116	162	190	A区	SD100　南半		石鎌	SN	33.6	(40.3)	8.4	11.1
S117	162	190	No.12～13		包含層（３～４層）	RK	SN	(66.1)	51.2	8.0	31.2
S118	162	190	B区　南	水田		RK	SN	(79.0)	(40.5)	10.9	38.1
S119	163	190	B区　北端	SD100		RK	SN	(59.3)	45.8	9.8	36.8
S120	163	190		SX449	検出	RK	SN	(60.3)	(49.0)	9.7	29.2
S121	163	190	A区	SD100　南半		RK	SN	(70.0)	(34.6)	8.8	23.9
S122	163	190	B区	SD100･2506合流	下層・砂礫	RK	SN	65.0	37.9	8.5	28.5
S123	163	191	A区	SD100　北半		RK	SN	48.0	32.2	9.2	14.7
S124	163	191	A区	SD100　南半		RK	SN	(50.9)	37.3	9.9	22.4
S125	163	191	B区　北端	SD100	上・中層	RK	SN	(59.3)	34.7	9.0	26.3
S126	163	191	No.12～13	SD100	上面	RK	SN	48.0	25.5	6.1	11.0
S127	163	191		SH958　４区	二段下げ	RK	SN	36.5	26.8	7.0	6.9
S128	164	191	No.9＋４～10	SD100		RK	SN	(69.8)	35.8	11.1	33.5
S129	164	191	No.13～14		写真前清掃	RK	SN	(57.9)	22.1	6.7	10.5
S130	164	191	No.9～10	SD100	埋土	RK	SN	(60.5)	25.7	8.5	21.4
S131	164	191	No.9～９＋６		面精査	RK	SN	62.0	39.9	10.0	33.7
S132	164	191	A区	SD100　南半		RK	SN	(61.2)	33.9	9.0	16.7
S133	164	191		SH319　３区	一段下げ	RK	SN	41.4	24.0	7.0	7.3
S134	164	191	A区	SD100　北半		RK	SN	36.5	(64.1)	9.8	22.6
S135	164	191	A区	SD2042　北半	２～３層	RK	SN	35.5	35.5	12.0	18.9
S136	164	192	No.12～13	SD100	上面	RK	SN	36.0	(49.0)	7.5	15.6
S137	164	192				RK	SN	(40.9)	34.8	7.0	12.2
S138	164	192	No.5～６　西側		下層溝掘削	RK	SN	(51.8)	49.5	12.0	34.7
S139	164	192	A	SD100　北半		RK	SN	26.7	34.0	4.5	5.5
S140	165	192	No.11～12	SD100	上面	RK	SN	27.6	27.2	9.0	7.4
S141	165	192	B区	SD2358	上層	EX	SN	16.9	14.7	6.7	1.7
S142	165	192		SH319　３区	２層	RK	SN	27.0	13.0	7.0	2.0
S143	165	192	No.9＋６～10中央		精査面	EX	SN	35.0	21.3	6.1	4.9
S144	165	192		SK029		SC	SN	123.0	42.9	10.5	44.6
S145	165	192		SH1423　４区	検出面～－10cm	SC	SN	58.0	25.0	5.0	7.6
S146	165	192	No.5～６　西側		下層掘削	SC	SN	66.0	33.2	6.0	13.6
S147	165	192	No.5～６　西側		下層溝掘削	SC	SN	48.2	42.4	10.3	21.7
S148	165	192		SH1424　１区		SC	SN	46.9	67.6	5.5	23.3
S149	165	192		SH1424　４区	検出面－５cm～床面	SC	SN	65.2	37.1	12.0	31.6
S150	165	193				SC	SN	52.6	25.5	7.9	11.1
S151	165	193		SK035　南半		SC	SN	(46.0)	(28.8)	5.0	8.4
S152	166	193	No.12～13	SD100	上面	SC	SN	81.7	58.9	8.0	45.9
S153	166	193	B区　南端	SD100･2507･2506　合流部	中・下層	SC	SN	82.5	45.3	11.0	37.0
S154	166	193	No.9～９＋６		精査面	SC	SN	(46.1)	(35.8)	8.5	15.2
S155	166	193		SD420	埋土	SC	SN	53.3	50.5	8.0	20.1
S156	166	193	No.9＋４～10	SD100	上層	SC	SN	43.8	38.6	8.0	12.8
S157	166	193		SH1424　畔		SC	SN	43.0	50.3	8.0	19.4
S158	166	193		SH1424　３区	検出面～－15cm	SC	SN	35.6	19.8	3.5	3.7
S159	166	193	No.13～14			SC	SN	(23.7)	30.5	5.8	4.4
S160	166	193	B区	SD2521		SC	SN	41.5	(21.6)	7.6	5.3
S161	166	193	No.13～14		３～４層	SC	SN	27.6	26.0	4.7	3.5
S162	166	193		SK302	７層	SC	SN	27.9	25.0	4.5	3.4
S163	167	194		SH1250　１～２区	床面下げ再検出時	SC	SN	(56.5)	31.0	5.0	8.5
S164	167	194		SK751　南半	一段下げ～完掘	SC	SN	49.5	25.7	5.0	8.2
S165	167	194		SK992	棺内	SC	SN	48.4	23.0	7.0	6.8
S166	167	194	B区　南端	SD2458	下層　灰色小礫～細砂	SC	SN	(41.1)	36.2	7.5	13.9
S167	167	194		SX992	床面精査	SC	SN	32.0	25.6	7.0	5.3
S168	167	194		SH1247	床面精査	SC	SN	33.9	14.5	5.0	2.9
S169	167	194	No.12～13	SD100	上面	SC	SN	34.5	20.9	5.1	3.2
S170	167	194		SK302	７層	SC	SN	42.9	23.5	4.0	5.9
S171	167	194		SK751　北半	一段下げ～完掘	SC	SN	34.7	24.6	7.0	6.2
S172	167	194	A区	SD100　南半		SC	SN	(34.0)	(28.9)	6.8	6.5
S173	167	194		SH326　３区	－５cm～床面	SC	SN	34.7	25.7	8.0	5.3
S174	167	194		SH1250　１～２区	床面下げ再検出時	SC	SN	(27.6)	25.5	5.0	3.7

第15表　掲載遺物一覧　石器（４）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	器　種	石　材	法　量（㎜）			重（g）
								長	幅	厚	
S175	167	194		SH1538　1区		SC	SN	43.2	33.1	11.0	12.3
S176	167	194		SH910　3区	床面	SC	SN	35.0	24.9	0	2.7
S177	167	194	No.6～7		精査面	SC	SN	34.0	24.8	8.2	5.2
S178	167	194		SK992	一段下げ	SC	SN	(28.1)	19.3	4.5	2.8
S179	167	194	A区	SD100　南半		SC	SN	(28.6)	18.4	6.2	3.2
S180	167	194				SC	SN	(29.7)	22.3	3.5	2.8
S181	168	194	No.6～7		精査面	SC	SN	(43.9)	16.8	7.2	6.8
S182	168	194		SH804　東西畔	1層	SC	SN	38.0	17.2	5.0	3.2
S183	168	194		SH1422　2区	検出面～－5cm	SC	SN	32.5	24.0	3.6	4.4
S184	168	195	No.9＋4～10	SD100	埋土	SC	SN	49.9	37.2	5.0	12.3
S185	168	195	No.11～12	SD100	埋土上部	SC	SN	43.7	32.8	7.5	12.7
S186	168	195	B区	SD100　南	中・下層	SC'	SN	50.9	(58.4)	9.2	21.2
S187	168	195		SH1422　2区	面精査	SC'	SN	44.4	23.0	10.2	7.8
S188	168	195	B区	SD100　南	中・下層	PS	SN	25.7	32.6	6.7	7.8
S189	168	195		SP949		PS	SN	40.3	45.5	9.6	20.7
S190	168	195	No.6～7		精査面	PS	SN	18.9	18.8	5.0	2.2
S191	168	195		SP280	全掘	PS	SN	20.9	24.8	6.1	3.2
S192	168	195	No.11～12	SD100	埋土上部	PS	SN	16.8	26.5	4.0	2.5
S193	168	195	B区　南端	SD2507	下層　砂礫	PS	SN	22.2	17.0	5.2	2.1
S194	168	195		SH1247	床面下げ（再検出）	PS	SN	23.4	25.8	6.5	4.6
S195	168	195	No.13ライン東西トレンチ			PS	SN	27.8	31.0	7.0	6.1
▫▫▫	169	195	A区	SD100　南半	下底	PS	SN	21.5	21.7	5.5	3.5
S197	169	195				PS	SN	26.2	19.0	9	
S198	169	195	A区	SD100　北半		PS	SN	26.4	25.1	7.9	6.6
S199	169	195	A区	SD100　南半		PS	SN	26.5	24.0	12.2	8.9
S200	169	195	No.13～14		3～4層	PS	SN	23.8	27.8	8.4	5.4
S201	169	195	No.5～6		面精査	PS	SN	32.3	26.2	7.2	7.4
S202	169	196	No.12～13		5層直上	PS	SN	22.7	19.9	6.7	4.0
S203	169	196	No.9～10	SD100	埋土	PS	SN	28.0	25.7	9.1	7.9
S204	169	196	No.11～12	SD100	埋土上部	PS	SN	29.8	26.1	8.0	7.6
S205	169	196		SP081		PS	SN	31.7	25.8	4.1	4.1
S206	169	196		SK1080　南半		PS	SN	22.9	30.5	8.3	5.4
S207	169	196	B区	SD100　中央	上層	PS	SN	27.7	29.1	6.0	5.4
S208	169	196	No.12～13	SD100	上面	PS	SN	28.0	32.2	7.0	5.6
S209	169	196	No.11～12	SD100	埋土	PS	SN	27.0	25.3	8.0	5.6
S210	169	196	No.12～13	SD100	上面	PS	SN	28.0	31.1	4.0	5.3
S211	169	196		SH319　北畔	2層	PS	SN	27.3	(17.7)	7.0	2.6
S212	169	196		SK664		PS	SN	22.5	37.0	7.0	6.0
S213	169	196	No.11～12	SD100	上面	PS	SN	33.0	29.8	6.5	5.8
S214	169	196	A区	SD100　南半		PS	SN	26.3	37.8	7.8	8.1
S215	169	196		SP1136		PS	SN	29.5	29.7	10.5	9.0
S216	170	196		SP811	全掘	PS	SN	30.0	33.9	8.7	10.2
S217	170	196	A区	SD2042　北半	2～3層	PS	SN	38.2	34.5	8.9	12.5
S218	170	196	No.9＋4～10		上層	PS	SN	33.1	33.2	6.5	7.0
S219	170	196		SD665　1区	暗褐色砂	PS	SN	37.0	35.0	8.5	10.2
S220	170	197		SK209	下底清掃時	PS	SN	31.4	33.5	5.0	5.6
S221	170	197	No.5～6　西側		下層掘削	PS	SN	37.0	32.2	10.2	10.1
S222	170	197		SH1250　1～2区	床面下げ再検出時	PS	SN	28.6	30.5	3.5	4.2
S223	170	197		SH1250　3～4区	床面下げ再検出	PS	SN	25.9	37.0	7.9	8.5
S224	170	197		SH1250　1～2区	床面下げ再検出時	PS	SN	36.0	44.9	6.5	11.6
S225	170	197		SD273	埋土	PS	SN	28.7	43.0	8.0	9.9
S226	170	197	No.10～11	SD100	埋土	PS	SN	44.8	41.1	15.0	22.0
S227	170	197	A区	SD100　南半		PS	SN	25.5	29.7	7.1	7.2
S228	171	197		SH055　4区	検出面－5cm～床面	PS	SN	31.7	36.9	8.9	8.2
S229	171	197	B区	SP2204	柱根	PS	SN	44.8	32.8	7.6	10.8
S230	171	197	B区　北東	東への落ち	包含層	PS	SN	25.0	41.2	5.5	7.3
S231	171	197	A区	SD100　南半		PS	SN	20.7	42.1	10.0	8.5
S232	171	197	A区	SD100　南半		PS	SN	30.4	40.6	7.1	7.2
S233	171	197		SD100		PS	SN	28.4	41.7	7.9	8.0
S234	171	198	No.11～12	SD100	埋土	PS	SN	29.9	41.1	6.5	9.7
S235	171	198		SH319　3区	一段下げ	PS	SN	32.7	47.8	7.5	12.4
S236	171	198	No.10～11		精査面	PS	SN	33.0	36.8	8.0	7.8
S237	171	198	No.11～12	SD100	埋土上部	PS	SN	36.0	56.9	8.0	19.1
S238	171	198	No.9～9＋6		精査面	PS	SN	65.2	65.6	18.5	64.7
S239	172	198		SH438　4区	一段下げ	PS	SN	23.0	19.6	4.5	1.7
S240	172	198	No.11～12	SD100	埋土上部	PS	SN	30.1	16.8	6.0	3.2
S241	172	198		SH958　3区	検出面～一段下げ	PS	SN	28.5	26.9	9.0	5.8
S242	172	198		SH1250　4区	－5cm～床面	PS	SN	31.3	29.0	6.3	5.5
S243	172	198	No.11～12	SD100	面精査	PS	SN	35.5	27.0	7.5	8.0
S244	172	198		SH047　1区	段下げ2回目 検出面～－5cm	PS	SN	22.0	22.1	6.0	2.8

第15表　掲載遺物一覧　石器（５）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	器　種	石　材	法　量（mm）			重（g）
								長	幅	厚	
S245	172	198		SH1424　4区	周壁溝	SP	SN	21.0	31.9	6.5	3.2
S246	172	198		SP1364		SP	SN	35.0	32.6	7.1	5.4
S247	172	198	No.10～11		精査面	SP	SN	38.6	33.9	7.1	7.5
S248	172	198		SP1271	全掘	SP	SN	35.0	36.2	12.5	12.6
S249	172	198		SP1067	一段下げ	SP	SN	27.7	37.2	9.8	13.2
S250	172	198	B区	SD100	下層	SP	SN	58.6	42.0	15.9	41.0
S251	172	199		SH055　4区	検出面～－５cm	SP	SN	25.1	27.7	6.8	5.2
S252	173	199		SH1088	南北畔	SP	SN	27.8	28.5	4.0	3.2
S253	173	199	No.10～11	SD100	埋土	SP	SN	25.7	55.8	9.6	14.7
S254	173	199	No.9～10	SD100	埋土	SP	SN	31.2	37.6	8.0	9.6
S255	173	199	No.11～12	SD100	埋土	SP	SN	37.2	11.1	8.9	5.0
S256	173	199	No.9＋４～10	SD100	埋土	SP	SN	29.9	20.8	8.0	3.9
S257	173	199	No.9＋４～10	SD100	埋土	SP	SN	45.1	12.9	6.9	4.7
S258	173	199	No.5	南壁東西掘削中		SP	SN	44.8	22.2	12.0	11.7
S259	173	199		SH955　1区	床面	SP	SN	45.6	19.0	8.5	4.4
S260	173	199	No.9～10	SD100	埋土	SP	SN	46.2	17.0	11.0	8.5
S261	173	199	No.9＋４～10	SD100		SP	SN	53.2	20.8	8.0	7.7
S262	173	199	A区	SD100　南半		SP	SN	78.2	19.3	10.6	14.3
S263	173	199		SD100北端部	埋土	SP	SN	71.3	31.9	17.2	30.4
S264	174	200		SX768　南		RF	SN	116.7	70.2	14.8	91.8
S265	174	200	B区　北西隅			RF	SN	52.1	39.2	7.5	16.0
S266	174	200	No.9＋６～10		遺構面直上	RF	SN	71.8	57.1	18.5	67.6
S267	174	200	A区	SD100　南半		RF	SN	43.0	40.7	8.0	15.5
S268	174	200	No.4～５		包含層	RF	SN	65.0	47.0	7.4	22.2
S269	174	200		SP369	全掘	RF	SN	60.5	55.7	8.3	27.5
S270	174	200	A区	SD100　南半	下底	RF	SN	31.8	37.3	8.5	10.8
S271	174	200	No.10～11	SD100	埋土	RF	SN	(54.4)	(42.9)	11.5	23.0
S272	175	201	No.8～９		面精査	RF	SN	67.0	29.7	15.5	17.9
S273	175	201	No.8～９		面精査	RF	SN	54.5	21.4	9.0	7.9
S274	175	201		SK1258		RF	SN	37.1	24.9	4.0	4.7
S275	175	201		SH319　1区	２～床面	RF	SN	39.9	33.2	7.0	9.3
S276	175	201		SH1250　1区	検出面～－10cm	RF	SN	34.1	41.6	4.5	5.1
S277	175	201	A区	SX2001　北半		RF	SN	32.0	38.0	6.7	8.8
S278	175	201	No.10～11	SD100	埋土	UF	SN	28.7	35.2	8.5	8.3
S279	175	201	B区　北端	SD100	上層	RF	SN	32.0	(23.2)	7.0	2.9
S280	175	201		SH319　3区	２層	RF	SN	31.7	20.5	4.5	2.5
S281	175	201		SH1250　3～４区	床面下げ再検出	RF	SN	(27.0)	(12.5)	3.0	1.0
S282	175	201		SH1422　3区	検出面～－５cm	UF	SN	49.3	38.6	6.4	9.0
S283	175	201	No.8＋５～９　中央付近		精査面	UF	SN	46.0	37.9	8.8	16.
S284	175	201		SD100北端部	埋土	UF	SN	42.1	41.7	6.5	13.4
S285	175	201		SP949		UF	SN	40.0	27.0	5.7	5.1
S286	175	201		SH1424　3区	床面	UF	SN	(38.2)	29.0	6.2	6.5
S287	176	202	No.9＋４～10	SD100	埋土	WF	SN	58.0	26.9	9.5	14.8
S288	176	202	No.14～15　西部		精査面	FL	SN	61.0	33.1	6.5	13.2
S289	176	202		SD100　北端部	埋土	BL	SN	(49.0)	19.2	8.0	9.9
S290	176	202		SH1422　2区	検出面～－５cm	FL	SN	67.5	53.2	7.9	33.5
S291	176	202	B区　南端	SD2458	下層　灰色小礫～細砂	RF	SN	57.4	52.9	9.0	9.0
S292	176	202	B区	SD100		FL	SN	56.8	43.9	10.8	26.0
S293	176	202		SP1417		FL	SN	58.0	39.2	10.2	21.6
S294	176	202	B区	SD100	上層	FL	SN	(53.2)	(39.0)	8.7	21.0
S295	176	202	No.14～15　西部		精査面	FL	SN	39.0	40.4	10.3	13.1
S296	176	202	No.5～６　東半		精査面	FL	SN	32.8	25.2	4.8	4.5
S297	176	202		SP1546	全掘	FL	SN	31.7	(31.1)	4.7	4.5
S298	176	203	No.12～13	SD100	上面	FL	SN	43.9	31.0	7.5	6.0
S299	176	203	A区	SD100　南半		FL	SN	48.1	32.4	5.5	7.9
S300	177	203	B区	SD2092（周溝？）	東半	EX	XS	54.1	40.0	6.5	12.1
S301	177	203	A区	SD100　北半		FL	SN	53.8	32.0	8.5	13.5
S302	177	203	B区　北	SD100	上層	FL	SN	42.2	31.0	4.2	6.6
S303	177	203	B区	SD100	中層	FL	SN	51.2	52.8	11.2	24.4
S304	177	203		SX1089　3区	床面	FL	SN	46.9	54.5	9.0	22.3
S305	177	203	No.5～６		面精査	FL	SN	59.8	68.3	12.3	33.4
S306	177	203		SD681		FL	SN	30.9	29.9	6.0	5.2
S307	177	203		SH1250　1区	検出面～－10cm	FL	SN	29.8	37.9	5.5	5.5
S308	177	203	A区	SD100	上面付近	CR	SN	53.6	54.3	32.4	73.3
S309	178	204	No.14～14＋５　東		５層（遺構面直上）	CR	SN	69.0	48.3	20.5	71.6
S310	178	204		SH1422　4区	検出面～－５cm	CR	SN	36.9	34.8	9.9	17.0
S311	178	204		SD100　北端部	埋土	CR	SN	31.2	49.0	17.0	23.8
S312	178	204	No.9～９＋６　中央～西半		精査面	DM	SN	57.8	47.3	18.2	65.1
S313	178	204	No.9＋６　東西水路			EX	SL	55.3	43.2	4.0	11.4
S314	178	204		SK014		EX	SL	67.2	31.5	4.0	10.4

第15表　掲載遺物一覧　石器（６）

番号	図版	写真	地　区	出土遺構	層　位	器　種	石　材	法　量（㎜）			重（g）
								長	幅	厚	
S315	―	204	No.5～６　西側		下層溝掘削	FL	XS	104.7	63.2	5.0	30.2
S316	179	205	２区	SX1089	南北畔　　棺内中位	小玉		5.2	5.4	2.0	0.08
S317	179	205	A	SX2001	暗褐色砂	勾玉		36.3	21.7	6.1	6.4
S318	179	205	４区	SH055		SB		40.7	41.4	11.1	24.1
S319	179	205		SP1465		SW		84.0	55.5	8.8	66.0
S320	179	205		SP1465		SW		92.5	65.3	13.8	112.1
S321	179	205		SP1465		SW		80.6	72.8	19.0	109.5
S322	180	205	B	SD100	下層	石棒		(103.8)	(32.3)	(19.6)	83.6
S323	180	205	A区	SD100　南半		AX		114.2	60.4	42.8	476.2
S324	180	206		SD100		AX		160.9	83.7	70.2	1340
S325	180	205	№10付近	SD100		AX		(81.1)	66.9	(42.7)	333.3
S326	181	206	B	下層水田？		AX未		159.2	96.5	57.5	1375
S327	181	206	No.11～12	SD100	上面	WS		75.1	45.1	35.2	115.2
S328	181	206	No.12～13	SD100	上面	WS		57.9	27.9	51.5	49.7
S329	181	206	B	SD100	上層	WS		(66.7)	(65.1)	(49.0)	175.4
S330	181	206	４区	SH055	検出面－５cm～床面	WS		(89.8)	45.2	29.5	130.8
S331	182	207		SK1286－E		WS		(258.1)	(192.7)	(164.6)	9100
S332	182	207		SH880	床面	WS		252.4	112.0	82.7	2500
S333	183	208	No.9＋４～10	SD100		SH		(100.0)	46.0	39.0	250.1
S334	183	208	２区	SH800　東壁際		SH		130.1	80.2	65.0	980.8
S335	183	208		SH1422		SH		174.5	89.6	80.2	1830
S336	183	208		SP1227とSP1231の間		GS		123.8	117.0	78.9	1810
S337	183	208		SH910		GS		116.5	90.4	46.9	1112.5
S338	183	208		SK1258	下層	GS		73.3	57.2	46.9	259.5
S339	184	209	B	SD100	上層	SI		165.3	145.2	67.0	2500
S340	184	209	B地区北東	包含層		DS		156.5	129.3	116.9	3980
S341	184	209		SH1423		DS		203.1	161.2	51.9	2400
S342	184	207		SP1465		EX		76.8	67.2	13.9	87.2
S343	185	209		SH1425		DS？		280.5	204.0	114.1	11850
S344	186	209	B	SD100	上・中層	DSorWS		(239.0)	(190.8)	75.0	3970
S345	186	209		SH910		DS		194.6	223.0	90.9	5970

第16表　竪穴建物および付随土坑一覧

弥生時代

建物番号	形式	直径(長径m)	周壁溝	焼土	主柱穴数	中央土坑	主柱穴(可能性があるもの含む)	土坑	焼土	備考
1070	円	6.5	なし	2	6以上？	3	780・1049・1050・1051・1055・1057	1062・1063・1064・1071	1639・1640	西半調査区外
1538	円	4.3	あり	3	不明	不明	745・774・781・1448・1634・1635		1636・1637・1638	南半破壊
1424	円	7.85	あり	3	6	2	1535・1617・1621・1624・1625・1649	1532・1533	1630・1648・1649	
1246	円	6.65＋	なし	なし	？					東半区外 柱穴不明
1250	円	7.9	あり	2	6	2	1314・1328・1400・1430・1433・1436	1383・1427	1660・1661	
1425	円	5.4？	あり			1？	特定できない	1449か？		
1254	円	7.5				1？	特定できない	1448か？		
1438・1439	円	－					特定できない			SH1254と同一か
1251	円	5.6	あり			1？	特定できない	1494か？　1667か？		
2090	円	6.35	なし				特定できない			
1252	住居でない？	？	－	なし	－	－				

建物跡内土坑（中央土坑以外も含む）

建物番号	形式	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1070	1062	68.0	60.0	12.5
1070	1063	88.0	75.0	26.0
1070	1064	(130)	50.0	14.0
1070	1071	160.0	115.0	12.0
1424	1532	168.0	32.0	6.0
1424	1533	172.0	104.0	26.0

建物番号	形式	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1250	1383	174.0	64.0	29.0
1250	1427	176.0	30.0	14.0
1425	1449	93.0	68.0	28.0
1254	1448	130.0	112.0	11.0
1251	1494	67.5	65.0	20.0
1251	1667	52.0	40.0	41.0

古墳時代

建物番号	形式	長辺(m)	短辺(m)	周壁溝	竈の有無	竈の位置	主柱穴数	主柱穴間	主柱穴間	方位	主柱穴	土坑	備考
2033	方形	5.5	4.9	有	有	北辺中央	4	2.25	1.65	N18.7° W	2054・2056・2057・2059	2055	
974	方形	5.5	4.55	無	無		4	2.15	2.35	N28.9° E	978・979・980・981		床面に焼土1か所
16	方形	4.5	3.65	無	－		2？			N5.3° E	20	26	南側約50％破壊
438	方形	2.4	2.15	無	－		？	－	－	N12.0° E			
47	方形	7.15	？	無	無		4	3.15	－	N12.4° W	666・667	49	東側75％調査区外
55	方形	4.75	4.4	無	有	南東隅	4	2.15	2.2	N11.9° E	668・669・670・671	672・676・693	SX678床面焼土
326	方形	6.55	5.4	無	有	南東隅	4	3.25	3.25	N11.2° E	698・702・704・1555		南東隅にも焼土（竈か）
958	方形	6.2	？	無	無		4	2.7	－	N8.0° E	983・987		西側1／4調査区外　中央に焼土
1043	方形	4.5	？	無	有	西辺中央	4	2	2.1	N18.4° E	1560・1561・1562・1563		南東隅に焼土（竈か）
880	方形	5	？	有	－		4	1.95	－	N9.5° E	1522・1523		西半調査区外
910	方形	6.75	6.3	無	有	西辺中央	4	3.9	3.3	N21.9° E	1582・1583・1584・1585		南東隅にも焼土（竈か）
955	方形	5.3	4.8	無	無		4	2.45	2.3	N18.7° E	234・954・1528・1530		
804	方形	4.4	？	無	－		4	2.8	－	N6.5° E	1064・1065	1066	床面焼土3か所
800	方形	5.7	5	無	有	東辺中央	4	2.6	2.4	N3.5° E	1079・1097・1098・1102	1044	移動式竈か？
1423	方形	3.65	3.4	無	無		4？	1.65	1.8	N2.1° W	1456・1570・1591		西辺寄り床面に焼土
1422	方形	7.25	6.15	無	有	西辺中央	4	3.5	3.35	N2.1° E	1506・1512・1513・1514	400	
319	方形	3.6	？	？	無		4	1.8	－	N31.0° E	1711・＋		東半調査区外
1088	方形	4	2.85	無	無		4	1.65	1.5	N14.8° E	1107・1108・1110・1111	1106・1113	北辺中央と南東隅に土坑
1289	方形	5	4.6	無	無		4	1.9	2.1	N10.0° E	511・1374・1375・1614		
1105	方形	5.95	6.35	無	－		4	3.35	2.85	N8.4° E	498・695・1241・509		
1245	方形	4.8	5.15	無	－		4	2.4	2.25	N20.5° W	552・554・558・＋		南東隅調査区外　東辺に土坑
1247	方形	6.2		無	－		4	－	－	N6.8° W	1645		西辺は撹乱・床面に焼土2か所
1466	方形	4.95	3.55	無	無		4	3	2.8	N1.9° W	1493・＋・＋・＋	1492	台形
1268	方形	4.1	3	無	無		2	1.4	－	N6.4° E	1198・1219	1200	北寄りに床面焼土SX1197
1302	方形	3.8	4.65	無	無		4	2	1.5	N2.4° W	1332・1336・1440・1445		
2148	方形	3.25	3.15	有	無		4	1.35	0.8	N13.5° E	2431・2432・2433・2151	2419	中央に床面焼土

建物内土坑

建物番号	形式	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
2033	2055	82.5	45.0	15.0
16	26	(75.0)	70.0	17.0
47	49	50.0	42.5	16.0
55	672	136.0	90.0	42.0
55	676	95.0	52.5	10.0
55	693	140.0	(85.0)	4.0
804	1066	92.8	80.0	30.0

建物番号	形式	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1088	1106	64.0	48.0	24.0
1088	1113	88.0	60.0	72.0
1466	1192	96.0	56.0	15.0
1268	1200	66.0	40.0	20.0
1302	1444	45.0	30.0	13.0
2148	2419	64.0	60.0	16.0

第17表　掘立柱建物一覧

番号	形式	建物長軸方位	方位	長軸(間)	短軸(間)	長軸(m)	短軸(m)	床面積(m)	柱穴番号	備考
1	総柱	東西	N1.1°W	(3)	(1)	(6.35)	(2.20)	(13.97)	923, 924, 925, 926, 927, 928, 929	東・北は調査区外
2	側柱	東西	N5.7°W	(3)	2	6.55	4.4	28.82	003, 329, 330, 331, 332, 333, 334, 335, 336	
3	総柱	南北	N5.0°W	3	2	6.45	5.20	33.54	150, 153, 163, 204, **208**, 217, 278, 365, 366, 742, 748	
4	総柱	南北	N5.9°W	4	3	8.70	7.10	61.77	135, 175, 202, **206**, **279**, 283, 297, 298, 300, 306, 310, 380, **381**, **391**, 402, **713**, 749, **762**	東側調査区外可能性
5	総柱	南北	N0.9°E	3	2	4.75	3.75	17.81	134, 171, 174, 178, 182, 187, 191, 193, 200, 201, 203, 756, +	東側調査区外可能性
6	総柱	南北	N3.3°W	3	2	6.85	4.80	32.88	**207**, **282**, 305, 345, 383, **712**, 746, **747**, 1569, 1611	
7	総柱	東西	N1.2°W	4	3	9.85	6.65	65.50	249, 253, 262, 276, 339, 341, 372, 373, 710, 711, 714, 743, 1653, +, +, +	
8	総柱	南北	N4.1°W	3	2	4.80	4.25	20.40	1140, 1143, **1149**, 1150, 1263, 1264, 1265, 1271, 1273, 1274, 1275, 1283	
9	総柱	南北	N1.6°W	4	2	7.55	5.18	39.11	**1137**, 1148, 1271, 1279, 1280, **1281**, 1596, 1597, 1598, 1599, 1601, 1602, 1603, **1604**, +	
10	側柱	南北	N9.1°W	2	2	3.60	3.25	11.70	1033, 1036, 1041, 1124, 1360, 1391, +, +	西側調査区外可能性
11	総柱	南北	N0.3°E	3	2	5.70	4.65	26.51	993, 996, 998, 999, 1075, 1076, 1077, 1607, +, +, +	西側調査区外可能性
12	総柱？	南北	N4.4°W	3	2	6.20	4.28	26.54	516, 531, 1012, 1013, 1019, 1020, 1023, 1026, 1029, 1035	
13	総柱	北西—南東	N34.6°W	4	(3)	6.50	5.15	33.48	**556**, 559, 599 (1203), **601 (1205)**, **603 (1044)**, 605 (1207), **608 (1208)**, 1211, 1243, 1244, 1295, 1642, +, +	東側調査区外可能性
14	総柱	南西—北東	N28.3°W	3	2	5.10	3.95	20.15	489, 490, 492, 494, 523, 524, 534, 535, 538, 539, 1346, +	
15	総柱	東西	N5.9°W	3	2	7.45	5.10	38.00	**057**, 059, 062, 068, 078, 079, 080, 081, 111, 348, 354	
16	不明	不明		(2)	(1)	3.40	2.25	(7.65)	090, 094, 109, 135	南は欠・東は区外
17	側柱	東西	N1.7°W	2	2	4.55	4.35	19.79	118, **123**, 128, 130, 150, 360, 363	
18	総柱	東西	N2.7°W	4	3	9.25	6.70	61.98	560, **570 (1287)**, 589 (1170), 596 (1162), 604 (1365), 1130, 1174, 1179, **1182**, 1184, 1185, 1188, 1191, 1206, 1209, 1303, **1641**, +, +, +, +, +, +	
19	総柱	東西	N5.4°W	3	2	7.85	3.45	27.08	1181, 1193, 1199, 1214, 1216, 1220, **1231**, 1235, 1240, 1292, 1342, +	
20	総柱	東西	N5.9°W	2	2	4.85	3.50	16.98	1328, 1431, 1433, 1664, 1669, 1670, +, +	
21	総柱	東西	N3.1°W	3	2	7.00	4.25	29.75	1323, 1325, 1326, 1327, 1656, 2068, 2071, 2074, 2076, +	
22	総柱	南北	N5.8°W	4	2	8.25	4.90	40.43	1313, 1319, 1322, 1324, 1435, 1662, 2073, 2075, 2077, 2083, 2084, 2157, 2188, +, +	
23	総柱	東西	N2.8°W	4	4	8.15	8.10	66.02	2246, 2248, 2251, 2253, 2255, 2260, 2300, 2302, 2308, 2318, 2322, 2329, 2335, 2340, 2423, 2424, 2425, 2444, 2469, 2481, +, +	東区外？
24	総柱	南北	N5.5°W	5	3	11.25	6.20	69.75	2195, 2204, 2205, 2234, 2235, 2238, 2239, 2241, 2249, 2252, 2259, 2301, 2303, **2304**, 2310, 2311, **2314**, **2331**, 2336, **2343**, 2359, 2440, 2474, 2475, 2476, 2479	
25	総柱	南北	N0.5°E	3	2	5.20	4.20	21.84	2137, 2196, 2270, 2271, 2272, 2275, 2277, 2278, 2284, 2286	西側調査区外可能性
26	総柱	東西	N2.3°W	4	4	10.00	9.25	92.50	**2110**, 2111, **2113**, 2124, 2128, 2136, 2139, 2140, 2141, **2142**, **2144**, 2146, **2151**, 2152, 2153, 2160, 2190, 2191, 2200, 2201, 2237, 2273, 2279, 2280, 2282, 2283, 2289, 2294, 2375, 2504	西側調査区外可能性
27	総柱	南北	N3.4°E	3	2	6.15	5.55	34.13	2364, 2394, 2396, 2397, 2399, 2400, 2401, 2403, +, +	西側調査区外可能性
SA01	柵	東西	W0.9°N	6	—		—	—	2368, 2369, **2374**, 2376, 2377, 2381, 2383	西側調査区外可能性

＊真北＝N0.13°W　　磁北＝N7.33°W
＊方位はSA01を除き建物跡の南北線を基準に測定
＊**太字**は遺物掲載柱穴番号

第18表　木棺墓一覧

古墳時代木棺墓

番号	墓壙長さ(cm)	墓壙幅(cm)	木棺長さ(cm)	木棺幅(cm)	深さ(cm)	長軸方位
SX992	240.0	78.0	149.5	46.0	53.0	W10.7° N
SX994	168.0	64.0	120.0	38.0	46.0	W10.4° N
SX1004	197.0	60.0	144.0	48.0	44.0	W20.9° N
SX1101	154.0	58.0	124.0	49.0	35.0	W8.6° N
SX1089	154.0	100.0	113.0	67.5	51.5	W20.0° N

平安時代～鎌倉時代木棺墓

番号	墓壙長さ(cm)	墓壙幅(cm)	木棺長さ(cm)	木棺幅(cm)	深さ(cm)	長軸方位
SX1291	152.0	70.5	111.0	59.0	37.0	W8.5° S

第19表　掲載土坑一覧

弥生時代

番号	遺構図版	遺物図版	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
85	14	92	104	93	18
96	16	160	84	44	32
98	16	160	64	48	28
161	16	92	76	62	30
302	15	159, 166, 167	(125)	95	58
169			138	78	18
437	14	93, 159	268	84	44
696	17	94～96	52	(40)	23
761	17	96	(110)	(85)	(7)
768	18	96, 175	256	68	32
783	18	96	80	56	8
876	18	96	94	(76)	8
935	16	96	117	95	23
967	16	96	140	84	24
1045	18	97	160	100	5
1072	18	97	124	116	7
1090	18	98	124	88	12
1080	73	97, 167	152	96	12
1081	19	98	106	52	20
1100	19		146	120	12
1115	5	99	(350)	(265)	5
1135	19		62	(38)	32
677	21	94	165	56	26
1081	19	98	104	56	20
1258	15	99, 100, 183	85	65	45
1266	15		76	66	34
1288	21		112	76	14
1290	19	99	152	128	10
1344	19	100	268	(212)	26
1492	53	100	120	70	21
1708・1709	20	101～103	110	104	58
1710	78	103	102	74	55
2093	21	104	(228)	(76)	(16)
2126	21		78	50	26
2189	21		106	68	22
2135	21		234	80	14
2353		104	122	88	29
2406	21		70	48	20
2412	21	104	98	74	32
2471	21	104, 105	150	132	14
2446	21		110	45	14
2467	21	104	126	120	(52)
2505		105	－	－	－

古墳時代

番号	遺構図版	遺物	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
14	6, 61	157, 178	52	(36)	21
15	6, 61	160, 617, 176	(144)	116	27
21	6, 61	144	96	84	16
26	6, 61		(76)	72	26
29	6, 62	144, 145	188	174	18
445	6, 61		76	(50)	15
664	6, 62	145, 160, 169	256	228	20
680	6, 61, 94		106	84	5
687	6, 61	146	118	80	20
744	6, 61		64	60	20
820	6, 61	138	(92)	70	42
845	6, 64	146	88	72	18
990	6, 63	146, 173	269	245	9
1230	6, 63	146	102	73	25
1248	6, 64	147	92	82	30
1286	6, 63	147, 182	77	58	24
1420	6, 64		112	82	40
1499	6, 64		154	88	6
1509	6, 64	147	78	74	22
2459	64	147	146	137	20

平安時代～鎌倉時代

番号	遺構図版	遺物	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
209	7, 77	154, 155	(326)	181	16
295	7, 78	155	285	210	16
296	7, 78	155	(225)	208	14
361	7, 78	156	60	56	12
751	7, 78	156	240	(150)	24
760		156	(192)	(28)	5
810・830	7, 79	156, 158	290	190	20
837	7	156	(154)	152	16
1570	7, 79	156	120	(34)	27
1554	7		43	30	21
2096・2097	7, 80		300	240	15
2130	7, 79	156	82	58	18
2134	7, 78		92	54	16
2242	7, 79		92	47	16
2348			96	68	(8)
2407			52	52	27
2426	7, 79	156	187	40	32

<table>
<tr><th colspan="6">報告書抄録（Outline of the Report）</th></tr>
<tr><td>ふ り が な</td><td colspan="4">かじたいせきはっくつちょうさほうこくしょ</td><td>About the Report</td></tr>
<tr><td>書　　名</td><td colspan="4">鍛冶田遺跡発掘調査報告書</td><td rowspan="2">Excavation report of the Kajita archaeological site</td></tr>
<tr><td>副　書　名</td><td colspan="4">（主）太子御津線社会資本整備総合交付金事業に伴う発掘調査報告書</td></tr>
<tr><td>シ リ ー ズ 名</td><td colspan="4">兵庫県文化財調査報告</td><td rowspan="2">Report of the Archaeological Sites of Hyogo prefecture vol.519</td></tr>
<tr><td>シリーズ番号</td><td colspan="4">第519冊</td></tr>
<tr><td>編 著 者 名</td><td colspan="4">久保弘幸　別府洋二　西口圭介　多賀茂治　大本朋弥　稲本悠一</td><td rowspan="3">The Author/Editor : Hiroyuki Kubo, Youji Beppu, Keisuke Nishiguchi, Shigeji Taga, Tomoya Ohmoto, Yuichi Inamoto</td></tr>
<tr><td>編 集 機 関</td><td colspan="4">公益財団法人兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部</td></tr>
<tr><td>所　在　地</td><td colspan="4">兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1
（兵庫県立考古博物館内）　TEL　079-437-5561</td><td rowspan="2">Hyogo Construction Technology Center for Regional Development Department of Archeological Research Address : 1-1-1 Onaka, Harima-cho, Hyogo pref. Japan</td></tr>
<tr><td>発 行 年 月 日</td><td colspan="4">2022（令和4）年３月25日</td><td>Publication : March 25, 2022</td></tr>
<tr><td>所収遺跡名</td><td>所　在　地</td><td colspan="2">コード</td><td>北　　緯</td><td>東　　経</td></tr>
<tr><td rowspan="2">鍛 冶 田 遺 跡</td><td rowspan="2">揖保郡太子町糸井ほか</td><td>市町村</td><td>遺跡番号</td><td>northern latitude</td><td>east longitude</td></tr>
<tr><td>28464</td><td>450215</td><td>34°48′50″</td><td>134°34′51″</td></tr>
<tr><td>遺跡調査番号</td><td>調査の種別</td><td colspan="2">調　査　期　間</td><td colspan="2">調　査　原　因</td></tr>
<tr><td>2015050
2016003</td><td>本発掘調査</td><td colspan="2">2015/5/25～2015/11/27
2016/5/25～2016/9/21</td><td colspan="2">（主）太子御津線社会資本整備総合交付金事業</td></tr>
<tr><td>遺 跡 の 種 別</td><td>集落遺跡・生産遺跡（水田）</td><td colspan="2">主な遺構</td><td colspan="2">竪穴建物跡･方形周溝墓･木棺墓･土器棺墓･掘立柱建物跡・土坑・溝・柱穴・旧河道</td></tr>
<tr><td>遺 跡 の 時 代</td><td>・縄文時代晩期～弥生時代前期
・弥生時代中期
・古墳時代中期～後期
・平安時代後期～鎌倉時代</td><td colspan="2">主な遺物</td><td colspan="2">縄文土器・弥生土器・石器・須恵器・土師器・陶器・磁器・金属器・木器</td></tr>
<tr><td>要　　約</td><td colspan="5">今回の調査では、下記の各時代遺構が検出された。
1. 縄文時代晩期～弥生時代前期：水田・旧河道
2. 弥生時代中期：竪穴住居跡・方形周溝遺構・土器棺墓・土坑・旧河道
3. 古墳時代中期～後期：竪穴住居跡・木棺墓群・土坑
4. 平安時代後期～鎌倉時代：掘立柱建物跡・土坑・木棺墓

弥生時代中期以降については、土坑・柱穴などの総数は2000基を超え、分布密度はきわめて高かった。遺物量も多く、２年度にわたる調査で、28ℓコンテナ500箱に達した。
鍛冶田遺跡は揖保川の沖積平野の微高地上に立地しているが、縄文時代晩期～弥生時代前期においては埋積が進行しておらず、周辺は起伏に富んだ地形であった。当該期の水田は、このような地形の凹地部に造られている。弥生時代中期には埋積が進行して平坦化が進行するものの、調査区南部は相対的に低い状況が続き、調査区を縦断して旧河道が残っていた。集落はこの旧河道を挟む東西の微高地に形成された。
弥生時代中期の間に河道は埋積し、地形の平坦化が進行した。古墳時代中期には、微高地部の削平を含む開発がおこなわれ、弥生時代以前の古土壌層および遺構の一部が失われた。平坦化はその後も進行したと推定され、平安時代後期以降はさらに可住域が拡大したと思われる。また奈良時代以降には、鍛冶田遺跡周辺の広い範囲に、条里型地割が構築された。</td></tr>
</table>